

# 大山中学校部室棟建替工事

## 設 計 図



株式会社 あおい総合設計



4 地業工事	3 鋼杭地業 (4.2.2) (4.3.8) (4.4.3~6)	<p>根固め及び杭間固定液の管理試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書4.3.4(6)(2)による</li> <li>構造図による</li> </ul> <p>・ 特定埋込み杭工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H13国交告1113号第6による支持力算定式で<math>\alpha=250</math>程度を採用できる工法</li> <li>H13国交告1113号第6による支持力算定式で<math>\alpha=</math>、<math>\beta=</math>、<math>\gamma=</math>を採用できる工法</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレローピング拡大根固め工法</li> <li>中継り拡大根固め工法</li> </ul> <p>杭間固定液の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>する</li> <li>しない</li> </ul> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1/100以内</li> <li>評定条件または認定条件による</li> </ul>	5 鉄筋工事	<p>7 床下防湿層 (4.6.2.5)</p> <p>8 地盤改良工法</p> <p>9 置換コンクリート地業 (ラッフルコンクリート地業)</p> <p>形状・支持地盤 ※ 構造図による</p> <p>支持地盤の長期設計支持力 ( ) (KN/m<sup>2</sup>)</p> <p>コンクリートの仕様 ※ 6コンクリート工事 6無筋コンクリートによる</p> <p>型枠使用の有無 ※ 有り ・ 無し</p>	6 コンクリート工事	<p>13 特殊な鉄筋継手 (5.5.2) (5.6.3)</p> <p>・ 機械式継手</p> <p>使用箇所 ※ 構造図による</p> <p>性能 (H12建告第1463号に適合するもの) ・ A級</p> <p>機械式継手の種類及び工法 ( )</p> <p>カプラー等の接合部分の相互のあき、最小かぶり厚さ ※ 構造図による</p> <p>品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 構造図による</p> <p>・ 溶接継手</p> <p>使用箇所 ※ 構造図による</p> <p>性能 (H12建告第1463号に適合するもの) ・ A級</p> <p>溶接継手の工法 ( )</p> <p>鉄筋相互のあき ※ 構造図による</p> <p>品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 ※ 構造図による</p>	2 施工管理技術者 (7.1.4)	3 鋼材 (7.2.1)	<p>鋼材の材質</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> </table>	種類の記号	使用箇所	規格等			※ JIS規格による			※ JIS規格による			※ JIS規格による	4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2)	<p>区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トルシヤ高力ボルト 2種 (S10T) 建築基準法に基づき認定を受けたもの</li> <li>JIS高力ボルト 2種 (F10T)</li> </ul> <p>高力ボルトの径 ※ 構造図による</p> <p>すべり係数試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行わない</li> <li>行う (試験方法等)</li> <li>すべり係数試験</li> <li>すべり耐力試験</li> </ul> <p>試験方法等 ※ 構造図による</p> <p>ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 構造関係共通事項による</p>	5 溶接設備つき高力ボルト (7.3.2) (7.12.4)	<p>セットの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1種 (F8T相当) 建築基準法に基づき認定を受けたもの</li> </ul> <p>溶接設備つき高力ボルトのめっき前の孔径</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大臣認定を受けた内容による</li> </ul> <p>ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造関係共通事項による</li> </ul> <p>摩擦面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ プラスト処理 (表面粗度<math>6.0\mu mRz</math>以上)</li> <li>※ プラスト以外の特別な処理 ※ 構造図による</li> </ul> <p>すべり耐力等の確認方法 ※ 構造図による</p>	6 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8)	<p>ボルト及びナットの材料等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書 表7.2.3 (JIS付属書品) による</li> <li>標準仕様書 表7.2.3 (JIS付属書品) 又はJIS本体規格 (ISO規格) による</li> <li>(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじボルト、強度区分を4.8又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナットとの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの強度の最大寸法は、ボルト径の2倍以下とする。)</li> </ul> <p>座金 ※ 標準仕様書 表7.2.3(d) による</p> <p>ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1締結距離及びボルト間隔 ※ 構造図による</li> </ul> <p>母屋又は副軸の取付けに使用するボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ねじの呼び径+1.0mm ※ 構造図による</li> </ul>	7 アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造用アンカーボルト</li> <li>セットの種類 (JIS B1220) ・ ABR400 ・ ABR490</li> <li>形状、寸法 ※ 構造図による</li> <li>建方用アンカーボルト</li> <li>材質 ・ SS400</li> <li>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度</li> <li>標準仕様書 表7.2.3による</li> <li>形状、寸法 ※ 構造図による</li> </ul> <p>ボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造関係共通事項による</li> </ul>	8 ターンバックル (7.2.6)	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築用ターンバックル ※ 割付式</li> <li>建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト</li> <li>ねじの呼び ※ 構造図による</li> </ul>	9 デッキプレート (7.2.7) (7.7.8)	<p>工法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合成スラブ (適用箇所 ※ 構造図による)</li> <li>床型枠用 (適用箇所 ※ 構造図による)</li> </ul> <p>材質、形状及び寸法 ※ 構造図による</p> <p>床型枠を使用する場合には、受注者は施工に先立ち安全性を確認するものとする。</p> <p>鉄骨材への溶接方法 ※ 構造図による</p> <p>耐火認定 ※ 有り (耐火時間 ※ 図示による) ・ 無し</p>	10 スタッドボルト (7.2.8)	<p>※ 隠付スタッド (JIS B1198)</p> <table border="1"> <tr> <th>径 (呼び名)</th> <th>長さ (呼び長さ) mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>16φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> </tr> </table>	径 (呼び名)	長さ (呼び長さ) mm	適用箇所	16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120		19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150		22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150		11 柱底均しモルタル (7.10.3)	<p>モルタルの種類 ※ 無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの材料及び割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 標準仕様書 表7.2.9(b) (1) から (4) による</li> </ul>	12 製作精度 (7.3.3)	<p>※ 標準仕様書 表7.3.3及びH12建告第1464号第二号による</p> <p>通しダイヤフラムの許容誤差</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号(1)(2)に規定するたし書きの計算確認有り</li> </ul> <p>補強方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「突合継手線の食い違い口の検査・補強マニュアル」による</li> <li>全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号(1)(2)に規定する仕様を満足すること</li> </ul>	13 仮組 (7.3.10)	<p>仮組を行う範囲 ※ 構造図による</p>	14 高力ボルト接合	<p>スライスの材質 ※ 鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする</p> <p>スライスの材質 ※ SS400とする</p>	15 溶接接合 (7.6.4.7)	<p>開先形状 ※ 構造関係共通事項 (5) 3. 溶接継手の種類別開先標準による</p> <p>構造図による</p> <p>スカラップの形状 ※ 構造関係共通事項 (6) 5. 鉄骨溶接工 (3) による</p> <p>構造図による</p> <p>エンドタブの切除する箇所 ※ 構造図による</p> <p>エンドタブの切除する範囲 ※ 構造図による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンドタブ、裏当て金等は梁フランジの端から5mmを残して直線上に切断する</li> <li>なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</li> </ul>	16 入熱、バス間温度の溶接条件	<p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 構造関係共通事項による</li> <li>図示による</li> </ul> <p>適用箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</li> <li>図示による</li> </ul>
		種類の記号		使用箇所		規格等																																																					
		※ JIS規格による																																																									
		※ JIS規格による																																																									
		※ JIS規格による																																																									
径 (呼び名)	長さ (呼び長さ) mm	適用箇所																																																									
16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120																																																										
19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150																																																										
22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150																																																										
<p>4 場所打ちコンクリート 杭地業 (4.2.2) (4.5.1.4, 6)</p> <p>施工管理技術者 ※ 適用する</p> <p>寸法、性能等</p> <table border="1"> <tr> <th>符号</th> <th>軸径 (mm)</th> <th>拡張径 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料</p> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種 ※ B種</li> <li>評定等の内容による (場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び杭底杭工法)</li> </ul> <p>コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm<sup>2</sup>以上</p> <p>スラブ ※ 18cm</p> <p>構造体強度補正值</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3N/mm<sup>2</sup> ※ 構造図による</li> <li>評定等の内容による</li> </ul> <p>セメントの種類 ※ 高炉セメントB種</p> <p>鉄筋の種類 ※ 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による</p> <p>鋼管巻きの材料 ・ SKK400 ・ SKK490</p> <p>鋼管径・板厚・長さ ※ 構造図による</p> <p>掘削工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アースドリル工法 ( ※ 安定液使用 ・ 無水掘削 )</li> <li>リバーシ工法</li> <li>オールケーシング工法 (孔内の水圧 ・ 行う ・ 行わない)</li> </ul> <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所打ち鋼管コンクリート杭工法</li> <li>鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490</li> <li>拡張杭工法 ( ※ 安定液使用 )</li> </ul> <p>孔型測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 行う</li> <li>測定方法 ※ 超音波測定器</li> <li>測定場所 ※ 試験杭 ( ) 箇所及び本杭 ( ) 箇所</li> <li>行わない</li> </ul> <p>帯筋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 構造関係共通事項 6.2(a) (ロ) による</li> <li>構造図による</li> </ul> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ 100mm</p> <p>鉄筋かごの補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 構造図による</li> <li>杭径1.5m以下の場合には鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する。</li> </ul> <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手</p> <p>重ね継手の長さ ※ 構造図による</p> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1/100以内</li> <li>評定条件または認定条件による</li> </ul>	符号	軸径 (mm)	拡張径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭							本杭							<p>1 鉄筋 (5.2.1)</p> <p>2 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>3 圧接完了後の試験 (5.4.10)</p> <p>4 鉄筋の継手 (5.3.4)</p> <p>5 基礎主筋の継手</p> <p>6 鉄筋の定着長さ (5.3.4)</p> <p>7 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>8 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>9 帯筋</p> <p>10 壁開口部の補強</p> <p>11 梁貫通孔の補強形式</p> <p>12 構造 (耐震) スリット</p>	<p>7 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)</p> <p>製作工場の加工能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び、(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・)J・R ※ (・)H・S」グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</li> <li>※ 監督職員の承認する製作工場 (標準仕様書 7.1.1以外の適用範囲に限る)</li> </ul>																																				
符号	軸径 (mm)	拡張径 (mm)	杭長 (m)	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																					
試験杭																																																											
本杭																																																											



株式会社あおい総合設計

鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第03-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 津川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司

CHECK	DRAW	SCALE	TITLE
			NAME

大山中学校部室棟建替工事

特記仕様書 2

TOTAL
No.
A - 02



Table with 4 main columns: 1. Material/Method (e.g., 3 外壁湿式工法, 4 内壁空積工法, 5 乾式工法, 6 床及び階段の石張り, 7 アーチ, 上げ裏等の石張り, 8 窓木, 甲板等の石張り, 9 床及び階段の石張り, 10 アーチ, 上げ裏等の石張り, 11 タイル工事), 2. Material/Method Description, 3. Material/Method Description, 4. Material/Method Description. Includes various technical specifications and material lists.

13	1	長尺金属板葺 (13.2.2、3)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びS(4)の種類</th> <th>屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の 屋根用S(4)</td> <td>※塗装済鋼板S(4)に、亜鉛亜鉛合金めっき亜鉛及び銅等 (GLCCOR-20AZ150)</td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横葺葺 ・立平葺 ・横葺葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルトルーフィング940 ・ ゴムアスファルトルーフィング ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない ※適用する (図示)</p>	施工箇所	板及びS(4)の種類	屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考		※JIS G 3322の 屋根用S(4)	※塗装済鋼板S(4)に、亜鉛亜鉛合金めっき亜鉛及び銅等 (GLCCOR-20AZ150)		・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横葺葺 ・立平葺 ・横葺葺		4	軽量鉄骨天井 (14.4.2~4) (表14.4.1)	<p>屋根等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋根外 (※ 25形 ・ 19形) 屋根内 (※ 19形 ・ 25形)</li> <li>屋外の軒天井、ピロティ天井等</li> </ul> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>野縁受、吊りボルト及びブイメントの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の隙からの間隔 ・ 図示 ・ 野縁の間隔 ・ 図示 ・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・</li> <li>天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 標準仕様書14.4.4(8)による ・ 図示</li> <li>天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・</li> <li>天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井、それ以外は図示 ・ 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年 国土交通省告示第771号) 第3第2項第二号に適合させる。 ・ 図示</li> </ul>	5	仕上り塗材仕上 (15.6.2)	<p>建築内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上りの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・薄付け仕上り塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上りの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗り材</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・薄層仕上り塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上りの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td>・凸凹模様 ・凸凹処理 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローテ</td> <td>水系溶媒 ※ アクリル系 ・</td> <td>※ 耐候形 3種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="6">外観 ※ つやあり</td> </tr> </table> <p>・軽量骨材仕上り塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> </tr> </table>	呼び名	仕上りの形状	工法	吸放湿性	防火材料				・適用する ・適用する	-	呼び名	仕上りの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料				・適用する ・適用する	・適用する	-	呼び名	仕上りの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	防火材料	・複層塗材E	・凸凹模様 ・凸凹処理 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローテ	水系溶媒 ※ アクリル系 ・	※ 耐候形 3種	-	外観 ※ つやあり						呼び名	防火材料		-	6	A L Cパネルの場合の 下地処理 (15.6.4)	内部目地の形状 ※V形目地付き ・	7	マステック塗り塗り (15.7.2)	種類 ・ A種 ・ B種	8	せっこうプラスター 塗り塗り (15.8.3)	下塗り及び中塗り ※既調合プラスター (下塗り用) 又は現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・既調合プラスター (上塗り用) ・しっくい塗り	9	ロックウール吹付け (15.12.2.3)	ロックウールのホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示 ・ 25	10	しっくい塗り (15.10.2.3)	材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (種類等) ※ 現場調合材料 (種類等)	10	ごまい塗り (15.11.2~5) (15.11.7.8)	下地の種類 土壁用のり ※ つのまた ・ 砂壁用のり ※ ちのり 色土の種類 土物仕上に用いる土色 ・ 大津仕上に用いる土色 ・ 色砂の種類 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもので 下塗りの調合 ※ 標準仕様書15.11.2による ※ 標準仕様書15.11.8による ・ ・建築基準法に基づき耐震性の指定がある場合 ( ) ごまい塗りの工工程別 ※A種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みき仕上げ工法
		施工箇所	板及びS(4)の種類	屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考																																																																												
			※JIS G 3322の 屋根用S(4)	※塗装済鋼板S(4)に、亜鉛亜鉛合金めっき亜鉛及び銅等 (GLCCOR-20AZ150)		・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横葺葺 ・立平葺 ・横葺葺																																																																													
		呼び名	仕上りの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																													
					・適用する ・適用する	-																																																																													
		呼び名	仕上りの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料																																																																												
					・適用する ・適用する	・適用する	-																																																																												
		呼び名	仕上りの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	防火材料																																																																												
		・複層塗材E	・凸凹模様 ・凸凹処理 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローテ	水系溶媒 ※ アクリル系 ・	※ 耐候形 3種	-																																																																												
		外観 ※ つやあり																																																																																	
		呼び名	防火材料																																																																																
			-																																																																																
		2	折板葺 (13.2.2) (13.3.2.3) (表13.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山C/谷による区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・重帷形 ・はげ締め形 ・かん舎形</td> <td>山高 山C/谷</td> <td>山高 山C/谷</td> <td>( ) 種 ※鋼板製 ・7&amp;lt;2&gt;9A 合金板製</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( ) 屋根の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( ) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 ※ 標準仕様書表14.2.2のF種</p> <p>断熱材 ・ 有り (種類) 厚さ (mm) 防火性能 (時間) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 折板のくはば納め ※ けらば包みによる方法 ・</p>	施工箇所	形式	山高、山C/谷による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重帷形 ・はげ締め形 ・かん舎形	山高 山C/谷		山高 山C/谷	( ) 種 ※鋼板製 ・7&lt;2>9A 合金板製		・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し	5	軽量鉄骨下地 (14.5.3) (表14.5.1)	<p>スタッド、ランナーの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの長さによる区分に応じた種類 ・ 図示</li> <li>スタッドの高さが6.0mを超える場合 ※ 図示</li> <li>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による ・</li> </ul>	6	ALCパネルの場合の 下地処理 (15.6.4)	内部目地の形状 ※V形目地付き ・	7	マステック塗り塗り (15.7.2)	種類 ・ A種 ・ B種	8	せっこうプラスター 塗り塗り (15.8.3)	下塗り及び中塗り ※既調合プラスター (下塗り用) 又は現場調合プラスター (下塗り用) 上塗り ・既調合プラスター (上塗り用) ・しっくい塗り	9	ロックウール吹付け (15.12.2.3)	ロックウールのホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・ 図示 ・ 25	10	しっくい塗り (15.10.2.3)	材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (種類等) ※ 現場調合材料 (種類等)	10	ごまい塗り (15.11.2~5) (15.11.7.8)	下地の種類 土壁用のり ※ つのまた ・ 砂壁用のり ※ ちのり 色土の種類 土物仕上に用いる土色 ・ 大津仕上に用いる土色 ・ 色砂の種類 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもので 下塗りの調合 ※ 標準仕様書15.11.2による ※ 標準仕様書15.11.8による ・ ・建築基準法に基づき耐震性の指定がある場合 ( ) ごまい塗りの工工程別 ※A種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みき仕上げ工法																																								
		施工箇所	形式	山高、山C/谷による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																										
	・重帷形 ・はげ締め形 ・かん舎形	山高 山C/谷	山高 山C/谷	( ) 種 ※鋼板製 ・7&lt;2>9A 合金板製	・有り ・無し	・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																												
3	粘土瓦葺 (13.4.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>製法による区分</th> <th>形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>収物瓦の種類</th> <th>雪止め瓦</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>JIS A 5208に基づく凍結試験等 ・ 行行 行わない 瓦葺材 材料 ※ 杉又はひのき 寸法 ※ 幅21×高さ15 (mm) 以上 棟補強用芯材 材料 ※ 杉又はひのき 寸法 ※ 幅40×高さ30 (mm) 以上 棟補強等に使用する金物等 材料 ※ ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製</p> <p>形状、寸法及び留付け方法 ※ 図示 ・ 下葺材料 ※ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (一一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 瓦葺材の留付け工法 ※ 図示 ・ 棟の工法 ※ 図示による ・ 標準仕様書13.4.3(d)(1)~(3)による</p>	施工箇所	種類	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	収物瓦の種類	雪止め瓦									・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	7	アルミニウム製笠木 (14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)		<p>種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 表面処理 種類 ( ) 種 色合等 ・ 無着色 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>手すり及びタラップ (14.8.2.3)</p> <p>手すり ・ ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※ HL程度 ・ No.2B程度) ・ 鋼製 (表面処理 ※ 溶融亜鉛めっきC種) ・</p> <p>タラップ ・ ステンレス製SUS304 (表面処理 磨削なし) ・ 鋼製 (表面処理 ※ 溶融亜鉛めっきC種) ・</p>	8		鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)	性能等級 (建具番号: ・ 建具表による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 適合性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 断熱ドア 断面変形追随性の等級 ( ) ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 鋼板の厚さ ※ 標準仕様書表16.4.2による		9	ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)		性能等級 (建具番号: ・ 建具表による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する建具の耐風圧性の等級 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 適合性の等級 ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) 断熱ドア 断面変形追随性の等級 ( ) ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 ・ 表面仕上げ ※ HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ( ・ a角 ・ b角 ・ c角)	10		木製建具 (16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ・ 不透明塗料塗り (※しな程度) ・ 板面の品質 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・ ブリント ・ 塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類)																																														
施工箇所	種類	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	収物瓦の種類	雪止め瓦																																																																											
								・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																											
4	とい (13.5.2.3) (表13.5.5)	<p>といの材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ( ) 図示 とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※ 標準仕様書表13.5.2により、溶融亜鉛めっき行ったもの</p> <p>多雪地域 ( ) 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・適用する (工法: ※ 標準仕様書表13.5.4による) ・ ・適用しない</p> <p>ルーフドレン</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用		11	モルタル塗り (15.3.2.5)	<p>モルタル ※現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料) ・ 既製自地材 ( ) 図示 施工箇所 (外部立ち上がり) 形状 (※ 図示) ・ ・ 設けない</p> <p>床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・ (種類 ※押し目地) ・ ・ 設けない</p> <p>外壁タイル張り下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない 建具廻りの等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A 1404「建築用セメント防水剤試験方法」による。 項目 品質・性能 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 セメント重量の5%以下 凝結及び安定性 (凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。 曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上 吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下 透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10<sup>5</sup> Paとし1時間行う。</p>	12	防火戸 (16.1.3)	・適用する 適用箇所 ( ※ 建具表による )	13	建具見本の製作 (16.1.4)	※ 製作しない ・ 製作する ( ・ 納まり等が分かる程度のもの )	14		防犯建物部品 (16.1.6)		・適用する 適用箇所 ( ※ 建具表による )			15	アルミニウム製建具 (16.2.2.4.5) (表14.2.1) (表16.2.1)			性能等級 ( ) 製造所の仕様による ・耐風圧の等級 ( ) ・ 気密性の等級 ( ) ・ 水密性の等級 ( ) ※ 標準仕様書表16.2.1による建具 外部に面する建具の種類 (コンクリート下地及び鉄骨下地) ・A種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・B種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・C種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ 外部に面する建具の種類 (木下地) ・D種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・E種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ 防音ドア、防音サッシ 適合性の等級 ( ) (建具番号: ・ 建具表による) ・		16			1	防火戸 (16.1.3)		・適用する 適用箇所 ( ※ 建具表による )	17		2	建具見本の製作 (16.1.4)	※ 製作しない ・ 製作する ( ・ 納まり等が分かる程度のもの )	18	3	防犯建物部品 (16.1.6)	・適用する 適用箇所 ( ※ 建具表による )	19	4	アルミニウム製建具 (16.2.2.4.5) (表14.2.1) (表16.2.1)	性能等級 ( ) 製造所の仕様による ・耐風圧の等級 ( ) ・ 気密性の等級 ( ) ・ 水密性の等級 ( ) ※ 標準仕様書表16.2.1による建具 外部に面する建具の種類 (コンクリート下地及び鉄骨下地) ・A種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・B種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・C種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ 外部に面する建具の種類 (木下地) ・D種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ ・E種 (建具番号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ 防音ドア、防音サッシ 適合性の等級 ( ) (建具番号: ・ 建具表による) ・																															
種類	施工箇所																																																																																		
・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)																																																																																			
・バルコニー用																																																																																			
・バルコニー中継用																																																																																			
14	1	ステンレス 表面仕上げ (14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度</td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度		15	2	ラス系下地 (15.2.4)		<p>ラス系下地の種類及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス800 )</li> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス700 )</li> <li>・ 直張り工法ラスモルタル下地 (材料 )</li> <li>・ 直張りラスシートモルタル下地 (材料 )</li> </ul> <p>建築基準法に基づき耐震、防火構造、準耐火構造等の指定 ( )</p>	16		3	床コンクリートの 直均し仕上 (6.2.5) (表15.4.2)		仕上りの平たんさは、図示及び標準仕様書15.4.2(f)(4)による以外下記による。 標準仕様書表6.2.5による 施工箇所 平たんさの種類 a種 合成樹脂塗料、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し 仕上り、フリークセフロア (巻敷) ( ) b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( ) c種 タイル張り、モルタル張り、フリークセフロア (支柱調整式) ( )	17			4		セルフレベリング 材料塗り (15.5.2) (表15.5.1)				種類及び品質 ・ セっこう系 ・ セメント系 標準厚 (mm) ※ 図示 ・																																																							
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																																																																		
※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度																																																																																			
2	アルミニウム及び アルミニウム合金の 表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色合等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・標準色 ( ) ・標準色 ( )</td> <td>・特注色 ( ) ・特注色 ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>溶融亜鉛めっき ※二次電解着色 ・ 三次電解着色</p>	種類	色合等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・標準色 ( ) ・標準色 ( )	・特注色 ( ) ・特注色 ( )			18		3			鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・D種 ・E種 ・F種</td> <td></td> </tr> </table>		表面処理方法				種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき		・A種 ・B種 ・C種			電気亜鉛めっき		・D種 ・E種 ・F種																																																				
種類	色合等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																																	
・標準色 ( ) ・標準色 ( )	・特注色 ( ) ・特注色 ( )																																																																																		
表面処理方法	種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																	
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種																																																																																		
電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																																																																																		
14	1	ステンレス 表面仕上げ (14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度</td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度			15		2	ラス系下地 (15.2.4)		<p>ラス系下地の種類及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス800 )</li> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス700 )</li> <li>・ 直張り工法ラスモルタル下地 (材料 )</li> <li>・ 直張りラスシートモルタル下地 (材料 )</li> </ul> <p>建築基準法に基づき耐震、防火構造、準耐火構造等の指定 ( )</p>	16	3	床コンクリートの 直均し仕上 (6.2.5) (表15.4.2)	仕上りの平たんさは、図示及び標準仕様書15.4.2(f)(4)による以外下記による。 標準仕様書表6.2.5による 施工箇所 平たんさの種類 a種 合成樹脂塗料、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し 仕上り、フリークセフロア (巻敷) ( ) b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( ) c種 タイル張り、モルタル張り、フリークセフロア (支柱調整式) ( )		17	4	セルフレベリング 材料塗り (15.5.2) (表15.5.1)	種類及び品質 ・ セっこう系 ・ セメント系 標準厚 (mm) ※ 図示 ・																																																												
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																																																																		
※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度																																																																																			
2	アルミニウム及び アルミニウム合金の 表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色合等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・標準色 ( ) ・標準色 ( )</td> <td>・特注色 ( ) ・特注色 ( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>溶融亜鉛めっき ※二次電解着色 ・ 三次電解着色</p>	種類	色合等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・標準色 ( ) ・標準色 ( )	・特注色 ( ) ・特注色 ( )					18		3		鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・D種 ・E種 ・F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理方法			種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種		電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																																																								
種類	色合等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																																	
・標準色 ( ) ・標準色 ( )	・特注色 ( ) ・特注色 ( )																																																																																		
表面処理方法	種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																	
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種																																																																																		
電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																																																																																		
14	1	ステンレス 表面仕上げ (14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度</td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度		15		2	ラス系下地 (15.2.4)		<p>ラス系下地の種類及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス800 )</li> <li>・ 通気工法二層下地 (材料 ※ 2種防水紙付きガラス700 )</li> <li>・ 直張り工法ラスモルタル下地 (材料 )</li> <li>・ 直張りラスシートモルタル下地 (材料 )</li> </ul> <p>建築基準法に基づき耐震、防火構造、準耐火構造等の指定 ( )</p>	16		3	床コンクリートの 直均し仕上 (6.2.5) (表15.4.2)	仕上りの平たんさは、図示及び標準仕様書15.4.2(f)(4)による以外下記による。 標準仕様書表6.2.5による 施工箇所 平たんさの種類 a種 合成樹脂塗料、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し 仕上り、フリークセフロア (巻敷) ( ) b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ( ) c種 タイル張り、モルタル張り、フリークセフロア (支柱調整式) ( )	17		4	セルフレベリング 材料塗り (15.5.2) (表15.5.1)	種類及び品質 ・ セっこう系 ・ セメント系 標準厚 (mm) ※ 図示 ・																																																												
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																																																																		
※HL程度 ・鏡面仕上げ ・No.2B程度																																																																																			



18	1 塗装工事	<p>① 材料 (18.1.3)</p> <p>② 素地ごしらえ (18.2.2~7)</p> <p>③ 錆止め塗料塗り (18.3.2.3)</p> <p>④ 塗料 (18.4.1~18.14.2)</p>	<p>① 材料 (18.1.3)</p> <p>② 素地ごしらえ (18.2.2~7)</p> <p>③ 錆止め塗料塗り (18.3.2.3)</p> <p>④ 塗料 (18.4.1~18.14.2)</p>	<p>6 カーペット敷き (19.3.3.4) (19.3.3.1)</p> <p>7 合成樹脂塗料 (19.4.2.3) (19.4.4.5)</p> <p>8 防じん用塗料</p> <p>9 フローリング張り (19.5.2-6) (19.5.1-5)</p> <p>10 敷敷き (19.6.2) (19.6.1)</p>	<p>・織じゅうたん (表 19.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>バイル形状</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・カットバイル</td> <td>・ウィルトンカーペット</td> <td>・無地</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・ルーフバイル</td> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・柄物</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・カット、ルーフ併用</td> <td>・アキスミンスターカーペット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ルーフバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グラブ工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ルーフ併用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ニードルパンチカーペット</p> <p>厚さ (mm) ( )</p> <p>帯電性 ・適用する ・適用しない</p> <p>備考 ( )</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ルーフバイル</td> <td>※ 第一種</td> <td>-</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 第二種</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種</td> <td>-</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・カット・ルーフ併用</td> <td>・第一種</td> <td>-</td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示</p>	種類	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カットバイル	・ウィルトンカーペット	・無地	・適用する		・B種	・ルーフバイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物	・適用しない		・C種	・カット、ルーフ併用	・アキスミンスターカーペット				バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用する		・ルーフバイル	・4~6	・グラブ工法	・適用しない		・カット、ルーフ併用	-	-			バイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考	※ ルーフバイル	※ 第一種	-	※ 500×500	※ 6.5			※ 第二種	-	-	-	-	・カットバイル	・第一種	-	※ 500×500	※ 6.5			・第二種	-	-	-	-	・カット・ルーフ併用	・第一種	-	※ 500×500	※ 6.5			・第二種	-	-	-	-	<p>① せっこうボードその他のボード及び合板張り (19.7.2.3) (19.7.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>GH</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板</td> <td>HM</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>MM</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・フラットタイプ (・9・12・ ) ・不燃 ・凹凸タイプ (・12・15・19・ ) ・不燃</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25 (ガラスクロス包)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>※12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5 (不燃) 化粧無 (地下張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・シーリングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (・不燃) ・準不燃</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・壁目・板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td></td> <td>表板の仕様 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ( ) 不透明塗料塗り ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [G]</td> <td></td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [G]</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧合板</td> <td></td> <td>JIS K 6903 による (※ 1.2 )</td> </tr> <tr> <td>・ポリエチレン樹脂化粧合板</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ミッドラムデンシティファイバーボード [G]</td> <td>MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12</td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード [G]</td> <td></td> <td>・無研磨VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード [G]</td> <td></td> <td>・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃)</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (黄地) [G]</td> <td>HB</td> <td>・未研磨板 (・スタンダード・テンパーD RN) ・研磨板 (・スタンダード・テンパーD RS)</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (化粧) [G]</td> <td></td> <td>・内装用 D1 ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード [G]</td> <td>IB</td> <td>A種 (・天井仕上) ・内装仕上 ( ) ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード等の下地 ※図示</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シート</td> <td></td> <td>※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド合板類の張付け ※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボードの目地工法 ※仕上表による</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>アスベスト</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不燃( ) 準不燃( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不燃( ) 準不燃( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不燃( ) 準不燃( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>不燃( ) 準不燃( )</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル・プラスター一面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種</p> <p>フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>① 断熱材 [G] (19.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スKENランなし)</td> <td>・2種DA ○ 25 ・外壁 ・3種DA ○ 30 ・接合部分 ・2種BA ○ 25 ・スラブ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>施工箇所詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>② 断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※A種I ・A種IH 厚さ (mm) ○ 5 ・30 ・20 施工箇所 ○ 図示</p>	種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等	・硬質木毛セメント板	GH	・15 ・20 ・25	・中質木毛セメント板	HM	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板	MM	・15 ・20 ・25	・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21	・普通木片セメント板	NF	・30	・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8	・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9・12・ ) ・不燃 ・凹凸タイプ (・12・15・19・ ) ・不燃	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25	・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)	・せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (地下張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	・シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (・不燃) ・準不燃	・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうラスボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・壁目・板目) 専用下地材有り	・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)	・普通合板 [G]		表板の仕様 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ( ) 不透明塗料塗り ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理	・天然木化粧合板 [G]		樹種名 ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理	・特殊加工化粧合板 [G]		化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理	・メラミン樹脂化粧合板		JIS K 6903 による (※ 1.2 )	・ポリエチレン樹脂化粧合板		-	・ミッドラムデンシティファイバーボード [G]	MDF	・3 ・7 ・9 ・12	・単板張りパーティクルボード [G]		・無研磨VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18	・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃)	・ハードボード (黄地) [G]	HB	・未研磨板 (・スタンダード・テンパーD RN) ・研磨板 (・スタンダード・テンパーD RS)	・ハードボード (化粧) [G]		・内装用 D1 ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード [G]	IB	A種 (・天井仕上) ・内装仕上 ( ) ・9 ・12 ・15 ・18	せっこうボード等の下地 ※図示		-	軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シート		※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド合板類の張付け ※B種 ・A種	せっこうボードの目地工法 ※仕上表による		-	施工箇所	紙	繊維	アスベスト	無機質	その他	防火性能	備考	・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )		・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )		・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )		・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )		種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スKENランなし)	・2種DA ○ 25 ・外壁 ・3種DA ○ 30 ・接合部分 ・2種BA ○ 25 ・スラブ		・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・	・フェノールフォーム断熱材	・25	・	<p>① 現場発泡断熱材 (品質性能等)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること 1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロー試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分(以下次の1)~3)に適合していること。 1) 総発熱量が8MJ/m<sup>2</sup>以下であること。 2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびがないこと。 3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m<sup>2</sup>を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>イ. 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック液体、乳濁液又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。</p> <p>ロ. 発熱品試験</p> <p>1) 試験品の作成は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試験品の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験品の作成はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験品の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 ハ. 難燃性試験は、JIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p>	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること 1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロー試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分(以下次の1)~3)に適合していること。 1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびがないこと。 3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。	<p>① フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>構造</th> <td>・敷設式</td> </tr> <tr> <th>耐荷重性能</th> <td>※3000N ・5000N ・3000N ・5000N</td> </tr> <tr> <th>耐震性能</th> <td>・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G</td> </tr> <tr> <th>バルク寸法</th> <td></td> </tr> <tr> <th>高さ (mm)</th> <td></td> </tr> <tr> <th>床表面仕上げ材の材質</th> <td>※タイルカーペット ※帯電防止ビニル床タイル</td> </tr> <tr> <th>ポーター及びスロープ</th> <td>※メーカー仕様 ・図示</td> </tr> <tr> <th>寸法精度</th> <td></td> </tr> <tr> <td>※標準仕様書20.2.2(b) (a)~(c)による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ±0.5mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平ら度 バルク周辺部 1.0mm 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>図心と各頂点を結ぶ線と0.2mm 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スロープ及びポーター ※製造所の仕様による ・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配線用取り出しパネル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配線取り出し開口 ※製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・無し ・有り (形式、施工箇所) 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>(性能)</p> <p>(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残変形3.0mm以下 (2) 耐震性能 残変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロード性能 (3,000Nの場合の試験の適用は任意) 所定荷重1,000Nによる繰り返し試験後、残変形3.0mm以下 (4) 耐震性能 イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記の&lt;適用地震時水平力&gt;以上</td> </tr> <tr> <td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記の&lt;適用地震時水平力&gt;以上</td> </tr> <tr> <td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td> <td>構造床面からの高さの1/50以下</td> </tr> </table> <p>&lt;適用地震時水平力&gt;</p> <p>3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m<sup>2</sup>当り自重+3,000N/m<sup>2</sup>当りの支柱本数)×0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m<sup>2</sup>当り自重+3,000N/m<sup>2</sup>当りの支柱本数)×1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m<sup>2</sup>当り自重+5,000N/m<sup>2</sup>当りの支柱本数)×0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m<sup>2</sup>当り自重+5,000N/m<sup>2</sup>当りの支柱本数)×1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≤300mmの場合のみ) 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、セリ上がり、隙間及び水平移動がない (5) 耐燃性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒 (6) 帯電防止性能評価値 (U) 0.6以上 (7) 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥ 1 × 10<sup>6</sup> Ω (8) 歩行感 通常の歩行において空音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない (9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。</p>	施工箇所	・	構造	・敷設式	耐荷重性能	※3000N ・5000N ・3000N ・5000N	耐震性能	・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G	バルク寸法		高さ (mm)		床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ※帯電防止ビニル床タイル	ポーター及びスロープ	※メーカー仕様 ・図示	寸法精度		※標準仕様書20.2.2(b) (a)~(c)による		厚さ±0.5mm		平ら度 バルク周辺部 1.0mm 以下		図心と各頂点を結ぶ線と0.2mm 以下		表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。		構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ: )		スロープ及びポーター ※製造所の仕様による ・図示		配線用取り出しパネル		フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント		配線取り出し開口 ※製造所の仕様による		・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上		空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・無し ・有り (形式、施工箇所) 図示		項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下
			種類		バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・A種		・カットバイル	・ウィルトンカーペット	・無地	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・B種		・ルーフバイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・C種		・カット、ルーフ併用	・アキスミンスターカーペット																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			バイル形状		バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・カットバイル		・5~7	※全面接着工法	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			・ルーフバイル		・4~6	・グラブ工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			・カット、ルーフ併用		-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			バイル形状		種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			※ ルーフバイル		※ 第一種	-	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					※ 第二種	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・カットバイル		・第一種	-	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					・第二種	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・カット・ルーフ併用		・第一種	-	※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					・第二種	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			種類		JIS 記号	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・硬質木毛セメント板		GH	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・中質木毛セメント板	HM	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・普通木毛セメント板	MM	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・普通木片セメント板	NF	・30																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9・12・ ) ・不燃 ・凹凸タイプ (・12・15・19・ ) ・不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (地下張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (・不燃) ・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・壁目・板目) 専用下地材有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・普通合板 [G]		表板の仕様 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) ( ) 不透明塗料塗り ( ) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・天然木化粧合板 [G]		樹種名 ( ) 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・特殊加工化粧合板 [G]		化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ (mm) ( ) ・防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・メラミン樹脂化粧合板		JIS K 6903 による (※ 1.2 )																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ポリエチレン樹脂化粧合板		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ミッドラムデンシティファイバーボード [G]	MDF	・3 ・7 ・9 ・12																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・単板張りパーティクルボード [G]		・無研磨VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ハードボード (黄地) [G]	HB	・未研磨板 (・スタンダード・テンパーD RN) ・研磨板 (・スタンダード・テンパーD RS)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ハードボード (化粧) [G]		・内装用 D1 ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・インシュレーションボード [G]	IB	A種 (・天井仕上) ・内装仕上 ( ) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
せっこうボード等の下地 ※図示		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シート		※シーリング材 ・ジョイントコンパウンド合板類の張付け ※B種 ・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
せっこうボードの目地工法 ※仕上表による		-																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	紙	繊維	アスベスト	無機質	その他	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・	・	・	・	・	・	不燃( ) 準不燃( )																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スKENランなし)	・2種DA ○ 25 ・外壁 ・3種DA ○ 30 ・接合部分 ・2種BA ○ 25 ・スラブ																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・フェノールフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
難燃性	下記のいずれかによっていること 1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロー試験) に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分(以下次の1)~3)に適合していること。 1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及びひびがないこと。 3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
構造	・敷設式																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
耐荷重性能	※3000N ・5000N ・3000N ・5000N																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
耐震性能	・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
バルク寸法																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ※帯電防止ビニル床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ポーター及びスロープ	※メーカー仕様 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
寸法精度																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
※標準仕様書20.2.2(b) (a)~(c)による																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
厚さ±0.5mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
平ら度 バルク周辺部 1.0mm 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
図心と各頂点を結ぶ線と0.2mm 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ: )																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
スロープ及びポーター ※製造所の仕様による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
配線用取り出しパネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
配線取り出し開口 ※製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・無し ・有り (形式、施工箇所) 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
項目	性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
19	2 内装工事	<p>① 接着剤 (19.2.2)</p> <p>接着剤は、可塑剤 (フタル酸ジノブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示</p> <p>② ビニル床シート [G] (19.2.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ FS</td> <td>・無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理する場合の工法 ※ 熱溶接工法</p> <p>特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1 × 10<sup>7</sup> ~ 1 × 10<sup>10</sup> Ω程度</p> <p>③ ビニル床タイル [G] (19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ KT</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>・帯電防止</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT</td> <td>・FT</td> <td>・450×450</td> <td>・防汚性</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td>・FOB</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1 × 10<sup>7</sup> ~ 1 × 10<sup>10</sup> Ω程度</p> <p>④ ビニル幅木 (19.2.2)</p> <p>材質の種類 ※軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60 ・75 ・100 厚さ (mm) ※1.5以上</p> <p>⑤ ゴム床タイル (19.2.2)</p> <p>材質の種類 ※単層品 ・複層品 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) ( )</p>	種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※ FS	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性	※ 2.0		種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※ KT	・無地	・300×300	・帯電防止	※ 2.0		・TT	・FT	・450×450	・防汚性	・2.5		・FOA	・FOB	・500×500		・3.0		<p>① 壁紙張り (19.8.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>開伏材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・フローリング1号</td> <td>・釘留め工法 (種太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ボード1等</td> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・8</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フローリング</td> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ブロック1等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>フローリングボードの大きさ ※標準仕様書19.5.1.3.5</p> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>開伏材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・天然木化粧複合フローリング</td> <td>・釘留め工法 (種太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・A種 ・15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td></td> <td>・B種 ・12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・A種 ・12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・B種 ・12</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・C種 ・12</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>フローリングボードの大きさ ※標準仕様書19.5.2.4.6 フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の裏面接着材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所 ) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・行わない 県産材の活用 ・適用する (樹種 ) ・適用しない</p> <p>② 新築材 [G] (19.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> <th>D種 (巻床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</th> </tr> <tr> <td>下地の種類</td> <td>・標準仕様書12.6.1による床組</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロ) [G]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>量表及び巻床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びフタル酸を発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。</p>	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	開伏材等の適用	・フローリング1号	・釘留め工法 (種太張り)	※ なら	・15	・	・ボード1等	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・12	・		・接着工法	※ なら	・8	・	・フローリング	・接着工法	※ なら	・15	・	・ブロック1等					種類	工法	樹種	厚さ (mm)	開伏材等の適用	・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (種太張り)	※ なら	・A種 ・15	・		・釘留め工法 (直張り)		・B種 ・12	・		・接着工法	※ なら	・A種 ・12	・				・B種 ・12	・				・C種 ・12	・	種類	A種	B種	C種	D種 (巻床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)	下地の種類	・標準仕様書12.6.1による床組					・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロ) [G]				<p>① エニットネット及びその他の工事</p> <p>1 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p>																																																																																																																																																																																									
種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
※ FS	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防汚性	※ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ KT	・無地	・300×300	・帯電防止	※ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・TT	・FT	・450×450	・防汚性	・2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・FOA	・FOB	・500×500		・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	工法	樹種	厚さ (mm)	開伏材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング1号	・釘留め工法 (種太張り)	※ なら	・15	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ボード1等	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・接着工法	※ なら	・8	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・フローリング	・接着工法	※ なら	・15	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ブロック1等																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	工法	樹種	厚さ (mm)	開伏材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (種太張り)	※ なら	・A種 ・15	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・釘留め工法 (直張り)		・B種 ・12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・接着工法	※ なら	・A種 ・12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・B種 ・12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・C種 ・12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	A種	B種	C種	D種 (巻床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
下地の種類	・標準仕様書12.6.1による床組																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロ) [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

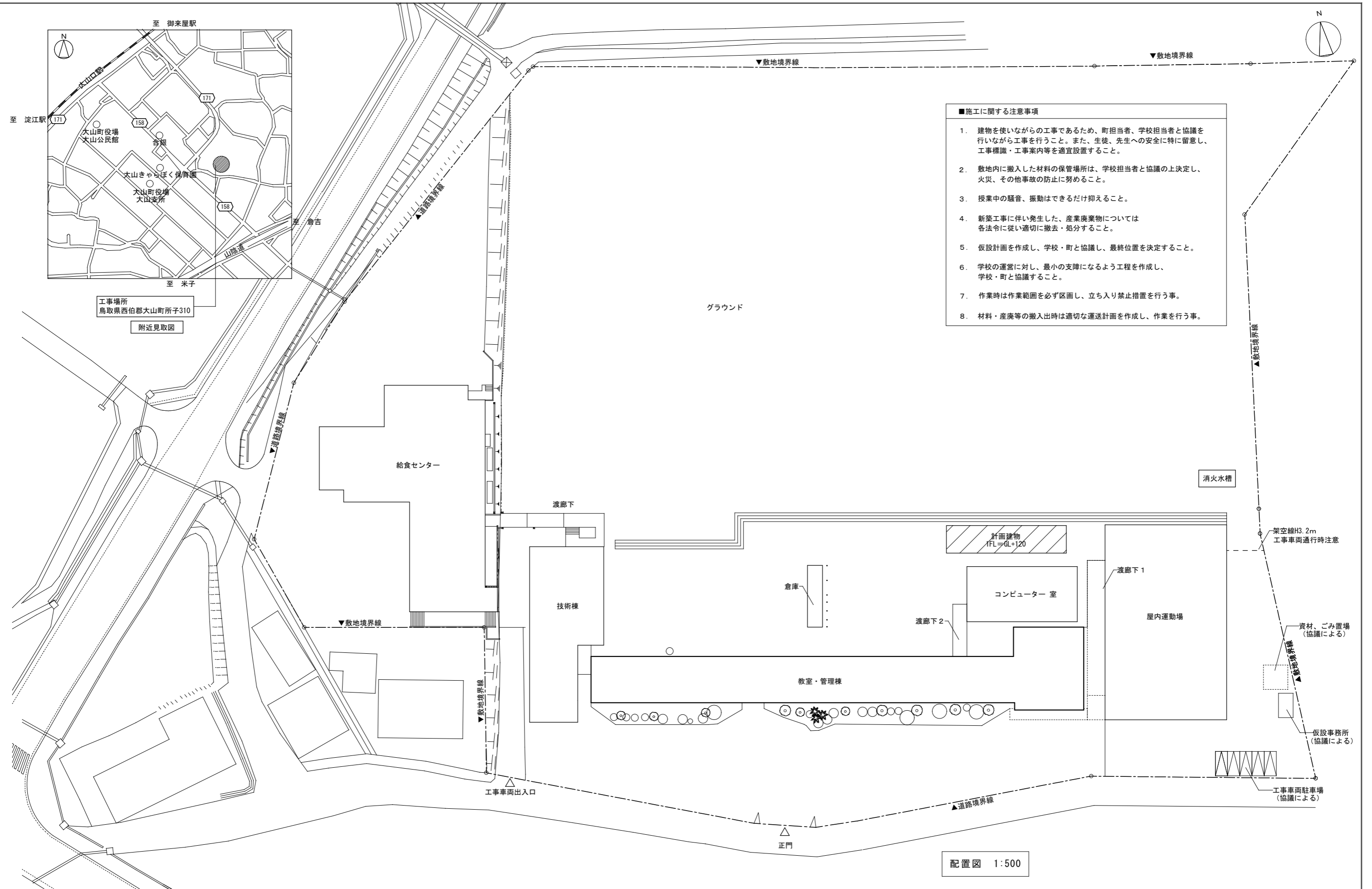


株式会社あおい総合設計

鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第03-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司


CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
—	—	—	大山中学部室棟建替工事	No.
			特記仕様書 7	A - 07

項目		仕様		備考																															
2	可動開仕切 (20.2.3)	<p>(試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N・200kg・5000N・350kg 加振 0.6g ; 所定加速度600cm/s<sup>2</sup> 1.0g ; 所定加速度1000cm/s<sup>2</sup> 2) 300mm&lt;設計床高さ≦600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連続設置 (Bタイプ) に適用するものとする。 ②試験方法-1 イ、試験は、コナート(JIS A 5371)4+4+4無筋コナート製品 (種類:N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法-2 イ、試験は、コナート(JIS A 5371)4+4+4無筋コナート製品 (種類:N300) に接着したユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分組出の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板3,200N (5,000N/1㎡相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④等点補正及び測定記録試験体と試験機の離隔等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を等点とする。 又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーペット 繊維素材: ナイロン100 % パイル構造: ループパイル パイル長: 3.0mm~4.0mm バックリング素材: 塩化ビニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0kg/㎡~64.0kg/㎡ 人体耐電圧: 2KV以下</p>	4	トイレブレス (20.2.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部形状</th> <th colspan="2">ドアエッジ材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td colspan="2">※幅木タイプ ・</td> <td colspan="2">※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table>	表面材の材料		脚部形状		ドアエッジ材質		※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板		※幅木タイプ ・		※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																			
						表面材の材料		脚部形状		ドアエッジ材質																									
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板		※幅木タイプ ・		※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																															
3	移動開仕切 (20.2.4)	<p>構造形式による 種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パネル式 ・スタッド式電線隠蔽</td> <td>スタッド パネル</td> <td>材質 厚さ (mm)</td> <td>遮音性 (dB/500Hz)</td> <td>防火性能</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取り付ける建具・あり (※図示) ・なし ドアクローザー、ドア、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章3節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合は品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法</th> <th>圧縮装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>・鋼板 ・メラミン樹脂焼付け 又はアクリル樹脂焼付け塗装 ・壁紙張り</td> <td>・メラミン樹脂焼付け ・36未満 ・30程度 ・36以上</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示 パネルをランナーに取り付けられる部品 ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー一枚で除した値に対して、耐力及び変形量使用上支障のないものとする。 ・図示 (品質・性能及び試験方法) 1) パネル (表面材、心材、フレーム材、幅木、窓木及び補強材) 及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動開仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触面食を及ぼさないもの又は防食処理を施したものである。 2) 吊りボルト JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼締結用部品の機械的性質-第一部: ボルト、ネジ及び締込みボルト」による。 3) パネルの外観 JIS A 6512「可動開仕切」の表5.a) ~ c) による。 4) ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動開仕切」7材料による。 5) パネルの操作性 パネル操作の初動力は30N以下とする。 6) 耐衝撃性 質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく表面の、割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧縮装置の調整で元に戻せるものとする。 7) 遮音性能 遮音性試験は、JIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 8) パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 9) レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 10) 吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmに操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 11) 吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張り強度があるものとする。 12) ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの一枚で除した値以上の強度があるものとする。</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パネル式 ・スタッド式電線隠蔽	スタッド パネル	材質 厚さ (mm)	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・メラミン樹脂焼付け 又はアクリル樹脂焼付け塗装 ・壁紙張り	・メラミン樹脂焼付け ・36未満 ・30程度 ・36以上	・36未満 ・36以上	5	階段止止め (20.2.6)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付け寸法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ステンレス製 (SUS304) ・ビルトタイプ入り</td> <td>※約35</td> <td>※接合工法 ・埋込み工法</td> <td>※ビル製 ・ステンレス製 ・なし</td> </tr> </tbody> </table>	種類	寸法 (mm)	取付け寸法	端部フラットエンド	※ステンレス製 (SUS304) ・ビルトタイプ入り	※約35	※接合工法 ・埋込み工法	※ビル製 ・ステンレス製 ・なし
			構造形式による種類	構成基材の種類	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																												
※スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・パネル式 ・スタッド式電線隠蔽	スタッド パネル	材質 厚さ (mm)	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																															
走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材	遮音性 (dB/500Hz)																														
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・鋼板 ・メラミン樹脂焼付け 又はアクリル樹脂焼付け塗装 ・壁紙張り	・メラミン樹脂焼付け ・36未満 ・30程度 ・36以上	・36未満 ・36以上																														
種類	寸法 (mm)	取付け寸法	端部フラットエンド																																
※ステンレス製 (SUS304) ・ビルトタイプ入り	※約35	※接合工法 ・埋込み工法	※ビル製 ・ステンレス製 ・なし																																
10	ブラインド (20.2.12)	<p>(試験方法) (1) スポーリング試験 適用安全使用温度 (300℃) から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体電圧、電流、脱落の状況を観察する。(試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1000mm程度とする。) (2) 透水性試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」10.6透水性試験による。 (3) 耐熱性試験 1.0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せした後、試験体を外観を調べる。 試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間 (168時間) 浸せする。(ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。) その後、48時間以上温度20℃、湿度60%の試験室に静置した後、外観観察を行う。(試験体のサイズは、100mm×50mmとする。) (4) 熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。 試験設定温度は100℃、150℃、300℃、450℃、600℃とする。</p>	11	ロールスクリーン (20.2.13)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横型 ・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス	幅・高さ	取付箇所	・横型 ・縦型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・図示														
						形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス	幅・高さ	取付箇所																						
・横型 ・縦型	・手動 ・電動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・図示																												
12	カーテン及びカーテンレール (20.2.14)	<p>カーテン 種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>カーテンレール 材質 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル 強さによる区分 仕上げ 形状</p>	種類	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	・図示	13	ブラインドボックス 及びカーテンボックス (20.2.15)	<p>構造×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材 (仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材 (市販品) ・表面処理 ・BC-1 ・BC-2 (・標準色 ( ) ) ・特注色 ( ) ) ・鋼製 (仕上げ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・460×460 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・目地タイプ</td> <td>・目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063又は同等の性能を有するもの 表面処理 繊維強化皮膜JIS H 8601(A4)又は同等の性能を有するもの (外側にいる場合は、JIS H 86020程度又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材取付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出し型材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性 (繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内装の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内装 (内枠) の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、特見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下取付け用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書4章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具箇所にてメーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19型とし仕上げ材は、せつこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901) せつこうボード製品 (の内一) の種別又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 (2) 試験は、内装を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内装の垂れ下がり状態を測定する。 ・床点検口 材質 寸法 (mm) 形式 備考 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 閉閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。</p>	材種	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠	・アルミニウム製	・460×460 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・目地タイプ	・目地タイプ								
			種類	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																											
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	・図示																														
材種	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																															
・アルミニウム製	・460×460 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・目地タイプ	・目地タイプ																															
15	耐震スリット (20.2.16)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">耐火性能</th> <th colspan="2">防水性能</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地 目地 内装 外装 目地材 ・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (見え掛かり部の外)</p>	耐火性能		防水性能		備考		・耐火型 ・非耐火型	・有 ・無					16	止水板 (20.2.17)	<p>形式 ・埋込式 ・据置式 ・壁張式 材質 ・塩化ビニル製 (種類) ・非加硫チルゴム製 寸法 (mm) ・図示 施工箇所 ・図示</p>																		
			耐火性能		防水性能		備考																												
・耐火型 ・非耐火型	・有 ・無																																		
17	エキスパンションジョイント金物 (20.2.18)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有 ( ) ・無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部は防水型とする。</p>	材質	クリアランス (mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有 ( ) ・無																										
			材質	クリアランス (mm)	耐火性能	備考																													
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有 ( ) ・無																																	
19	止り止め支柱 (20.2.19)	<p>目地材の材質は標準仕様書9.7.11による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内装</th> <th>外装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部の外)</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書9.7.11による。</p>	目地	内装	外装	目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材 (見え掛かり部の外)	18	旗竿受金物 (20.2.20)	<p>旗竿受金物の種類 ・ビル被覆エキスパンション ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示</p>																								
			目地	内装	外装																														
目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材 (見え掛かり部の外)																																	
20	フェンス (20.2.21)	<p>フェンスの種類 ・ビル被覆エキスパンション ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示</p>																																	

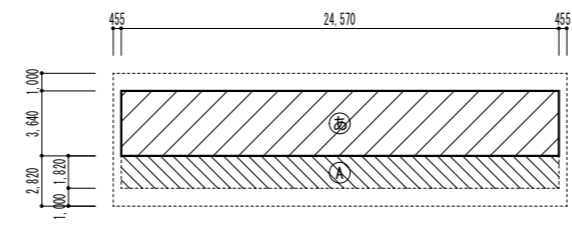
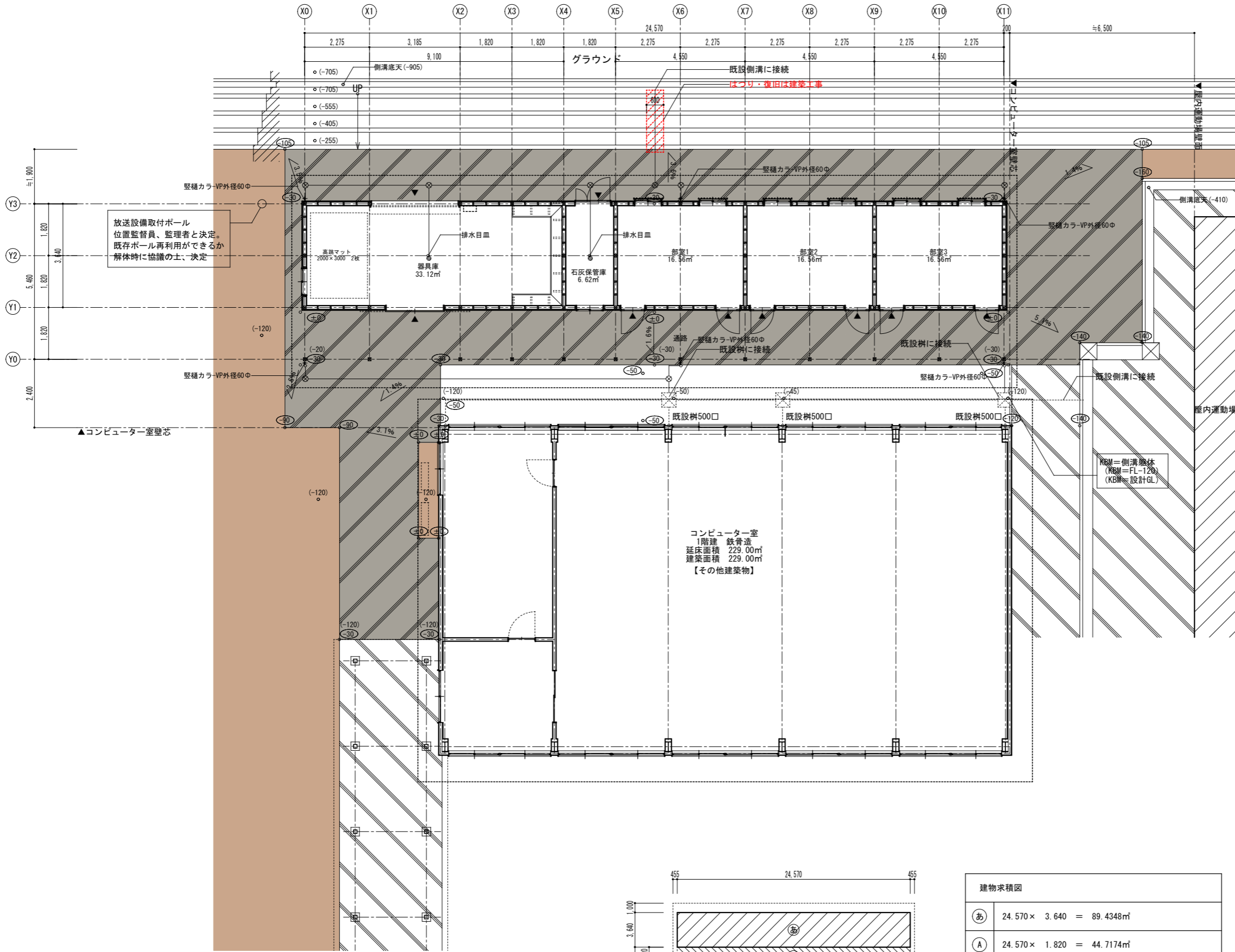


- 施工に関する注意事項
1. 建物を使いながらの工事であるため、町担当者、学校担当者と協議を行いながら工事を行うこと。また、生徒、先生への安全に特に留意し、工事標識・工事案内等を適宜設置すること。
  2. 敷地内に搬入した材料の保管場所は、学校担当者と協議の上決定し、火災、その他事故の防止に努めること。
  3. 授業中の騒音、振動はできるだけ抑えること。
  4. 新築工事に伴い発生した、産業廃棄物については各法令に従い適切に撤去・処分すること。
  5. 仮設計画を作成し、学校・町と協議し、最終位置を決定すること。
  6. 学校の運営に対し、最小の支障になるよう工程を作成し、学校・町と協議すること。
  7. 作業時は作業範囲を必ず区画し、立ち入り禁止措置を行う事。
  8. 材料・産廃等の搬入出時は適切な運送計画を作成し、作業を行う事。

配置図 1:500

 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第03-323号        鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第216192号        鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第323409号</small> <small>浦川 英敏 堀江 司</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
			1:500	NAME 大山中学校部室棟建替工事 附近見取図・全体配置図	No. A-09

A2: 100% A3: 71%



建物求積図 1:300

建物求積図	
②	24.570 × 3.640 = 89.4348㎡
①	24.570 × 1.820 = 44.7174㎡
延床面積	② = 89.43㎡
建築面積	② + ① = 134.1522 134.15㎡

(+00)	現状地盤レベルを示す。
+00	計画地盤レベルを示す。
	今回工事での新設コンクリート舗装範囲を示す。
	既存コンクリート舗装範囲を示す。
	未舗装部分を示す。



**株式会社あおい総合設計**  
鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司

CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
		1:100,300	大山中学校部室棟建替工事	No.
			部分配置図・建物求積図	A - 10

外部仕上表											
屋根		外壁		その他		断熱工事		共通		学校：その他建築物(耐火)仕様	
屋根	嵌合式立平葺：カラーガルバリウム鋼板t0.5 ゴムアスルーフィング、野地板t12	外壁	角波鋼板：カラーガルバリウム鋼板t0.4 耐水合板t12 通気木胴縁 透湿防水シート モルタル補修t20	屋外サイン	アルミ複合板t3.0 高耐候性カッティングシート貼 ベース：アルミ捨板 ビス固定	天井裏	グラスウールt100(24K)	外部使用金物	外部に使用するビス等は特記なき限り SUS304、アルミ、溶融亜鉛メッキとする	屋根	
水上唐草	水上唐草：屋根同材	腰壁	コンクリート下地 誘発目地	軒樋	塩ビカラーW110 SUS製上吊樋受け金物#500(積雪対応)	外壁	グラスウールt100(24K)	外部鉄部	DP塗装 プライマー処理 溶融亜鉛メッキ	外壁	
唐草	屋根同材	水切	カラーアルミt1.0 既製品	笠樋	カラーVP外径60φ 挿み金物#1000	土間下	ポリスチレンフォームt25敷込 防湿シートt0.15 通路部土間シート t0.2	内部鉄部	SOP塗装 防塵塗装下地	柱・梁	
軒天	ケイカル板t8 AEP塗装 木下地	出隅役物	カラーガルバリウム鋼板t0.4 既製品	雪止金物	溶融亜鉛メッキ L-50×50×4 (2段)			木部現し部分	現しになる木構造材の保護塗装はキシラデコール 2回塗りとする	床	
鼻隠	杉30×240 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照	柱脚金物	化粧SUS製既製品 アンカー止め	外部通路 その他土間	コンクリート舗装(歩行用) 土間コンクリートt120 溶接金網：φ6-150×150 カッター目地#5000以下 軒先スリットより換気を行う。詳細図参照。			防蟻処理	土台下端から1.0mの範囲の木部には防蟻処理を行う。	防蟻処理	
広小舞	杉15×120 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照			小屋裏換気1	防虫金網設置 SUS製フラット型スリムフード100φ						
破風板	杉30×240 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照			小屋裏換気2	焼付塗装						
棟包	杉15×155 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照										

内部仕上表																	
階	室名	内装制限	床	巾木	H	腰壁	H	壁	天井	廻縁	天井高	天井裏断熱材	カーテンブラインド	室名札	備考		
																[ ]表記：設備工事 < >表記：別途工事	
1階	部室1・2・3	—	防水モルタルt20金鍍仕上 防塵塗装(ハードナーリキッド)	防水モルタルt20金鍍仕上	300	防塵塗装(ハードナーリキッド)	—	化粧パーティクルボードt12 WP塗装(クリア)	不燃化粧PBt9.5	塩ビ	2600	GWt100	—	○	天井点検口、可動間仕切家具、化粧鏡、自動火災報知機		
	床高	±0	土間コンクリート下地					端部アルミ見切	木下地	木下地					【換気扇、給気レジスター】		
	器具庫	—	防水モルタルt20金鍍仕上防塵塗装(ハードナーリキッド)	防水モルタルt20金鍍仕上	300	防塵塗装(ハードナーリキッド)	—	化粧パーティクルボードt12 WP塗装(クリア)	不燃化粧PBt9.5	塩ビ	2600	—	—	○	天井点検口、テント保管棚		
	床高	±0	土間コンクリート下地					端部アルミ見切	木下地	木下地					【換気扇、給気レジスター、排水目皿】		
	石灰保管庫	—	防水モルタルt20金鍍仕上 防塵塗装(ハードナーリキッド)	防水モルタルt20金鍍仕上	300	防塵塗装(ハードナーリキッド)	—	ケイカル板t6.0 目透貼 EP塗装※目地共、端部アルミ見切	不燃化粧PBt9.5	塩ビ	2600	—	—	○	天井点検口		
	床高	±0	土間コンクリート下地					PBt12.5	木下地	木下地					【換気扇、給気レジスター、排水目皿】		

■ 材料記号

RC	鉄筋コンクリート	M	モルタル
LC	軽量コンクリート	LGS	軽量鉄骨
CB	コンクリートブロック	GL	石こう接着剤直貼工法
ALC	軽量気泡コンクリート板	W	木製
S	スチール	VC	塩化ビニル
SUS	ステンレス(特記なき限り304)	PB	石膏ボード
AL	アルミニウム		
BR	真ちゅう		

■ 防火認定番号

○ PBt12.5	: 不燃	H12.建設省告示第1400号	繊維混入ケイカル板t8	: 不燃	H12.建設省告示第1400号
PBt9.5(不燃)	: 不燃	NM-0441	木目調不燃化粧板t6.0	: 不燃	NM-1271
岩綿吸音板	: 不燃	NM-8599	鉛ボードt14.5(PBt12.5+鉛板t2)	: 不燃	H12.建設省告示第1400号
○ 不燃化粧PBt9.5	: 不燃	NM-1864	グラスウール	: 不燃	H12.建設省告示第1400号
無機質クロス1級(下地は不燃)	: 不燃	NM-9914	不燃ベフ	: 不燃	NM-2939
無機質クロス	: 準不燃	QM-9564	不燃ビニルクロス(下地は不燃)	: 不燃	NM-9891
○ 塗料(下地不燃)	: 不燃	NM-8585	不燃和紙クロス(下地は不燃)	: 不燃	NM-0996
塗料(下地準不燃)	: 準不燃	QM-9816	○ 耐水PBt12.5	: 不燃	NM-9639
化粧ケイカル板t6	: 不燃	NM-4227	不燃突板パネル	: 不燃	NM-1265

■ 内装制限(壁及び天井面の下地、仕上)

⊕	: 下地共不燃材
⊖	: 不燃材
⊕	: 下地共準不燃
準	: 準不燃材
難	: 難燃材
音	: 遮音間仕切(天井裏まで)

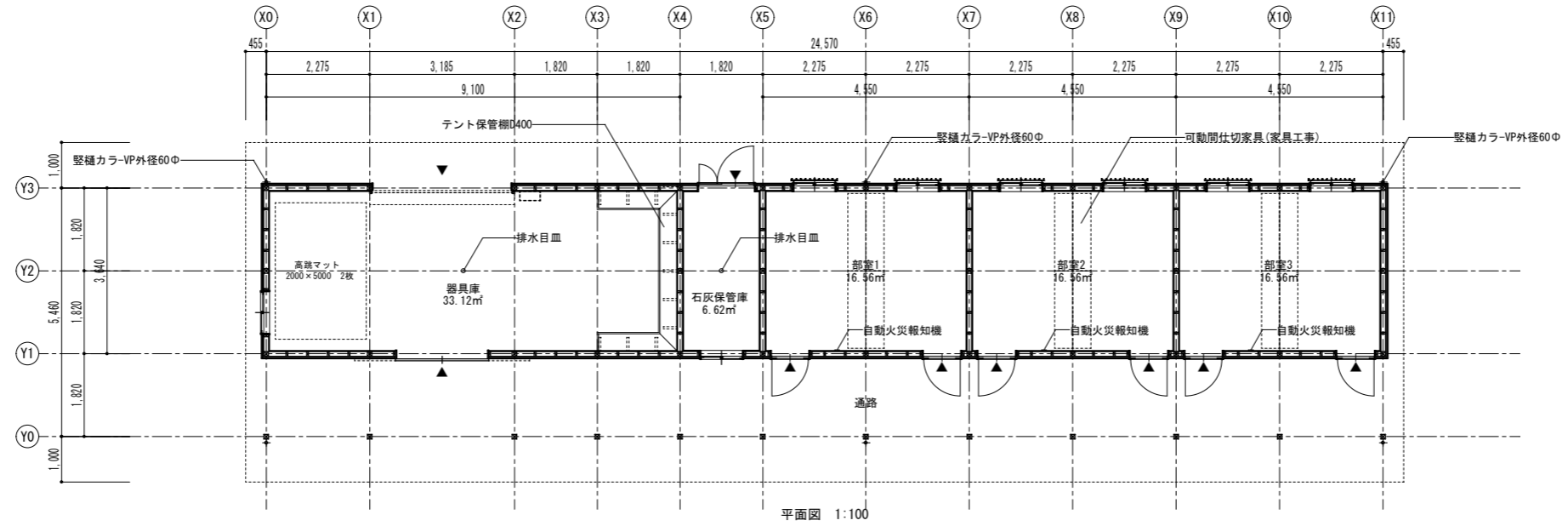
■ 特記事項

- 天井点検口はアルミ枠の天井上同材とする。特記なき限り450角。
  - カーテン、カーペット類は防炎加工品とする。
  - 特記なき限りSUSは304とする。
  - ボードの目透し部は専用テープ+塗装とする。
  - 特記なき限りLGS間仕切は90型、外壁廻り・柱型廻りはLGS50型とする。
  - PBt9.5は全て不燃とし無機質クロスは全て1級(下地不燃)とする。
  - 延焼の恐れのある開口部(法2条九の二号口)、建設省告示1360号
- ※ クロスの接着剤は酢酸ビニル樹脂系エマルジョン系接着剤とJIS A6922壁紙施工用でん粉系接着剤「F4スター」を混合したものとする。
- ※ 壁、天井のクロスは改正後JIS A6921(壁紙)マーク表示品とする。基準値：ホルムアルデヒド放放量0.2mg/リットル以下 適合品
- ※ 壁、天井裏の断熱材は改正後のJIS規格による「F4スター」の表示のあるJISマーク表示商品とする。
- ※ 使用する建材は、JIS規格による「F4スター」の表示のあるJISマーク表示商品とする。
- ※ 木製家具、木製建具等の材料は全て「F4スター」品を使用する。

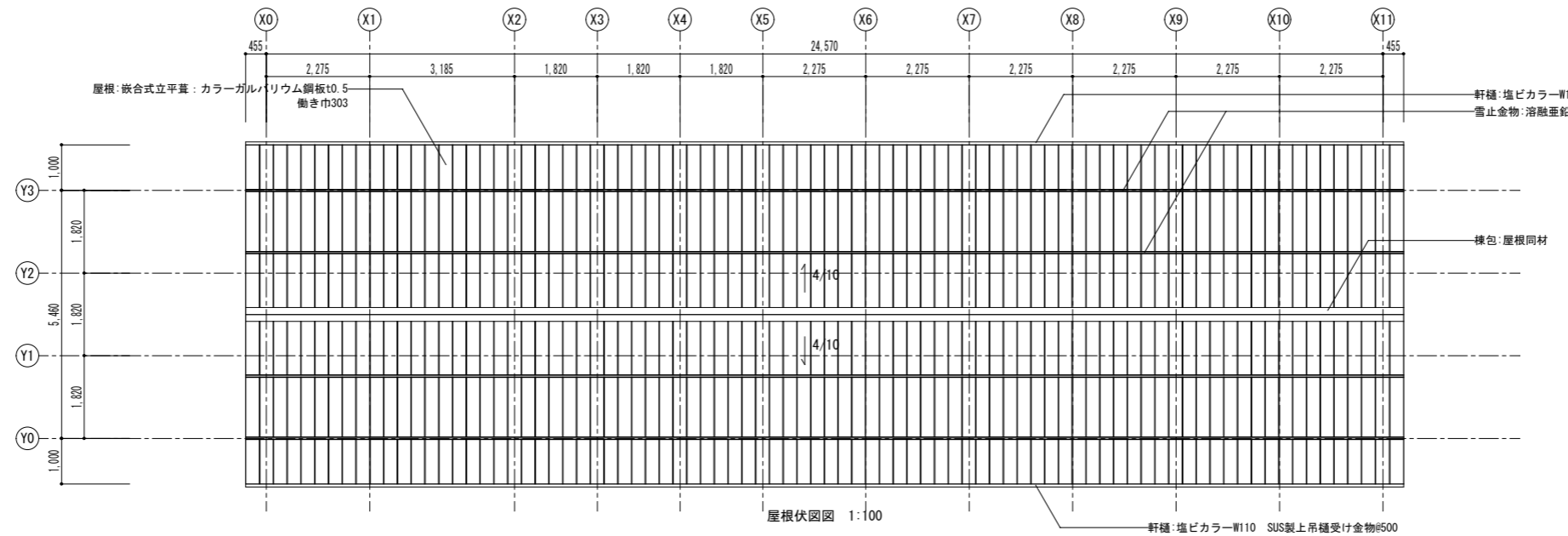


**株式会社あおい総合設計**  
 鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第03-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司

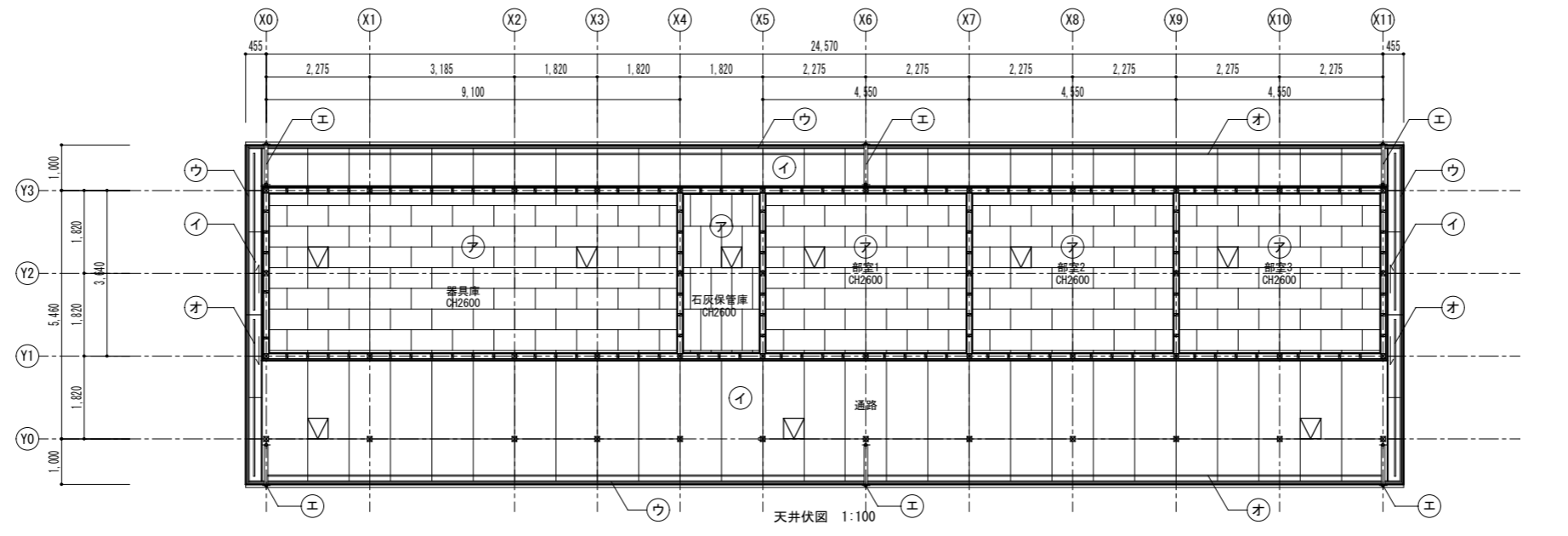
CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	大山中学校部室棟建替工事設計業務	TOTAL
		—	NAME	仕上表	No.
					A - 11



平面図 1:100

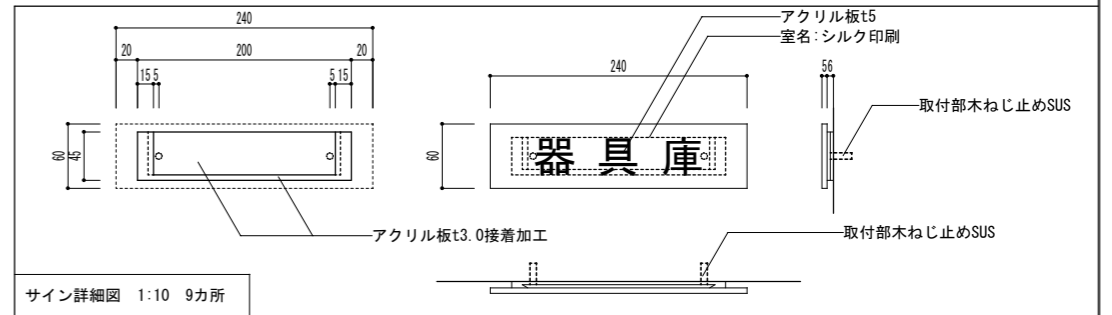
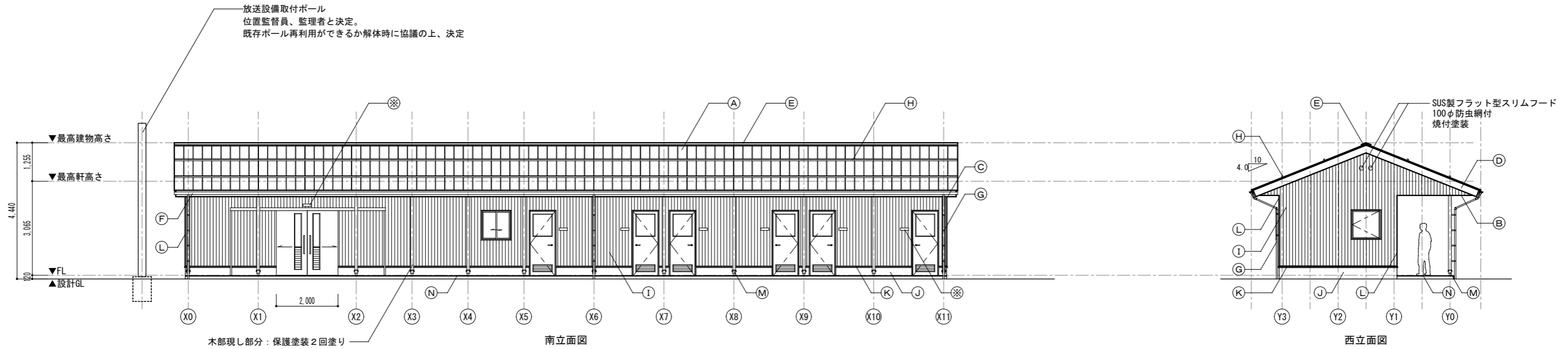
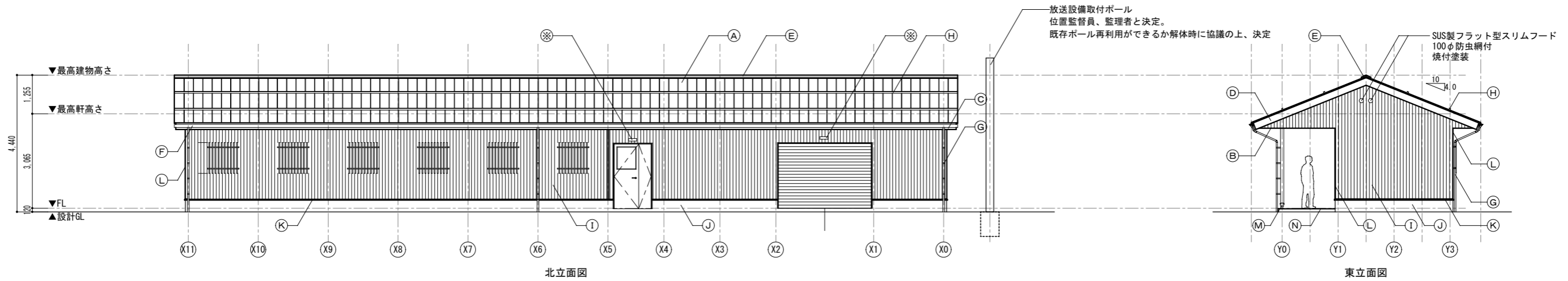


屋根伏図 1:100

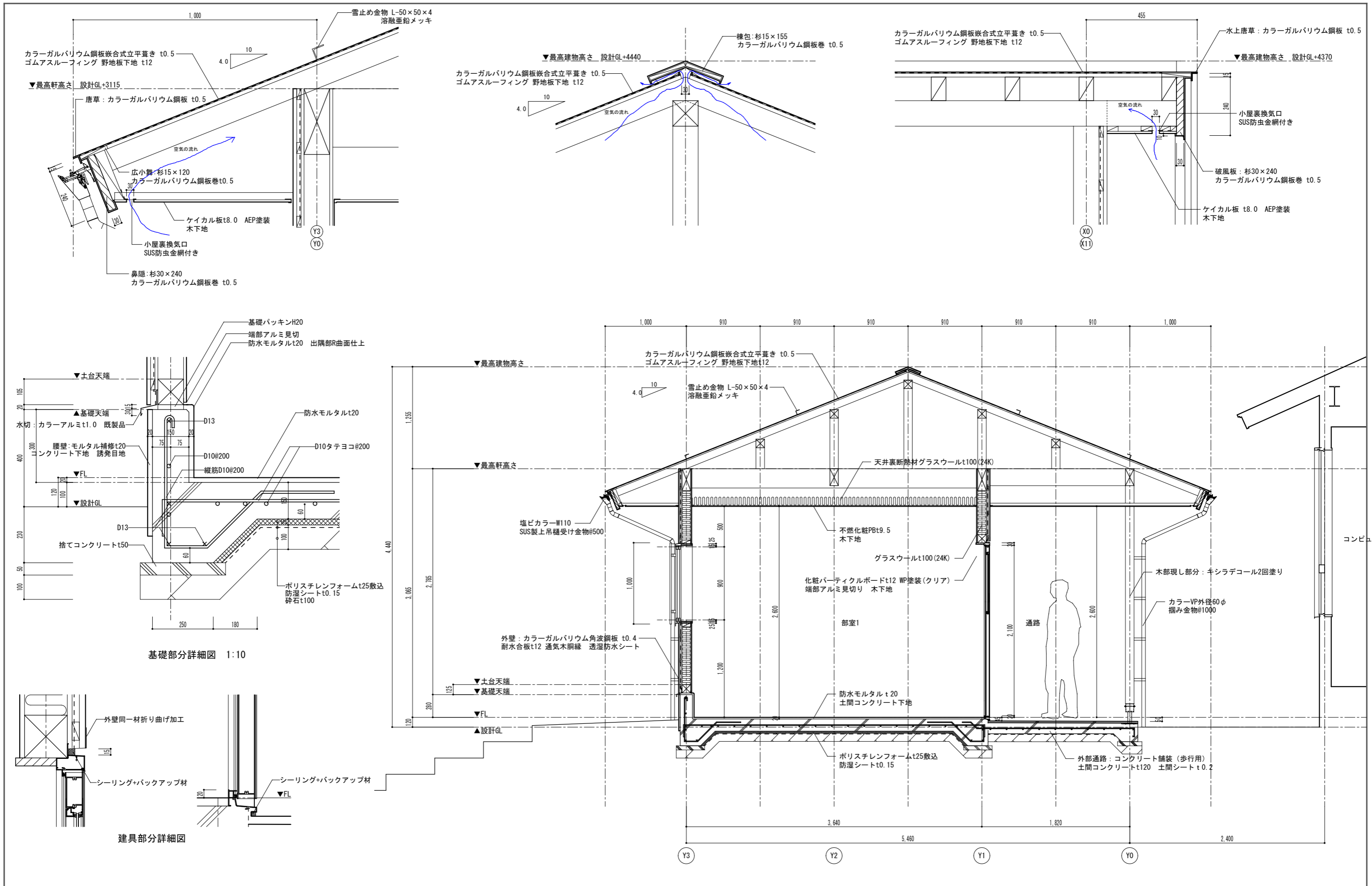



天井伏図 1:100

ア	不燃化粧PB t9.5
イ	ケイカル板 AEP塗装 木下地
ウ	鼻隠し30×240 屋根同材巻上
エ	軒構:塩ビカラー-W110 SUS製上吊樋受け金物#500
オ	軒先スリット 防虫金網設置
□	アルミ天井点検口 450口 (位置は現地決定及び化粧石膏ボード部はビスを外して点検)

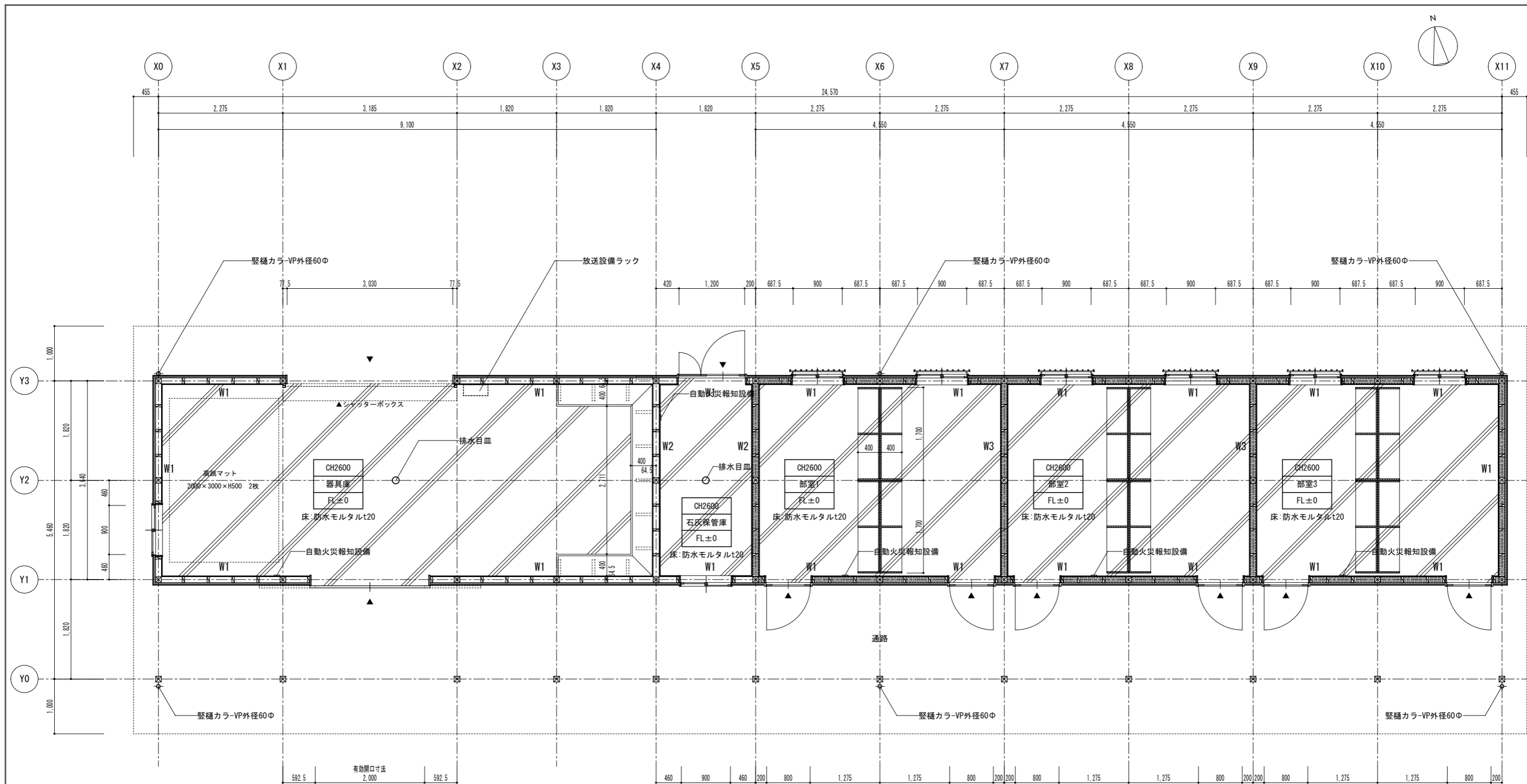


外部仕上凡例			
(A) 屋根：カラーガルバリウム鋼板t0.5 嵌合式立平葺	(F) 軒樋：塩ビカラーW110	(K) 水切：カラーアルミt1.0 既製品	
(B) 軒天：ケイカル板t8.0 AEP塗装	(G) 縦樋：カラーVP外径60φ	(L) 出隅役物：カラーガルバリウム鋼板t0.4 既製品	
(C) 鼻隠：杉30×240 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照	(H) 雪止金物：溶融亜鉛メッキ L-50×50×4 (2段)	(M) 柱脚金物：化粧SUS製既製品 アンカー止め	
(D) 破風板：杉30×240 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照	(I) 外壁：カラーガルバリウム鋼板t0.4 角波鋼板 通気木胴縁 透湿防水シート	(N) 外部通路：コンクリート舗装(歩行用) 土間コンクリートt120 溶接金網 φ6-150×150 カッター目地@5000以下	
(E) 横包：杉15×155 ガルバリウム鋼板巻 ※詳細図参照	(J) 腰壁：モルタル補修t20 コンクリート下地 誘発目地	(※) 屋外サイン：アルミ複合板t3.0 高耐候性カッティングシート貼	



 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第26-323号      一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏      一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 明</small>				CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	大山中学校部室棟建替工事 矩形図		TOTAL
						1 : 10, 30	NAME	A - 14		

A2 : 100% A3 : 71%



壁リスト1:10

W1 (外壁一般部)	W2	W3
※居室Gwt100充填	※居室Gwt100充填	※Gwt100充填

平面詳細図 1:50

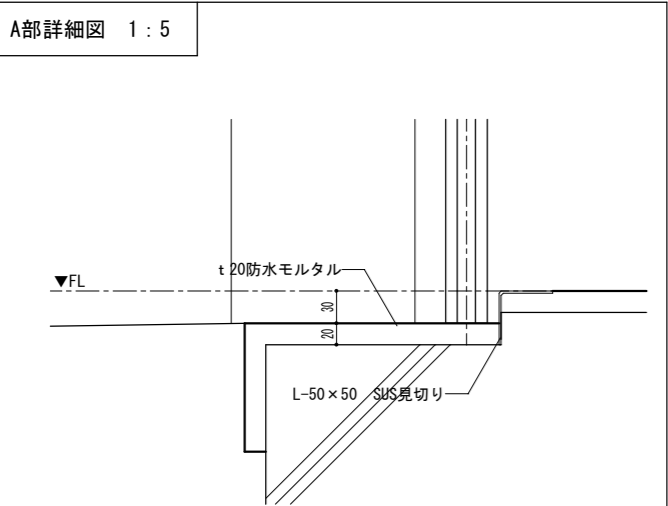
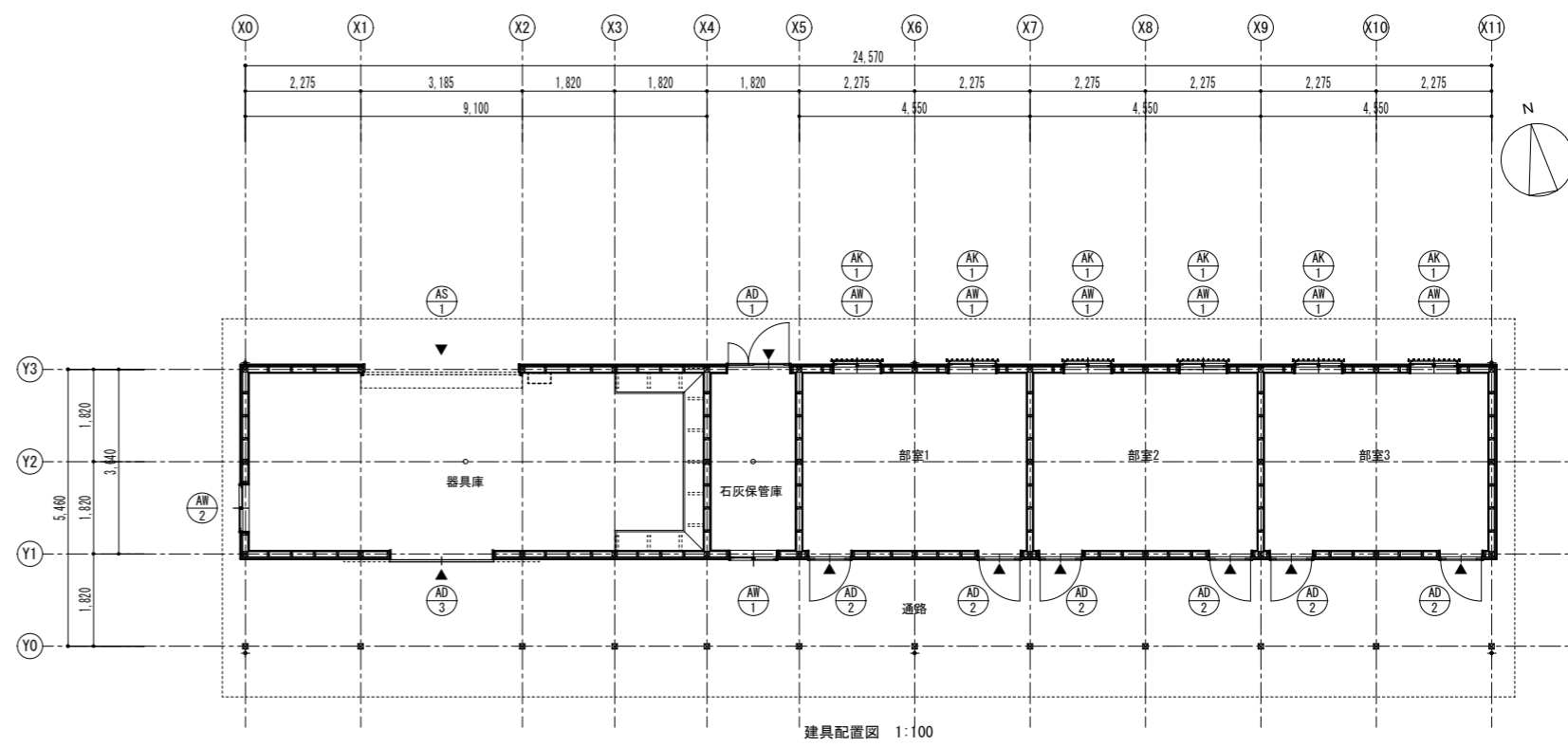
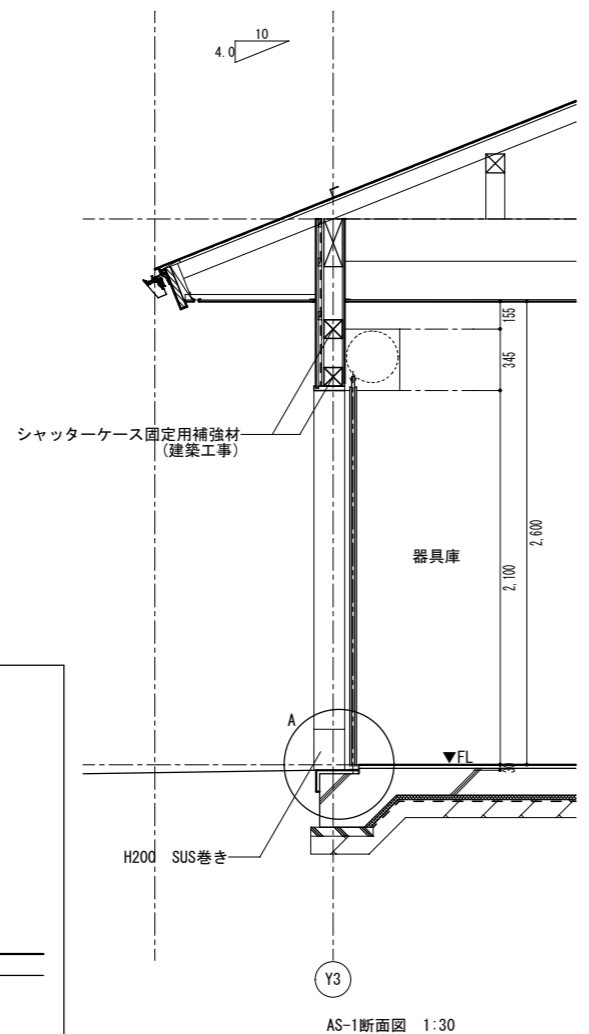
【室名記号】

CH※※	天井高さ
○○	室名
FL±0	床仕上高さ

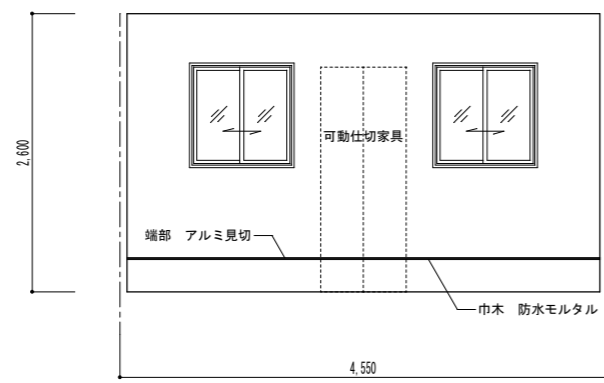
記号	AS1	AD1	AD2	AW1	AW2	AK1
形式	アルミ製軽量手動式シャッター	アルミ製親子扉	アルミ製片開扉	アルミ製引違窓	アルミ製縦滑出窓	アルミ製格子
姿図 寸法						
場所	器具庫	石灰保管庫	部室1~3	部室1~3	器具庫	部室1~3
数量	1	1	6	7	1	6
仕上・材料	アルミ押出形材	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
見込	—	70	70	70	70	100
ガラス	—	強化Ft4	強化Ft4	強化Ft4	強化Ft4	—
金物	附属金物一式、アルミ座板、アルミガイドレール 手掛、錠 三方枠：DP塗装 亜鉛メッキ鋼板 t 1.6	附属金物一式、SL、DC、FD、LH、アルミ顔縁 SUS下枠（Bタイプ）	附属金物一式、SL、DC、FD、LH、アルミ顔縁 SUS下枠（Bタイプ）、換気ガラリ	附属金物一式、CL、網戸、アルミ顔縁	附属金物一式、網戸、アルミ顔縁	附属金物一式
備考						

- 建具工事共通事項  
※段差3mm以下
- (A) タイプ (C) タイプ
- (B) タイプ (D) タイプ
- ※材料は全てSUS t 2.0とする
- 金物凡例  
SL：シリンダー錠 PH：ピボットヒンジ  
DC：ドアチェック FH：フロアーヒンジ  
AP：アングルピース FD：フランシス落し  
LH：レバーハンドル GH：グレモンハンドル
- ガラス凡例  
FL：フロート板ガラス PW：網入り磨き板ガラス  
F：型板ガラス FW：網入り型板ガラス
- 特記事項  
・特記なき限り使用金物はステンレス製（304）とする。  
・建具周囲のシーリングは変成シリコン系シーリングとする。  
・特記なき限り引戸のSLはシリンダー錠とする。  
・新設する建具は開口補強を行う。  
・アルミ顔縁（下）は結露受付とする。  
・マスターキー製作とする。  
・使用する材料は F☆☆☆☆品とする。  
・扉には、戸当りを設置すること。  
・特記なき限り木製顔縁・枠は、米ツガとする。  
・外部サッシと外壁の隙間にはロックウール充填+内側にもシーリングとする。  
・ドアの窓を緊急時に破壊し、内部に侵入できる構造とする。

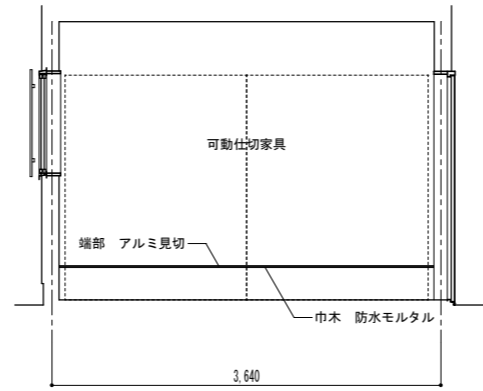
記号	AD3
形式	アルミ製引分戸
姿図 寸法	換気ガラリ 200×700 開口率30% 有効面積0.084㎡以上確保すること。 
場所	器具庫
数量	1
仕上・材料	アルミカラー
見込	100
ガラス	強化Ft4
金物	附属金物一式、SL、大型引手、アルミ顔縁 SUSフラットレール（水抜き）、換気ガラリ
備考	



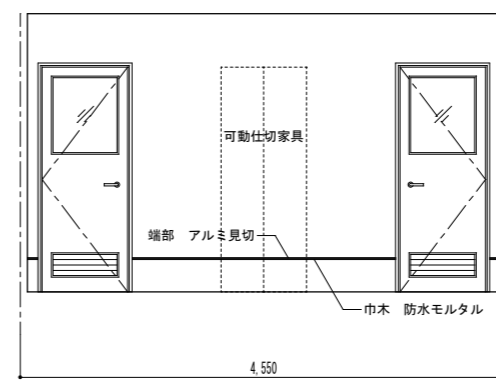
部室 1、2、3	CH=2600
床	防水モルタル t20 金鍍仕上
巾木	防水モルタル t20 金鍍仕上 H=300
暖壁	-
壁	化粧パーティクルボード t12 WP塗装(クリア)
天井	不燃化粧PB t9.5



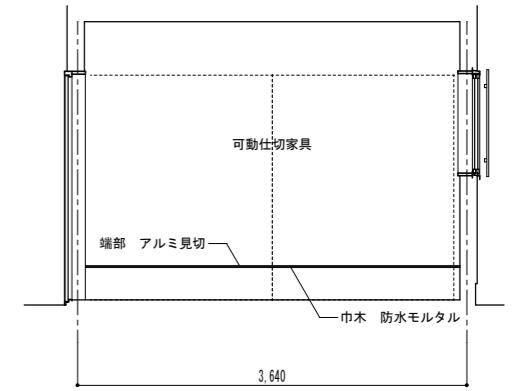
A



B

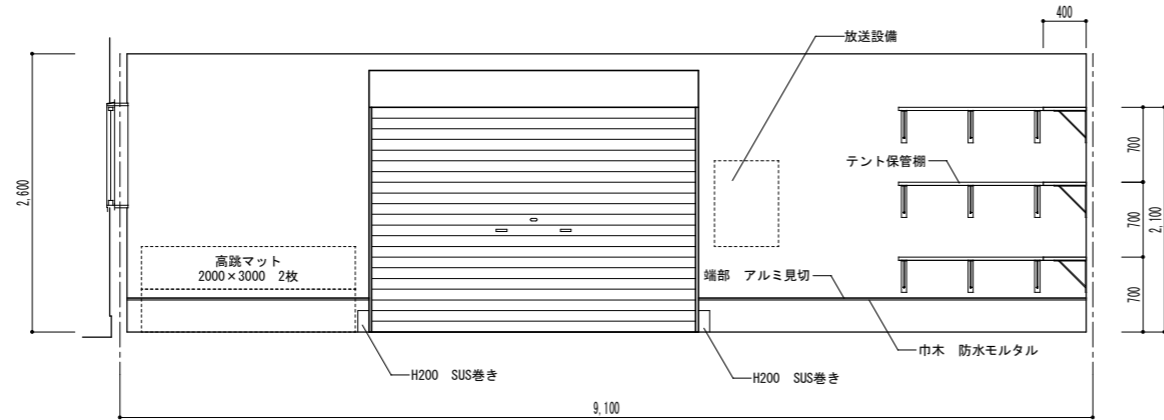


C

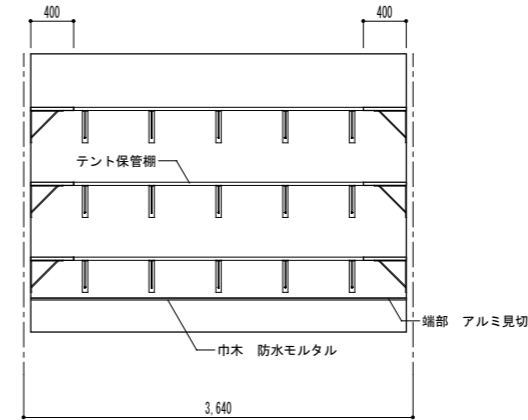


D

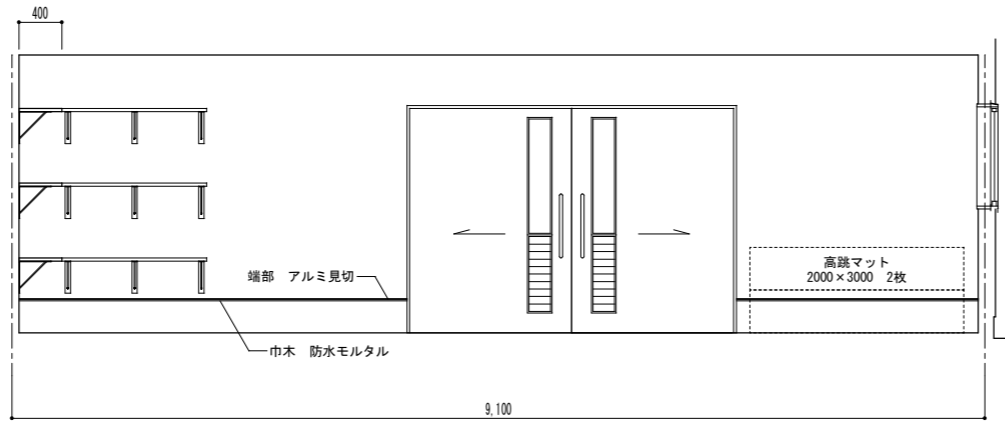
器具庫	CH=2600
床	防水モルタル t20 金鍍仕上
巾木	防水モルタル t20 金鍍仕上 H=300
暖壁	-
壁	化粧パーティクルボード t12 WP塗装(クリア)
天井	不燃化粧PB t9.5



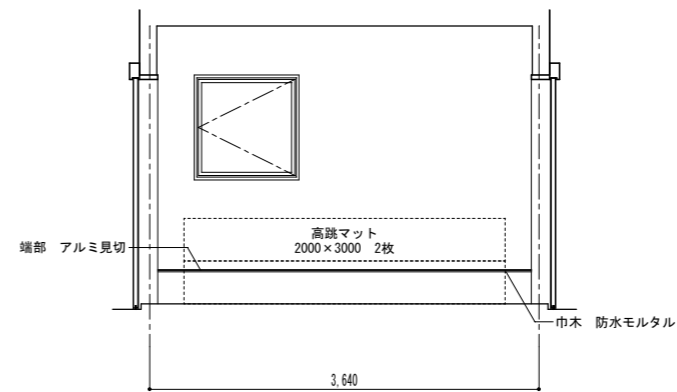
A



B

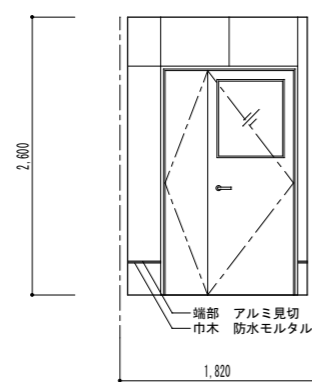


C

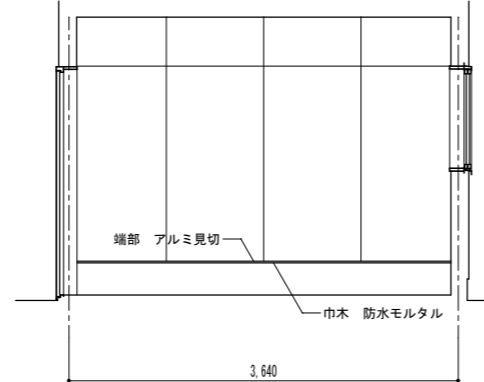


D

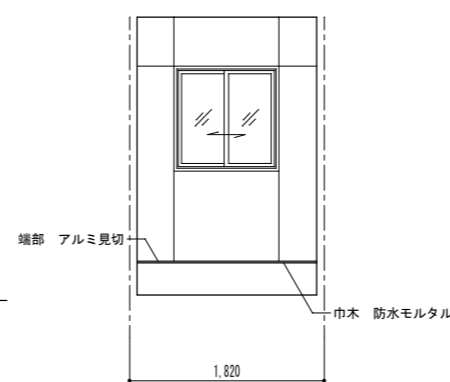
石灰保管庫	CH=2600
床	防水モルタル t20 金鍍仕上
巾木	防水モルタル t20 金鍍仕上 H=300
暖壁	-
壁	ケイカル板 t6.0 目透貼 EP塗装※目地共 端部アルミ見切
天井	不燃化粧PB t9.5



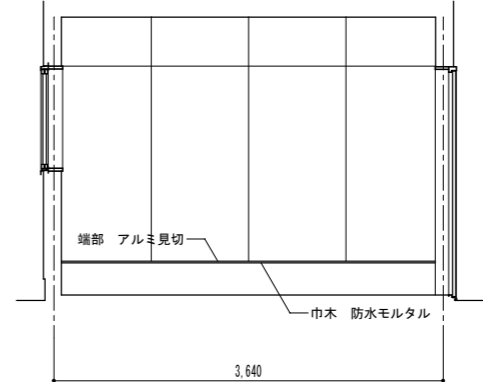
A



B



C



D



株式会社あおい総合設計

鳥取県知事登録 鳥取県建築士事務所 第03-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司

CHECK

DRAW

SCALE

TITLE

大山中学校部室棟建替工事

TOTAL

1:50

NAME

展開図

No.

A-17

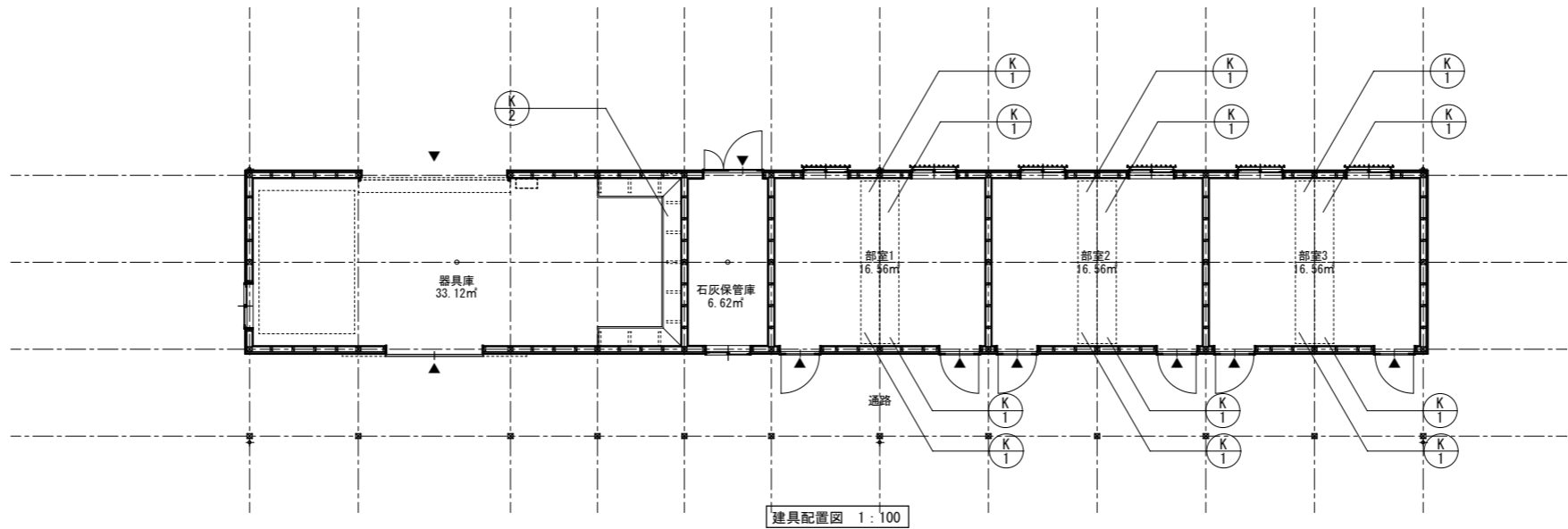
A2: 100% A3: 71%

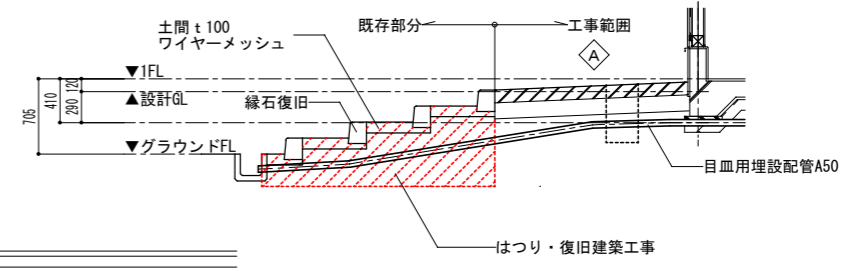
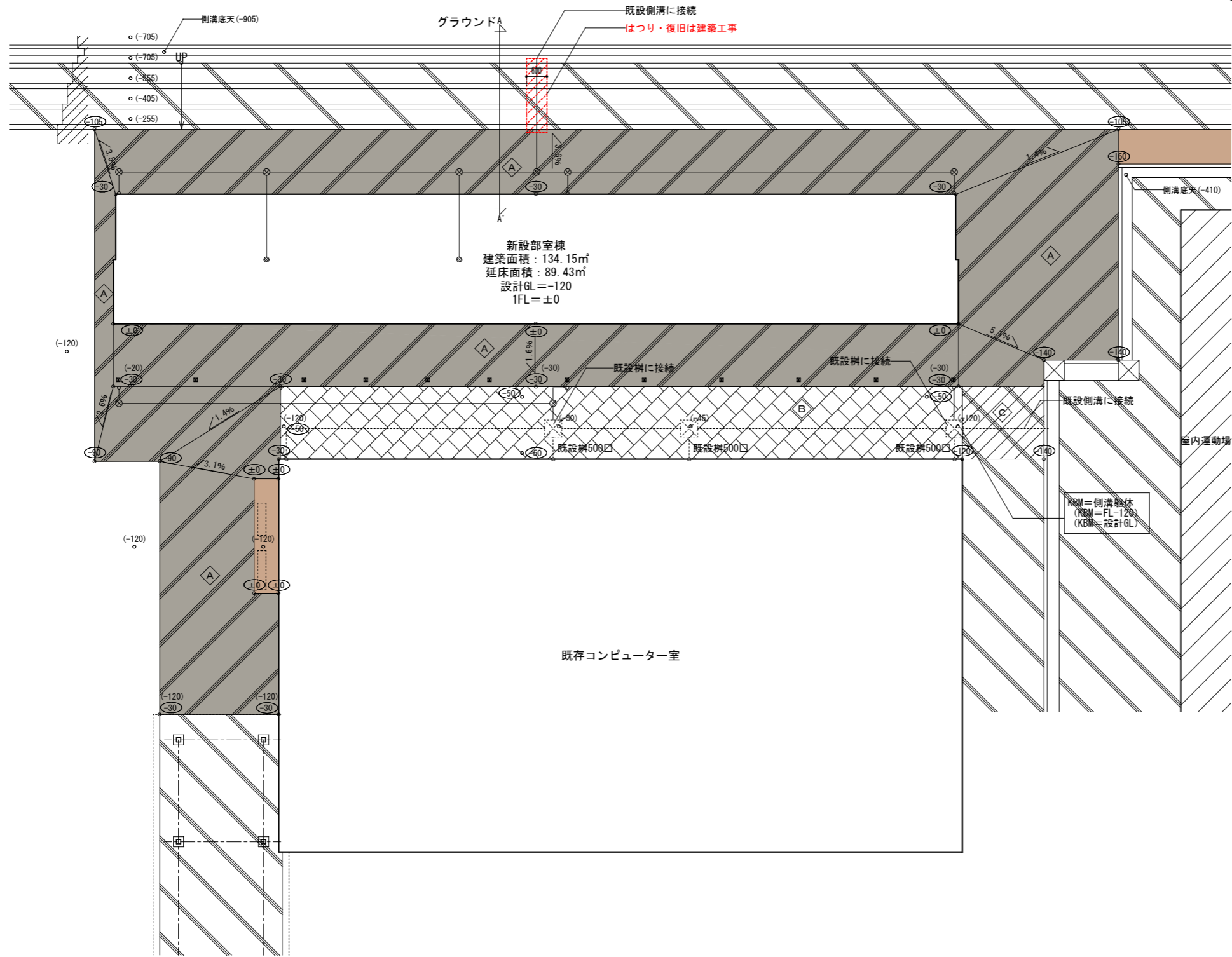
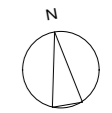
記号・形式	① 可動間仕切り棚	② 固定収納棚
図寸法		
場所	部室	器具庫
数量	12	3
仕上・材料 金物・硝子	ポリ合板・メラミン化粧板 ※棚板・天板部分についてはメラミン化粧板とする。 棚レール・キャスター	ポリ合板・メラミン化粧板 ※棚板・天板部分についてはメラミン化粧板とする。 ブラケット
備考	キャスター選定は耐荷重に注意。 ストッパー付きとすること。	

■家具工事共通事項 特記なき場合は下記の仕様による

取付  
家具固定方法 / 床・壁・天井との取り合い部分等、固定方法は現場打合せの上決定する。  
最終寸法は現場打合せの上決定とする。

品質管理  
家具の寸法・仕様等は現場打合せを元に施工図を作成し承認を受け製造すること。  
製作にあたり、品質証明書及び材料・接着剤の安全データシートを提出し承認を受け製造すること。  
主材料は材料見本・塗装見本を提出し、承認を受け製造すること。





A-A' 断面図 1:50

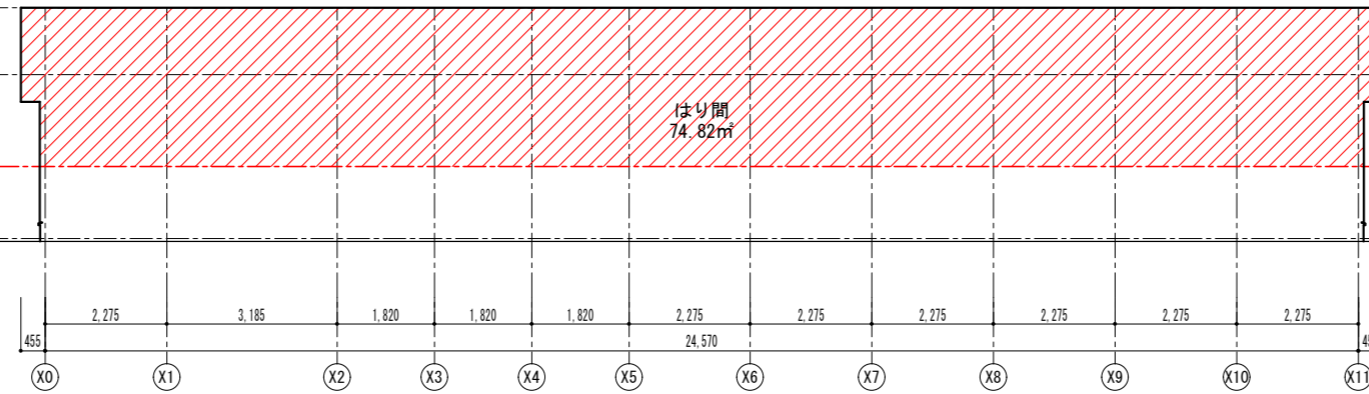
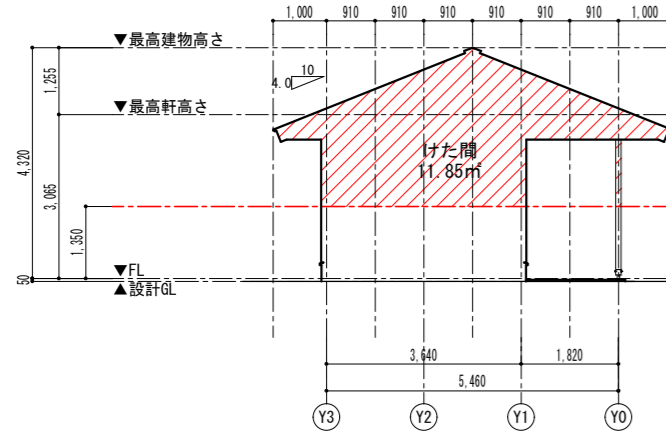
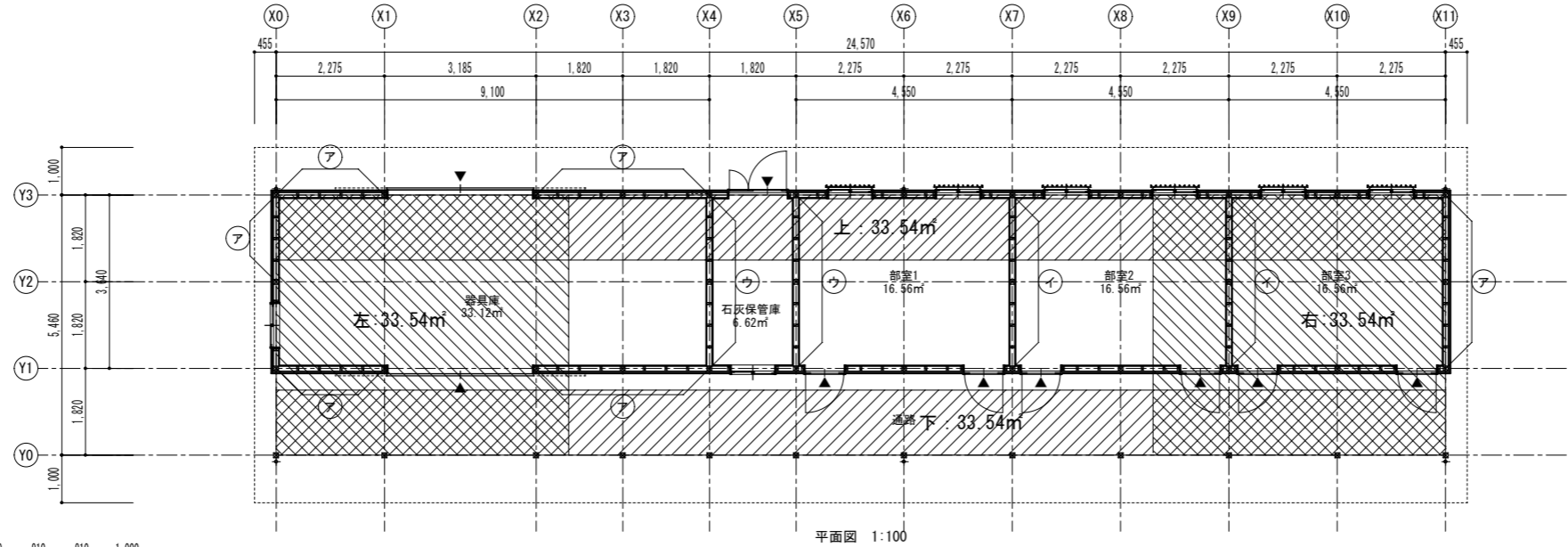
凡例	仕様
A	歩道用コンクリート舗装 土間コンクリートt120 溶接金網：φ6-150×150 カッター目地φ5000以下 路盤 再生砕石t150 (転圧)
B	砂利敷き
C	既存舗装目荒の上増し打ち
	既存舗装部分

・原則として舗装部、緑石部、側溝部は段差なしとし、舗装の水勾配は1.5%以上とする。  
 ・※路盤施工時に、ロードローラーにて締固めを行った後に舗装を行うこと。

(+00)	現状レベルを示す。(FLからの高さを示す。)
(○○)	計画レベルを示す。(FLからの高さを示す。)

外構図 1:100

符号	壁仕様	壁倍率
ア	耐水合板t12(N50釘@150打) 壁倍率2.5	5.0
イ	パーティクルボードt12(N50釘@150打) 壁倍率2.5	5.0
ウ	PBt12.5(GFN40またはGNC40 @150打) 壁倍率0.9	3.4



必要壁量計算	階数	地震力に対する必要壁量 (m)		風圧力に対する必要壁量 (m)		必要壁量 (m)	
		X方向 (けた行)	Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)	Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)	Y方向 (はり間)
1階		床面積 (m <sup>2</sup> ) 134.15 × 0.14 = 18.78 ※不利側で計算。	係数 (m/m) 0.50	見付面積 (m <sup>2</sup> ) 11.85 × 0.50	係数 (m/m) 0.50	5.93 < 18.78	18.78 < 37.41
				必要壁量 (m) = 5.93	必要壁量 (m) = 37.41	∴ 18.78	∴ 37.41

設計壁量計算	階数	耐力壁の種類	倍率	有効壁量 (m)		判定	
				X方向 (けた行)	Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)	Y方向 (はり間)
1階		ア	5.0	壁長 (m) × 倍率 = 11.83 × 5.0 = 59.15	壁長 (m) × 倍率 = 7.28 × 5.0 = 36.40	63.51 > 18.78	61.15 > 37.41
		イ	5.0		7.28 × 3.4 = 24.75	∴ OK	∴ OK
		ウ	3.4				
				計 59.15	計 61.15		

■ 平成12年建設省告示第1352号に基づく軸組の配置チェック

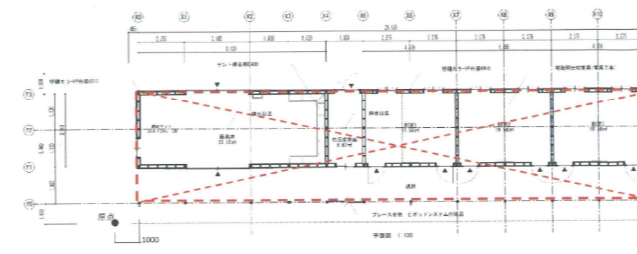
存在壁量 (m)	階数	X方向 ※不利側で計算。		Y方向 ※不利側で計算。	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
5.915 × 5.0 = 29.575	1F	33.54	33.54	1.82 × 5.0 = 9.10	3.64 × 5.0 = 18.20
33.54 × 0.11 ≒ 3.69	1F	33.54 × 0.11 ≒ 3.69	33.54 × 0.11 ≒ 3.69	33.54 × 0.11 ≒ 3.69	33.54 × 0.11 ≒ 3.69
33.54 / 3.69 ≒ 9.08	1F	0 / 3.69 ≒ 0	9.10 / 3.69 ≒ 2.46	36.40 / 3.69 ≒ 9.86	
0 / 9.08 ≒ < 0.5	1F		2.46 / 9.86 ≒ 0.24 < 0.5		

※判定基準 各階、各方向ごとにそれぞれの壁量充足率γ≧1.0、または壁率比≧0.5ならばOK

偏心率の検討 (法46条4項に基づく建設第1352号 ただし書き)

A) 重心位置 G

建物の平面形状の重心を重心位置とする。



上図より  
 $G_x = 1 + 24.57/2 = 13.285 \text{ m}$   
 $G_y = 1 + 5.46/2 = 3.73 \text{ m}$

B) 剛心位置の算定

耐力壁	壁倍率
ア	5
イ	5
ウ	3.4
エ	2.4

記号	壁倍率	X方向				Y方向				剛心 Sx(m)	剛心 Sy(m)
		壁長Xi (m)	存在壁長 Lxi (m)	距離Yi (m)	Lxi x Yi	壁長Yi (m)	存在壁長 Lyi (m)	距離Xi (m)	Lyi x Xi		
ア	5	2.275	11.375	2.82	32.08	1.82	9.1	1	9.1	13.285	4.64
イ	5	3.64	18.2	2.82	51.324	3.64	12.376	9.1	112.6	13.285	3.73
ウ	5	2.275	11.375	6.46	73.483	3.64	12.376	10.92	135.15	13.285	3.73
エ	5	3.64	18.2	6.46	117.57	3.64	12.376	15.47	281.55	13.285	3.73
										13.285	4.64
										13.285	4.64

※偏心率の検討により問題ないことを確認

C) 偏芯距離e

階	方向	重心G	剛心S	e (m)
1	X	13.285	15.262	1.98
	Y	3.73	4.64	0.91

D) 剛心剛性 Kr

$K_r = \frac{\sum(L_x \cdot (Y-S_y)^2) + \sum(L_y \cdot (X-S_x)^2)}{4.64 \text{ m}}$   
 $S_x = 15.262 \text{ m}$

記号	壁倍率	X方向				Y方向				Kr
		壁長Xi (m)	存在壁長 Lxi (m)	距離Yi (m)	Lxi x Yi	壁長Yi (m)	存在壁長 Lyi (m)	距離Xi (m)	Lyi x Xi	
ア	5	2.275	11.375	2.82	32.078	1.82	9.1	1	9.1	1851
イ	5	3.64	18.2	2.82	51.324	3.64	12.376	9.1	112.62	469.93
ウ	5	2.275	11.375	6.46	73.483	3.64	12.376	10.92	135.15	233.33
エ	5	3.64	18.2	6.46	117.57	3.64	12.376	15.47	281.55	0.787
										412.01
										1576.8
										4739.8

E) 弾力半径 re

$r_e = (K_r / \sum L) \cdot 0.5$

階	方向	壁長 ΣL (m)	剛心剛性 Kr	弾力半径 re (m)
1	X	59.15	8.95	8.95
	Y	88.452	4739.8	7.32

F) 偏心率

階	方向	偏心距離 e (m)	弾力半径 re (m)	偏心率 ey/rex = e/re	判定 < 0.3
1	X	1.98	8.95	0.10	OK
	Y	0.91	7.32	0.27	OK

どちらの方向に関しても、偏心率 0.3 以下である。



株式会社あおい総合設計

鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号  
 一級建築士登録 大臣登録 第216192号 清川 英敏  
 一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司

CHECK

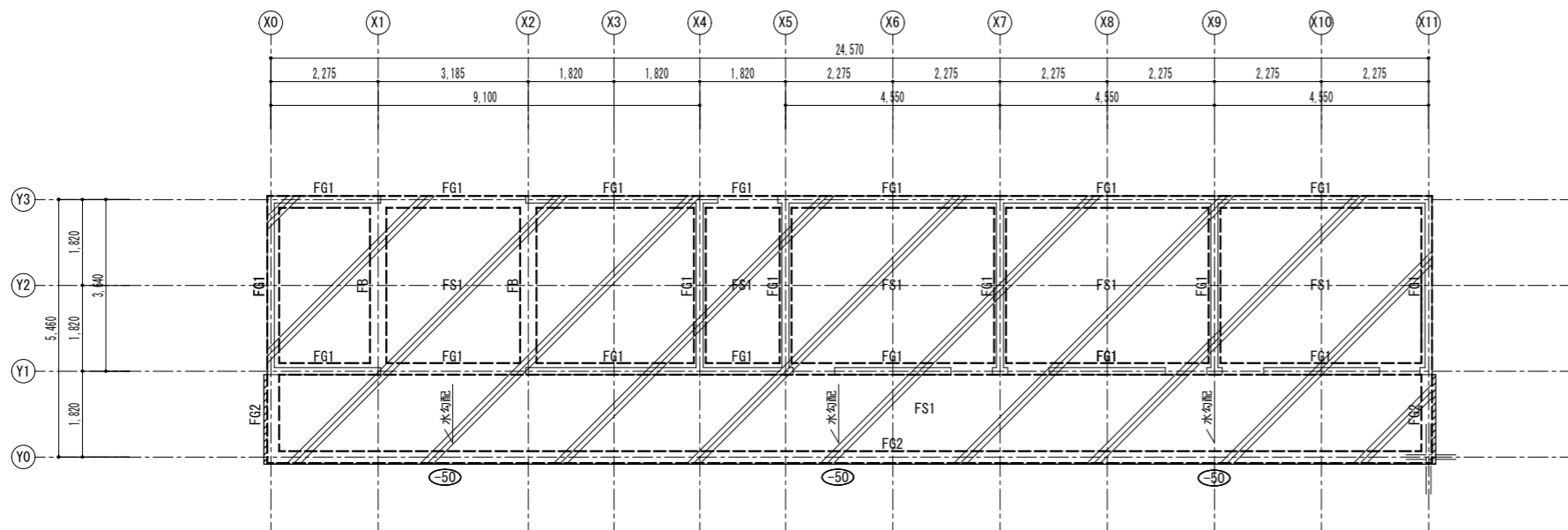
DRAW

SCALE

TITLE

大山中学校部室棟建替工事

TOTAL



基礎伏せ図 1:100

- 特記なきがぎり、下記とする。
1. 耐圧版レベル= FL-20 とする。
  2. 耐圧版は、FS1 とする。
  3. 基礎梁は、通路部はFG2 とする。
  4. □ は、RC立上り壁を示す。
  5. 解体工事までに乱された範囲は200mm毎に締め固めを行う。
  6. 最大接地圧：10.3kn/m<sup>2</sup>

基礎梁リスト S=1:20

特記なき限り 砕石t100

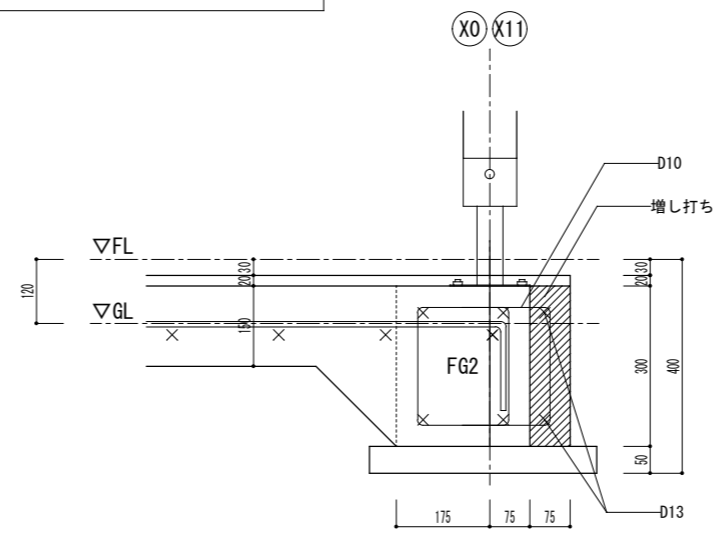
符 号	FG1	FG2	FB	
位 置	全断面	全断面	両 端	中 央
断 面				
上 端 筋	2-D13	2-D13	3-D13	6-D13
下 端 筋	2-D13	2-D13	3-D13	3-D13
S T P	D10@200	D10@200	D10@200	
備 考				

耐圧版リスト

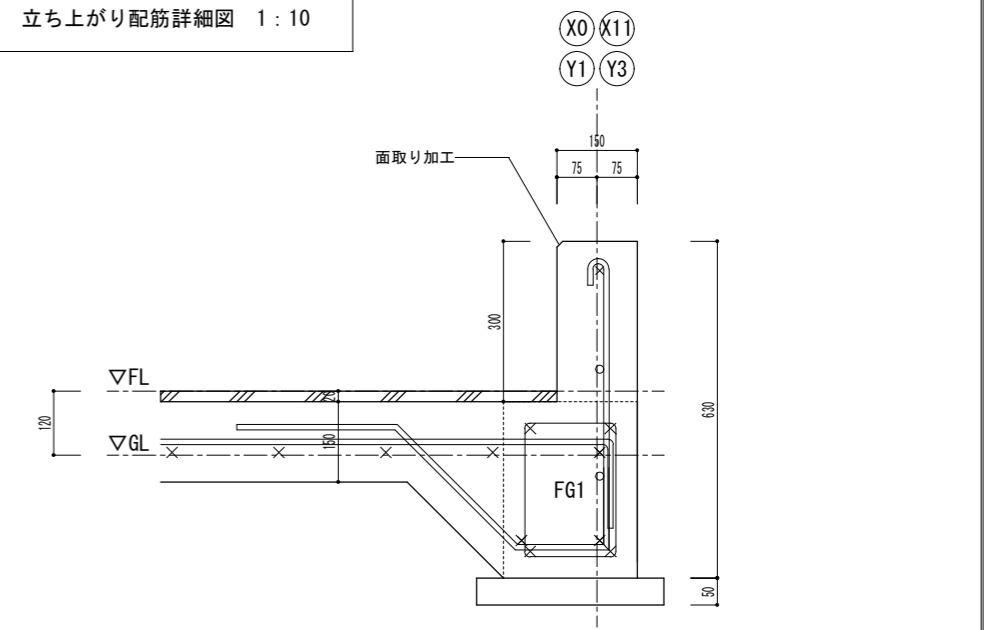
耐圧版下 断熱材t 25+防湿シートt0.15+砕石t100※通路部は断熱材不要

符 号	厚 さ	位 置	主 筋 方 向	配 筋 方 向
FS1	150	シングル	D10@200	D13@200

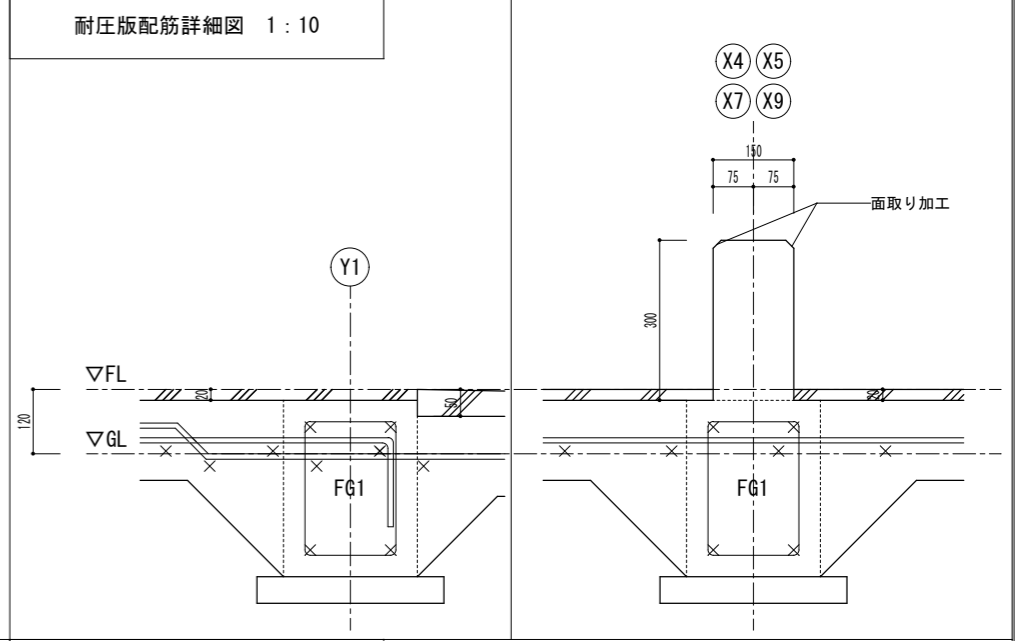
増打部補強筋詳細図 1:10



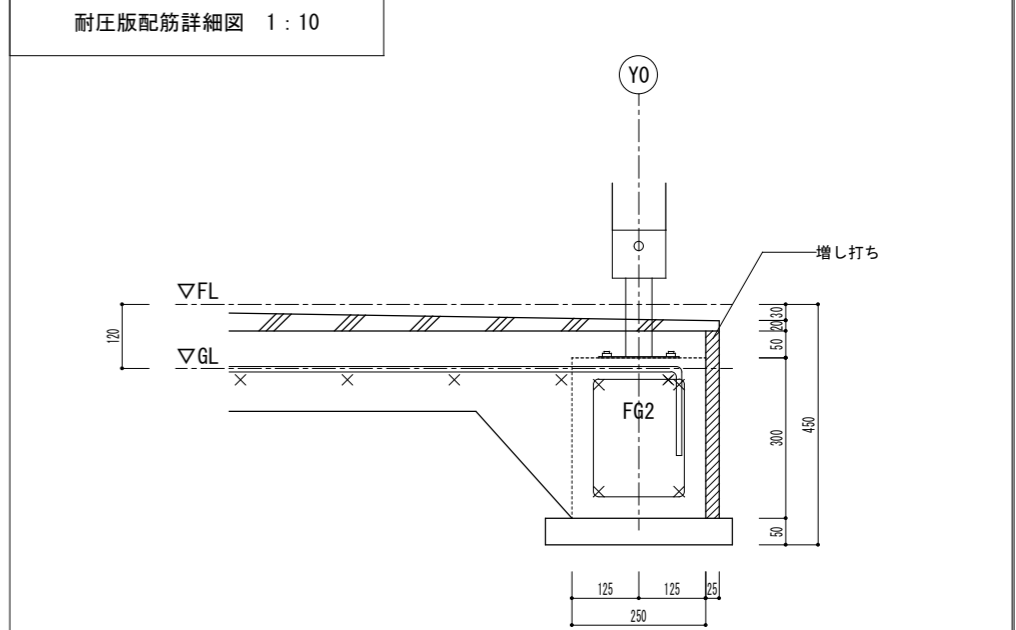
立ち上がり配筋詳細図 1:10



耐圧版配筋詳細図 1:10

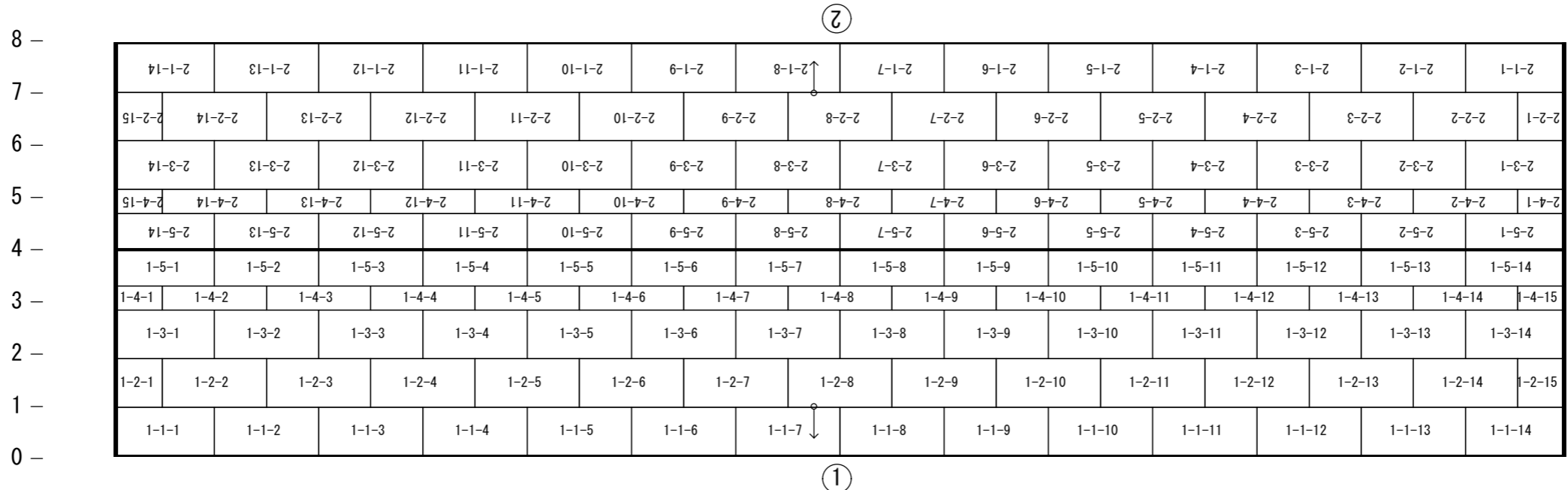


耐圧版配筋詳細図 1:10



株式会社あおい総合設計  
鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号  
 大阪府知事登録 一級建築士事務所 第216192号  
 東京都知事登録 一級建築士事務所 第323409号  
 浦川 英敏 堀江 司

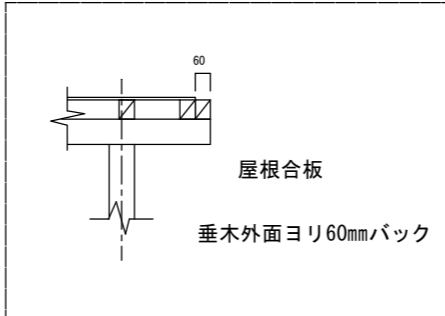
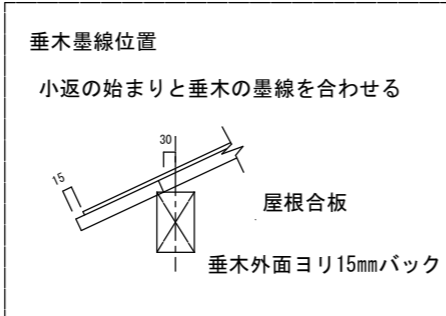
CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
		1:100	大山中学校部室棟建替工事 基礎伏図	No. A-21

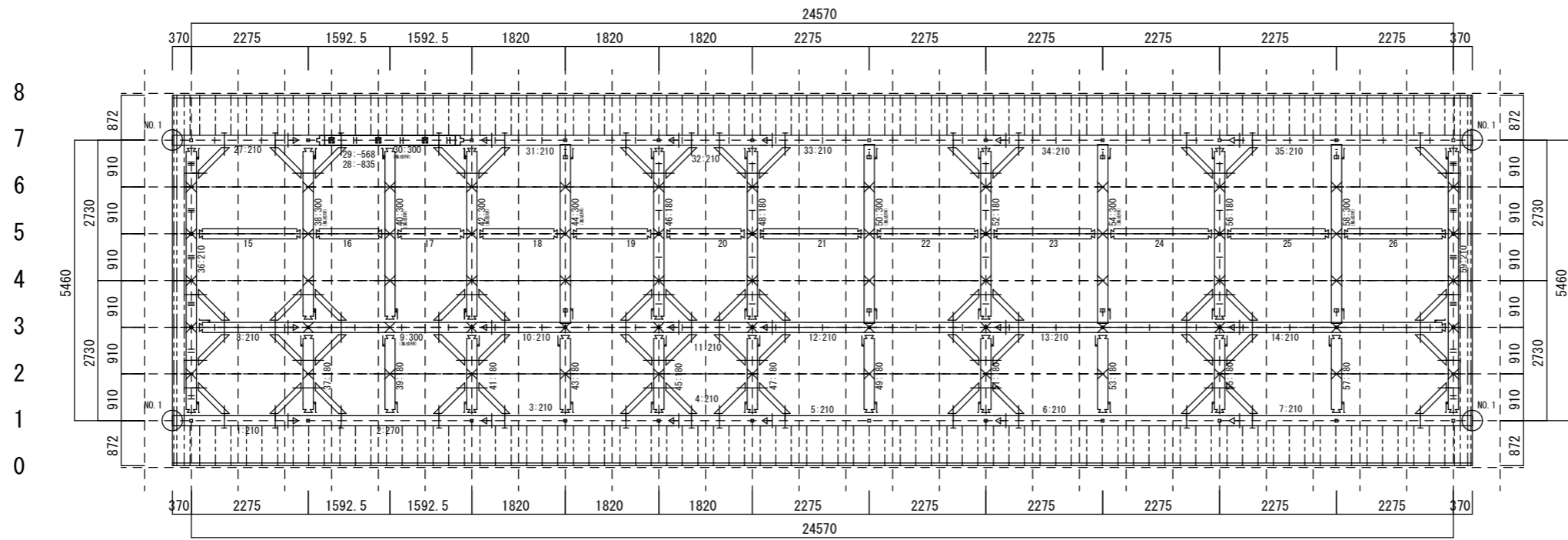


— いろいろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

屋根パネル割付図 1:70

- 特記事項
1. 基本ピッチ 910.0
  2. 広小舞接合位置 (直) 平 : -13.9 勾 : -15.0
  3. 登り淀接合位置 -60.00
  4. パネル素材 (厚×幅×長) 12.0×910.0×1820.0
  5. 屋根勾配 4.00





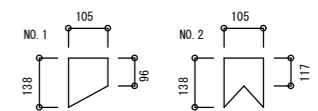
— いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゑのおくや

小屋構造平面図 1:80

特記事項

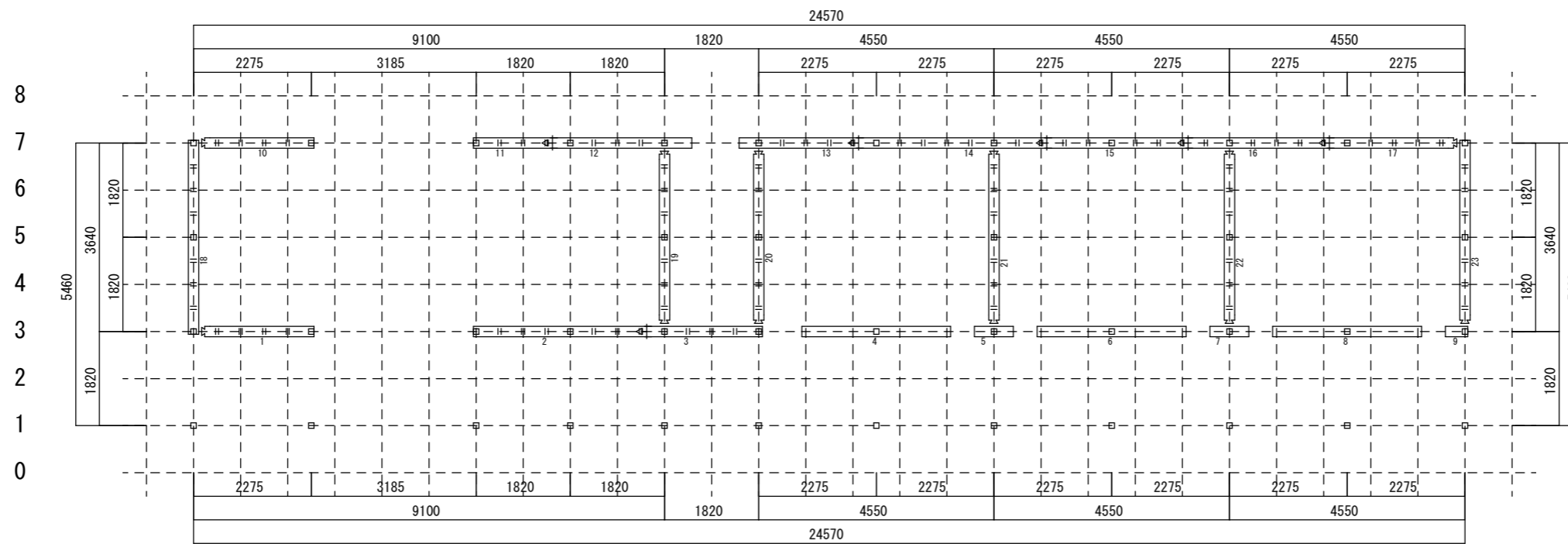
1. 横架材省略寸法 105×105
2. 屋根勾配 4.0
3. 基本ピッチ 910.0
4. 垂木寸法 60×90
5. 階高 1階:2660

○ ケラバ落  
 柱105\*105 束105\*105  
 4.0寸勾配  
 垂木天カラ210mmカット



継手・仕口	
	鎌継
	蟻継
	乗継
	追掛
	蟻掛
	蟻大入掛
	逆さ蟻大入
	桁差し
	兜蟻大入
	茶臼蟻大入
	胴差し
	横差し
柱	
	通し柱
	大通し柱
	管柱
	半柱
	特殊柱
	小屋束
	吊束
	束立
	床束
	下部軸組柱
筋違	
	上
	下

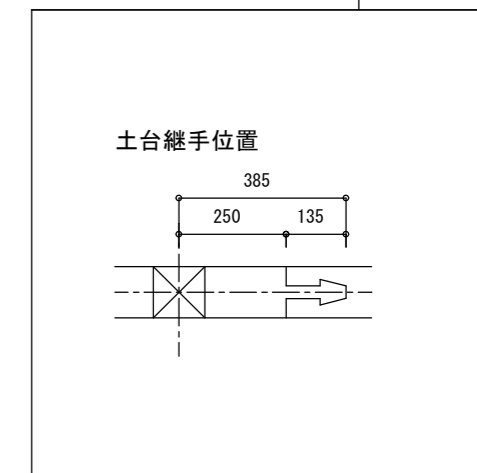
<p>株式会社あおい総合設計</p> <p>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号        一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏        一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司</p>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
			1:80	大山中学校部室棟建替工事 1階小屋構造平面図	No. A-23



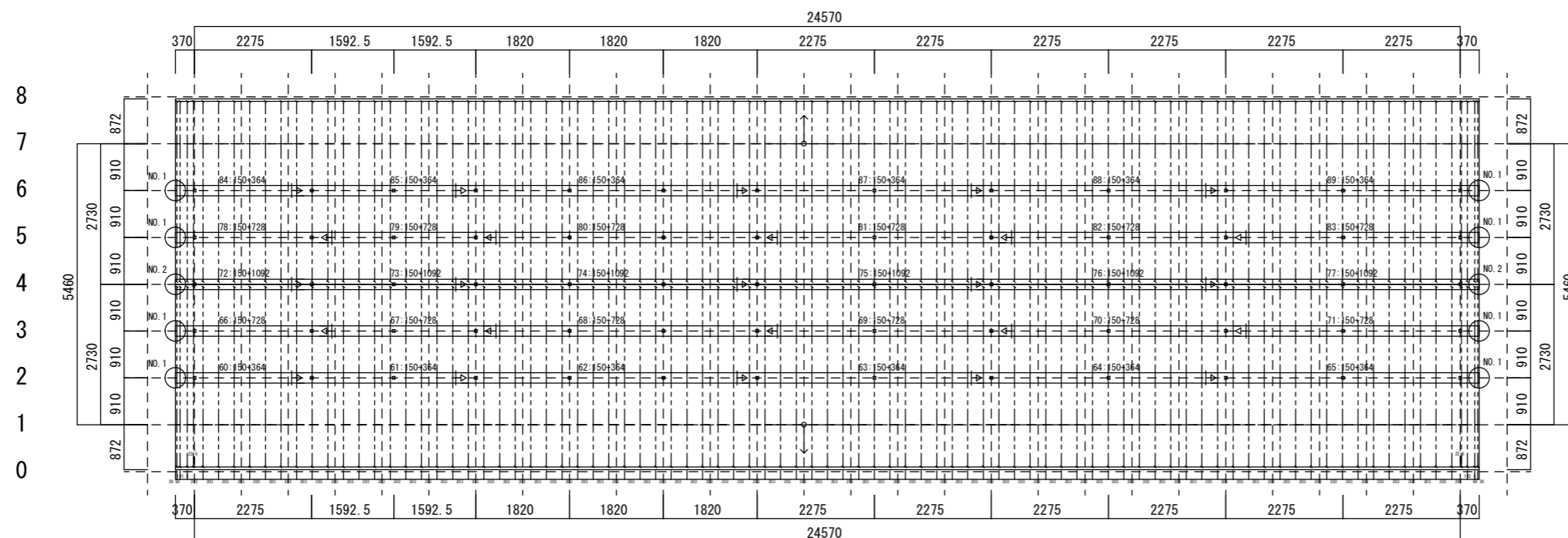
— いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

床構造平面図 1 : 80

- 特記事項
1. 横架材省略寸法 105×105
  2. 屋根勾配 4.0
  3. 基本ピッチ 910.0
  4. 垂木寸法 60×90
  5. 階高 1階 : 2660

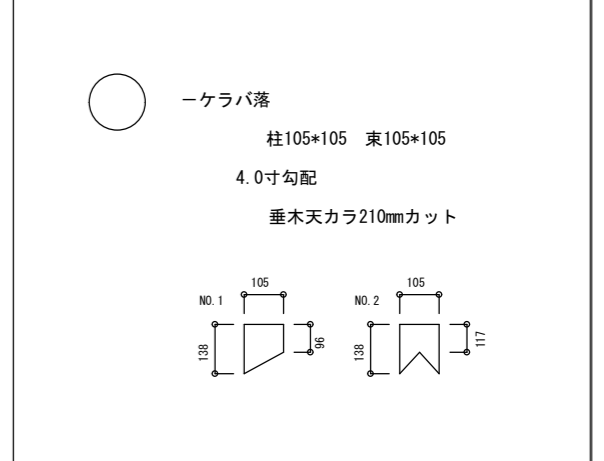


継手・仕口	
	鎌継
	蟻継
	乗継
	追掛
	蟻掛
	蟻大入掛
	逆さ蟻大入
	桁差し
	兜蟻大入
	茶臼蟻大入
	胴差し
	横差し
柱	
	通し柱
	大通し柱
	管柱
	半柱
	特殊柱
	小屋束
	吊束
	束立
	床束
	下部軸組柱
筋違	
	筋違
	下
	上

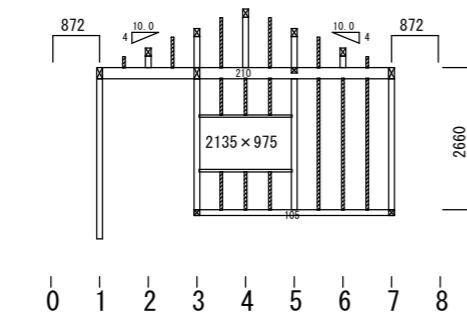


床構造平面図 1:80

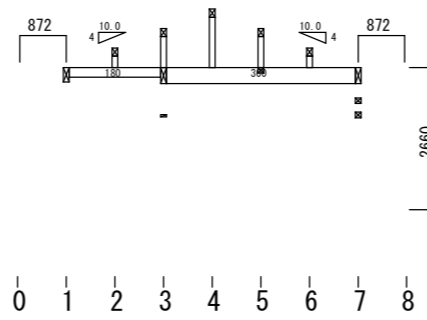
- 特記事項
1. 横架材省略寸法 105×105
  2. 屋根勾配 4.0
  3. 基本ピッチ 910.0
  4. 垂木寸法 60×90
  5. 階高 1階:2660



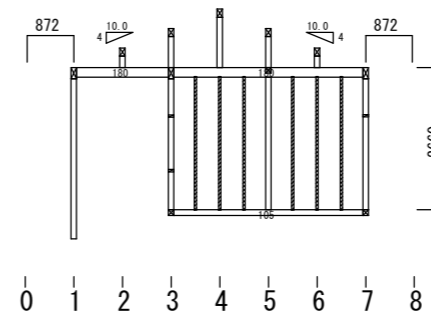
継手・仕口	
	鎌継
	蟻継
	乗継
	追掛
	蟻掛
	蟻大入掛
	逆さ蟻大入
	桁差し
	兜蟻大入
	茶臼蟻大入
	胴差し
	横差し
柱	
	通し柱
	大通し柱
	管柱
	半柱
	特殊柱
	小屋束
	吊束
	束立
	床束
	下部軸組柱
筋違	
	上
	下



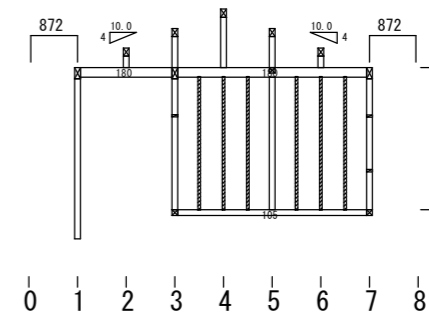
い通り断面図 1/100



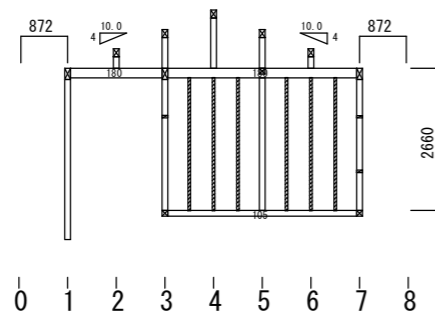
\*ほ通り断面図 1/100



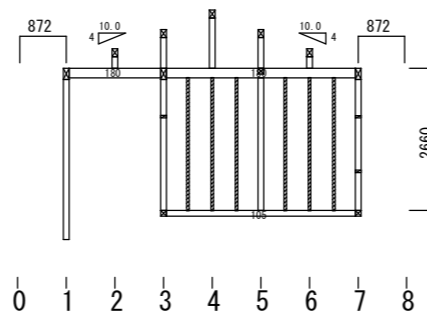
る通り断面図 1/100



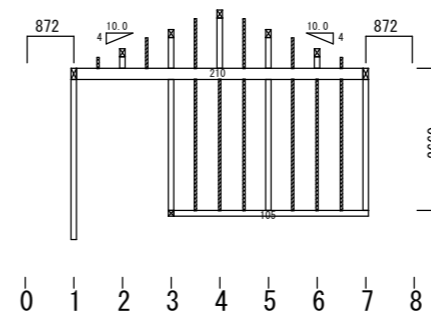
わ通り断面図 1/100



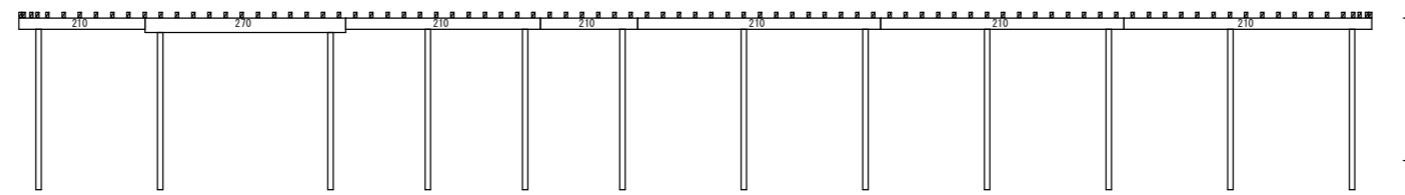
そ通り断面図 1/100



む通り断面図 1/100




く通り断面図 1/100

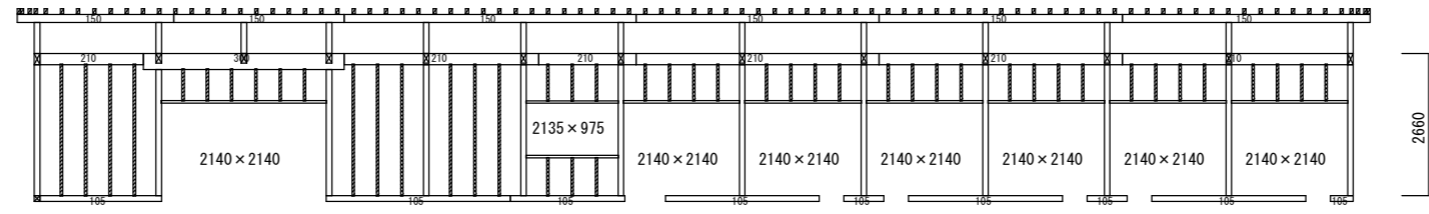


いろいろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

1通り断面図 1/100

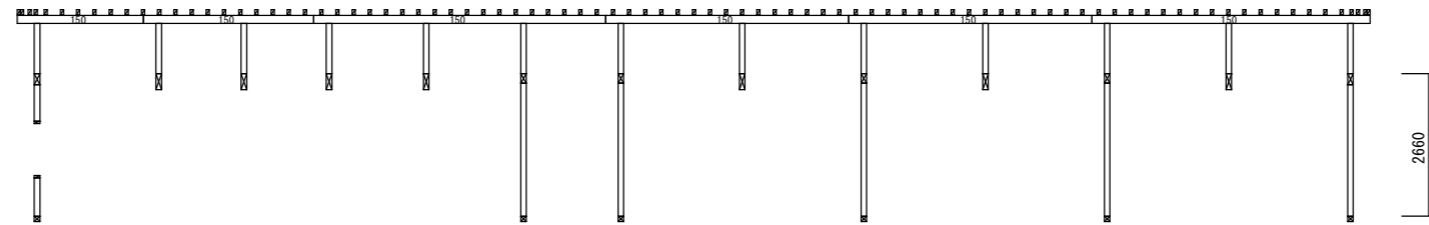
断面図 1:80

 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号          一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏          一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	大山中学校部室棟建替工事  断面図	TOTAL
			1:80	NAME		No. A-26



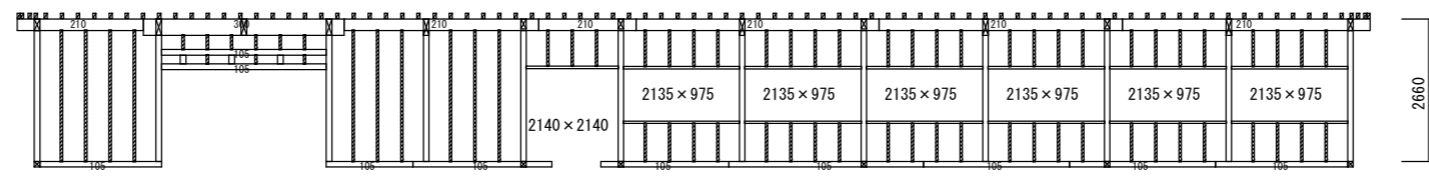
— いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

3通り断面図 1/100



— いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや


4通り断面図 1/100

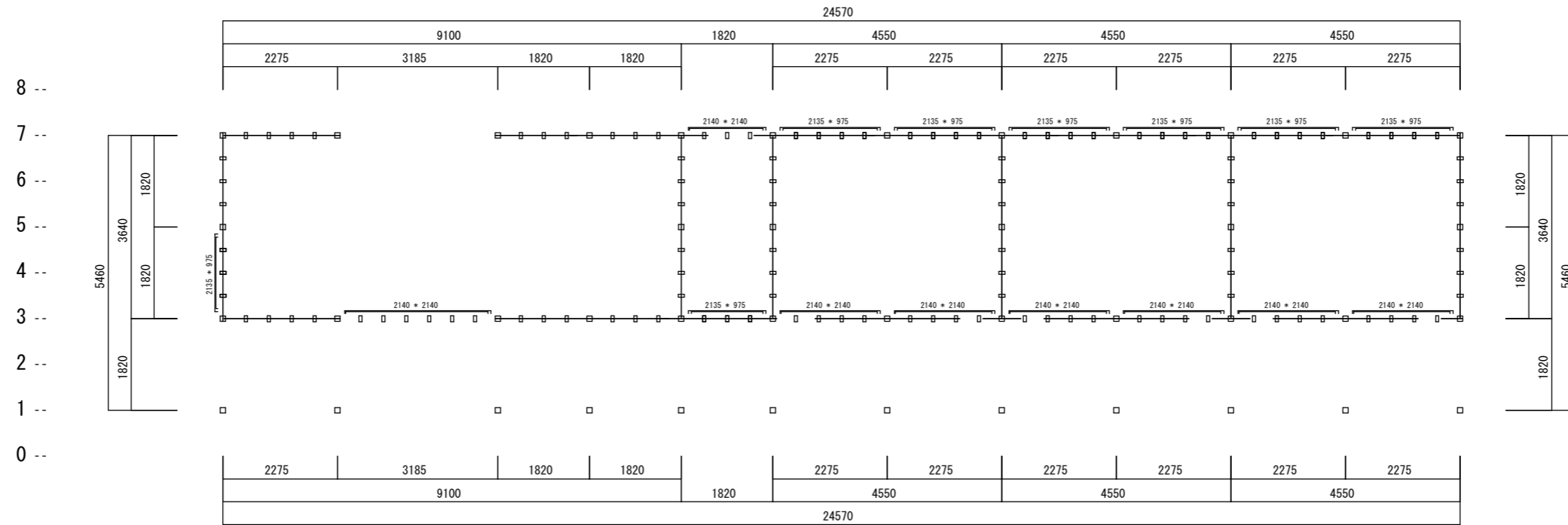


— いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

7通り断面図 1/100

断面図 1 : 80

 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号          一級建築士登録 大臣登録 第216192号 清川 英敏          一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	大山中学校部室棟建替工事  断面図	TOTAL
			1 : 80	NAME		No. A - 27

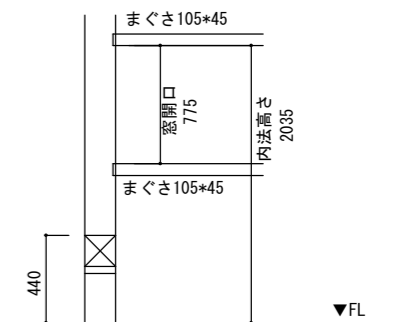


いろいろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむうゐのおくや

1階床補助平面図 1:80

特記事項

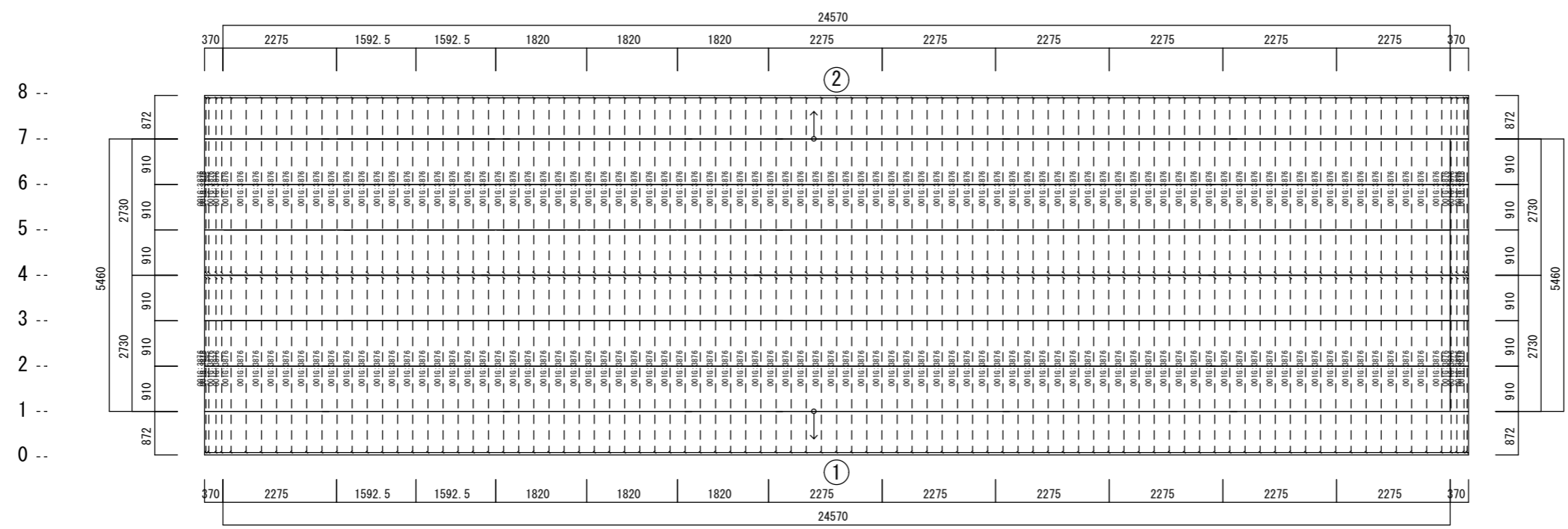
1. 間柱寸法 105×45
2. 基本ピッチ 910.0
3. 階高 1階:2660



2035 \* 775  
(内法高さ) (窓開口)

FL = 土台天-440mm  
※まぐさはFLからの寸法です。

補助部品	
□	間柱
□	半間柱
□	真壁間柱
□	吊間柱
□	吊半間柱
□	吊真壁間柱
↑	樑太端部
↘	垂木端部
↑	破風板端部
↑	鼻隠し端部
↘	登り梁端部
↘	広小舞端部
↑	軒天受け端部
↑	樑太掛け端部
↘	垂木掛け端部
柱	
○	通し柱
○	大通し柱
□	管柱
□	半柱
⊗	特殊柱
×	小屋束
○	吊束
○	束立



いろいろなへとちりぬるをわかよたれそつねならむうののおくや

1階母屋補助平面図 1:80

- 特記事項
1. 間柱寸法 105×45
  2. 基本ピッチ 910.0
  3. 階高 1階:2660

補助部品	
□	間柱
□	半間柱
□	真壁間柱
□	吊間柱
□	吊半間柱
□	吊真壁間柱
↑	樑太端部
∨	垂木端部
↑	破風板端部
↑	鼻隠し端部
∨	登り梁端部
∨	広小舞端部
↑	軒天受け端部
↑	樑太掛け端部
∨	垂木掛け端部
柱	
⊙	通し柱
⊙	大通し柱
□	管柱
□	半柱
⊗	特殊柱
×	小屋束
○	吊束
◦	束立

解体特記仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事場所 鳥取県西伯郡大山町所子310
2. 敷地面積 27439.59 m2
3. 地域地区 都市計画地域(内外) 市街化調整区域(内外)
用途地域等(指定なし)

4. 建物概要

Table with columns: 番号, 名称, 工事種別, 構造, 階数, 建築面積(m2), 延べ面積(m2). Row 1: 1 部室棟 解体 W 1 105.48 63.53

II. 建築改修仕様

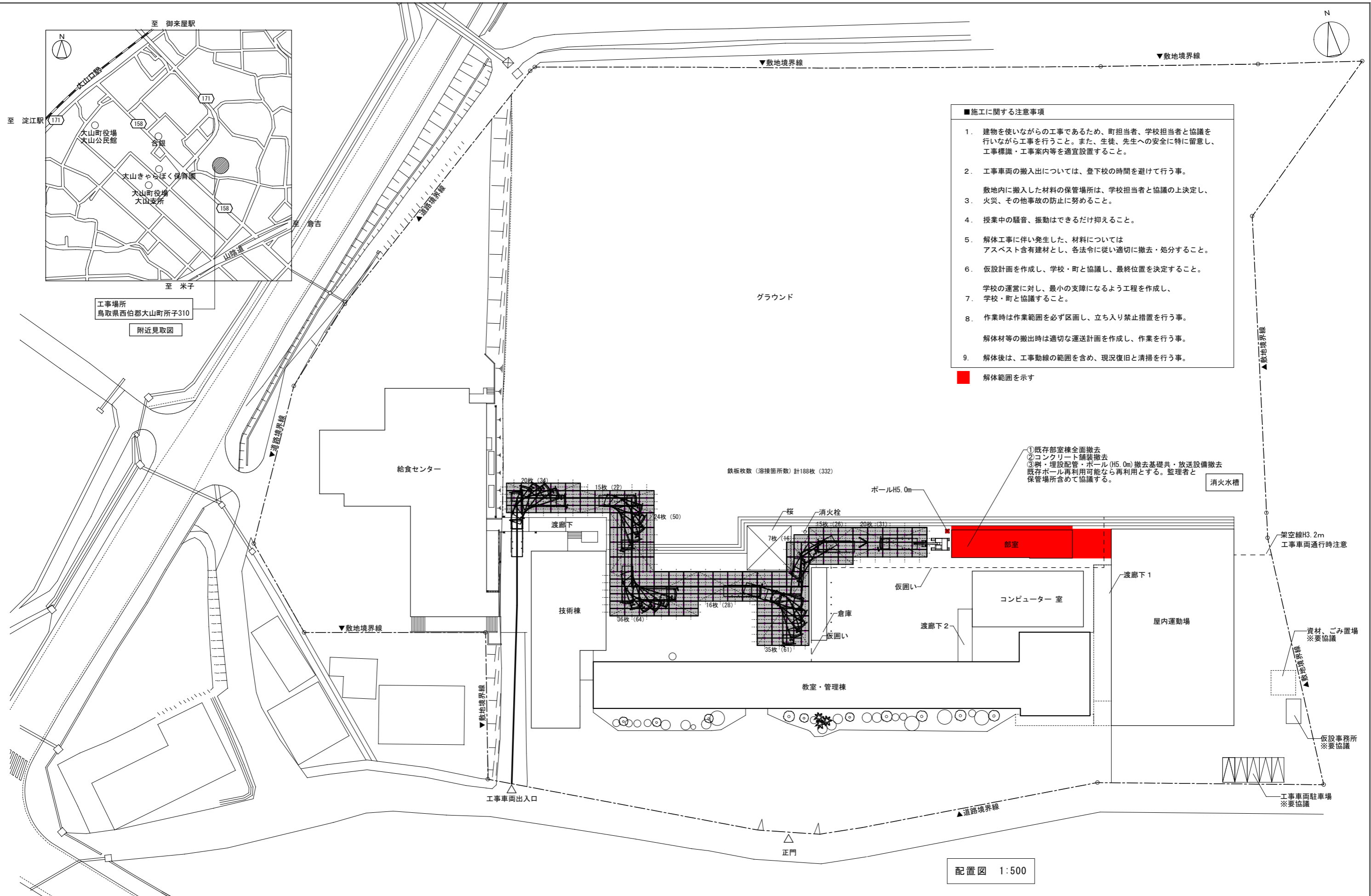
- 1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁業務部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)」(以下、「改修標準仕様書」といふ)、「改修標準仕様書」といふ。
(2) 請負者は完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。
(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

- 2. 特記仕様
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
(3) 項目に記載[ ] の内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) ○印は、「図等による環境物品等の調達に準ずる法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。
(5) 改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それが関係法令の改正等により(条件を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守[1. 1. 1. 3]の規定を優先する。
(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。
(7) 鳥取県石綿健康被害防止条例等を遵守すること。

Main project specification table with columns: 項目, 特記事項. Rows include: 1 適用基準等, 2 官公庁その他への手続き, 3 電気保安技術者, 4 工事安全計画書, 5 発生材の処理等, 6 完成写真, 7 完成時の提出図書, 8 施工図及び施工計画書.

Construction methods and safety table with columns: 1 設備工事との取り扱い, 2 撤去部分, 3 耐荷重及び耐力, 4 安全に関する資料, 5 火災保険等, 6 環境配慮, 7 建設リサイクル法, 8 鳥取県福祉のまちづくり条例, 9 鳥取県景観形成条例, 10 バリアフリー法, 11 省エネ法, 12 足場その他, 13 既存部分の養生, 14 仮設用仕切り, 15 監督職員事務所, 16 表示板, 17 工事用水, 18 工事用電力, 19 工事用仮設物, 20 工事現場のイメージアップ.


Environmental and safety measures table with columns: 3 土工事, 4 環境配慮改修工事, 5 アスベスト含有建材の処理工事, 6 測定方法, 7 アスベスト含有建材の処理, 8 石綿作業主任者, 9 特別管理産業廃棄物管理責任者, 10 官公署その他への手続き, 11 安全衛生管理, 12 表示・掲示, 13 作業場の養生, 14 除去物及び汚染物の処分.



- 施工に関する注意事項
1. 建物を使いながらの工事であるため、町担当者、学校担当者と協議を行いながら工事を行うこと。また、生徒、先生への安全に特に留意し、工事標識・工事案内等を適宜設置すること。
  2. 工事車両の搬入出については、登下校の時間を避けて行う事。
  3. 敷地内に搬入した材料の保管場所は、学校担当者と協議の上決定し、火災、その他事故の防止に努めること。
  4. 授業中の騒音、振動はできるだけ抑えること。
  5. 解体工事に伴い発生した、材料についてはアスベスト含有建材とし、各法令に従い適切に撤去・処分すること。
  6. 仮設計画を作成し、学校・町と協議し、最終位置を決定すること。
  7. 学校の運営に対し、最小の支障になるよう工程を作成し、学校・町と協議すること。
  8. 作業時は作業範囲を必ず区画し、立ち入り禁止措置を行う事。
  9. 解体後は、工事動線の範囲を含め、現況復旧と清掃を行う事。
- 解体範囲を示す

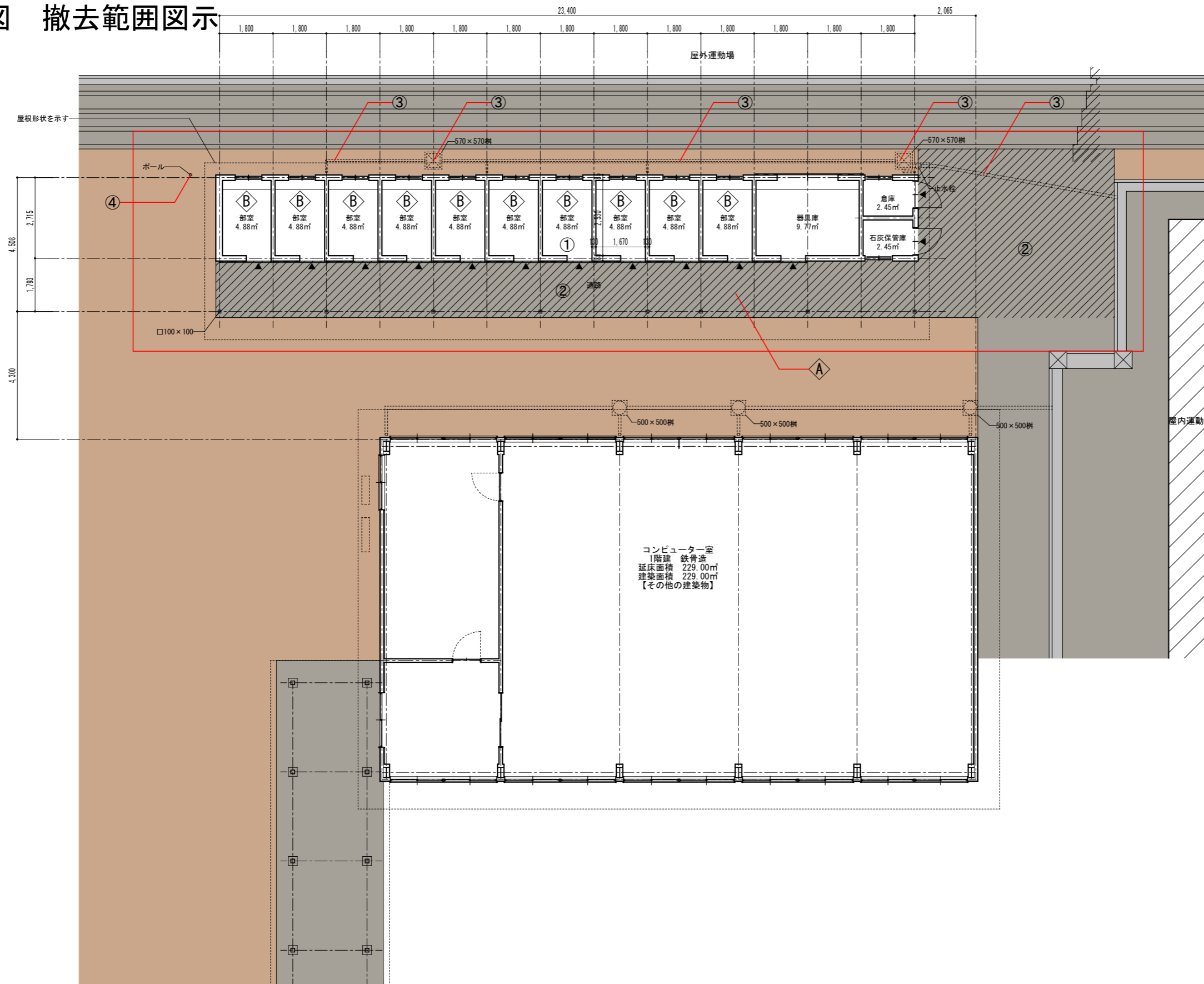
- ①既存部室棟全面撤去
  - ②コンクリート舗装撤去
  - ③柵・埋設配管・ホール(H5.0m)撤去基礎共・放送設備撤去
- 既存ホール再利用可能なら再利用とする。監理者と保管場所含めて協議する。

配置図 1:500

 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第03-323号          一級建築士登録 大臣登録 第216192号 浦川 英敏          一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
			1:500	大山中学校部室棟建替工事 大山中学校 附近見取図・配置図	No. A-31

A2: 100% A3: 71%

# 現況図 撤去範囲図示



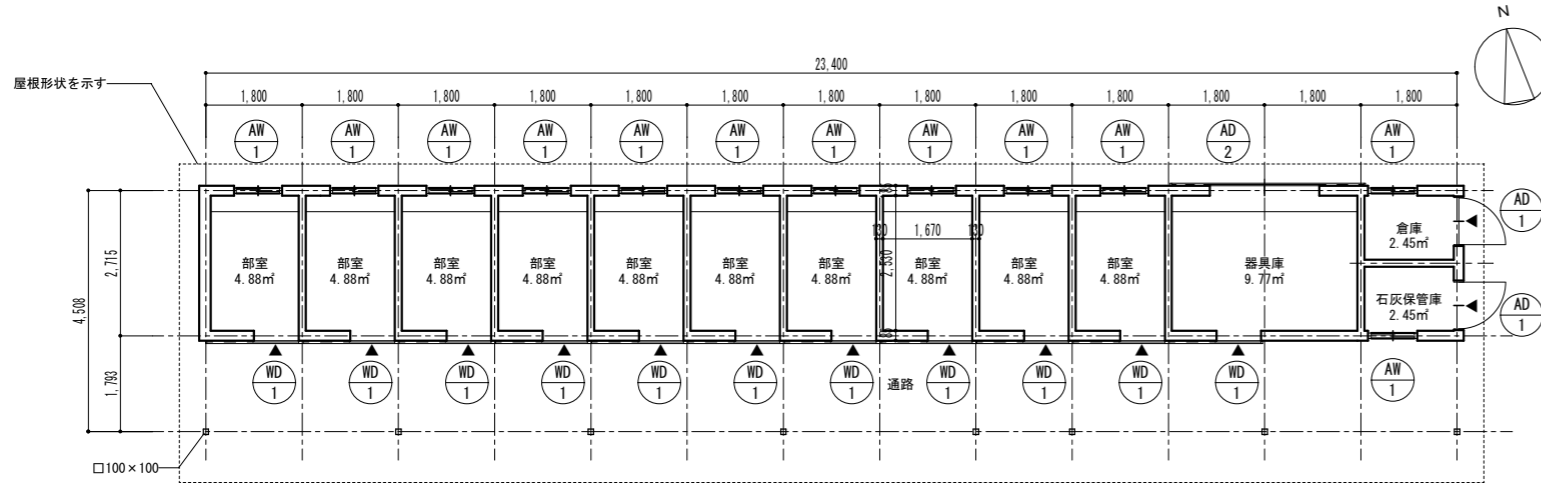
解体概要	
①	部室棟全面解体撤去。 ※基礎・小屋組みに図面がない為想定。
②	コンクリート舗装撤去。(CAD測定約85m²)
③	樹・埋設配管撤去
④	ポール (H5.0m)・放送設備撤去
特記	既存基礎の撤去の際には、地盤を出来るだけ乱さないように注意すること。

アスベスト含有箇所※4検体採取の内、2検体に含有			
◇	通路部分軒天仕上	飛散レベル	レベル3相当
◇	部室天井 ケイカル板	飛散レベル	レベル3相当

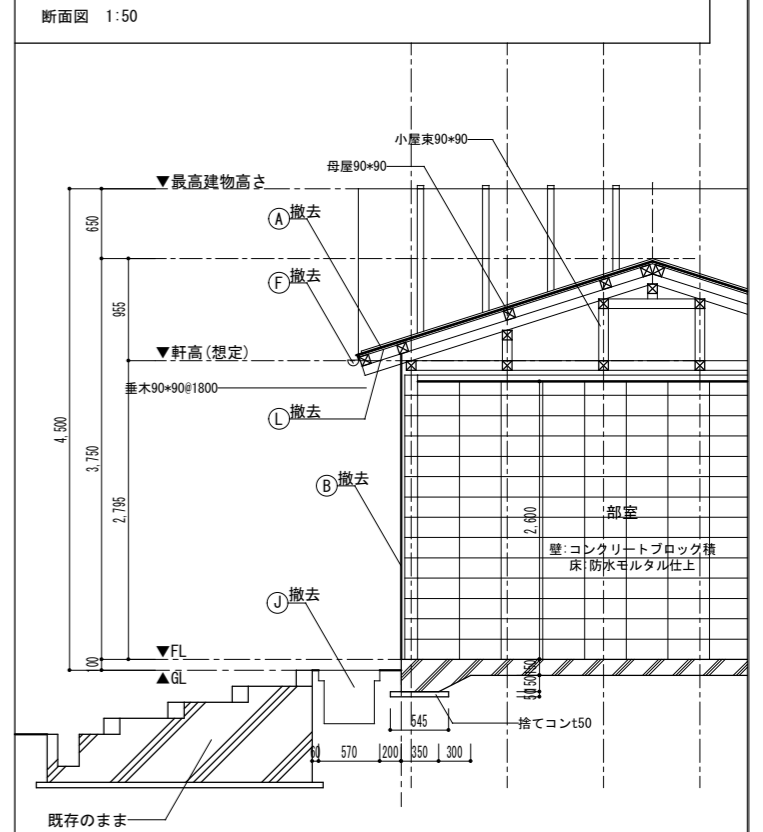
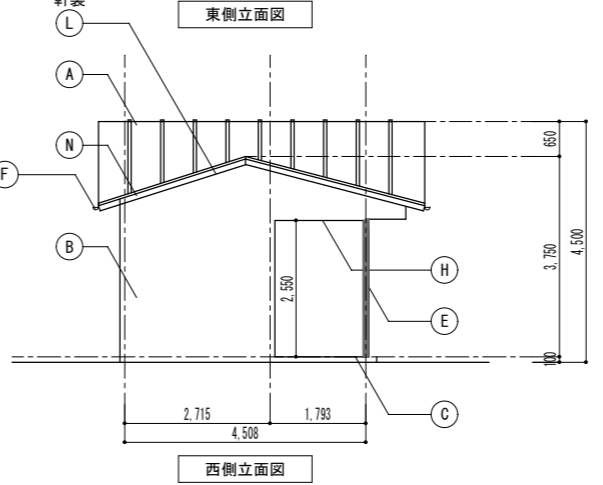
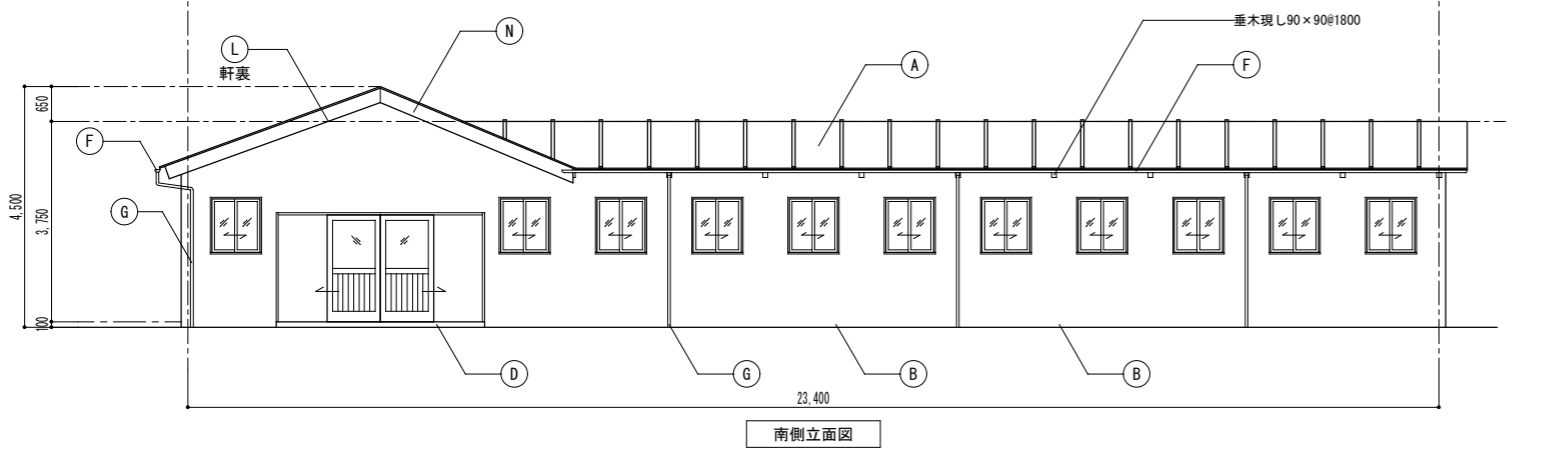
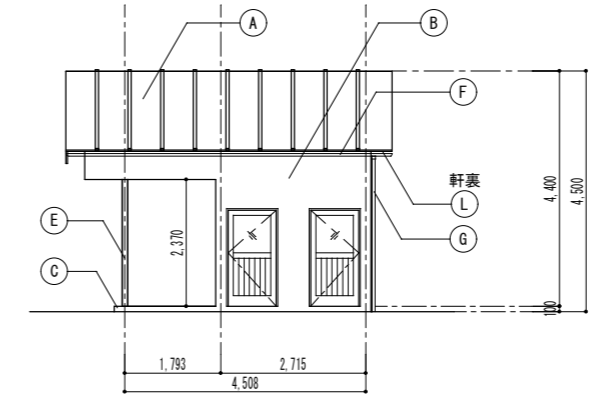
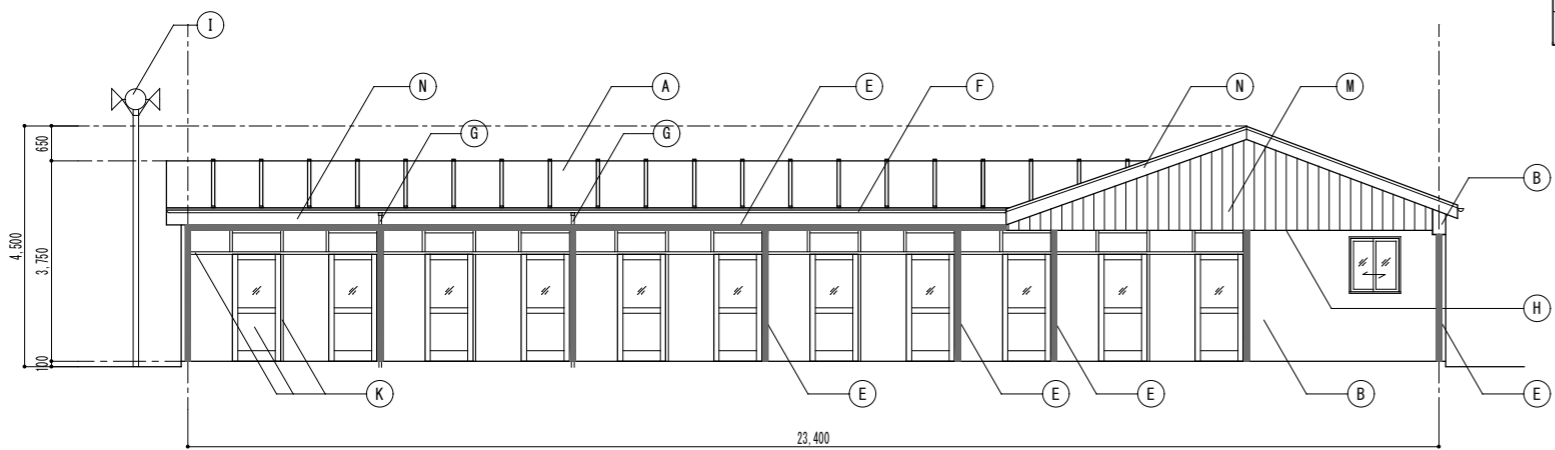
	コンクリート舗装：撤去
	コンクリート舗装：既存のまま
	未舗装部分を示す
	側溝、水路：既存のまま

構造・規模	CB造+屋根小屋組木造 1階建
面積表	
建築面積	105.48m² (31.90坪)
延床面積	63.53m² (19.21坪) (通路 41.95m²含まない。)

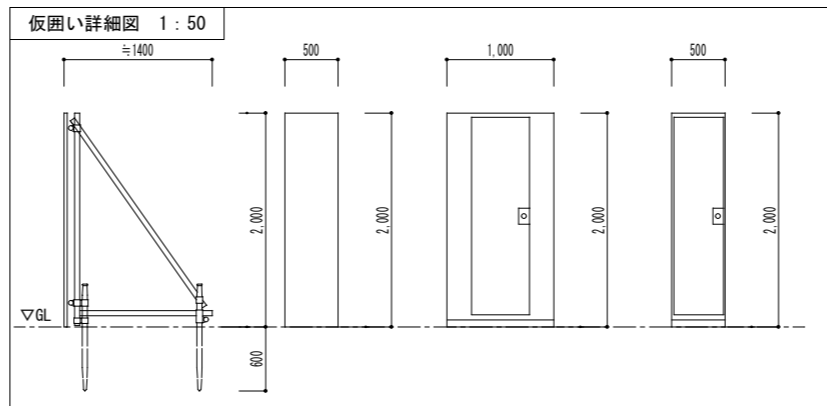
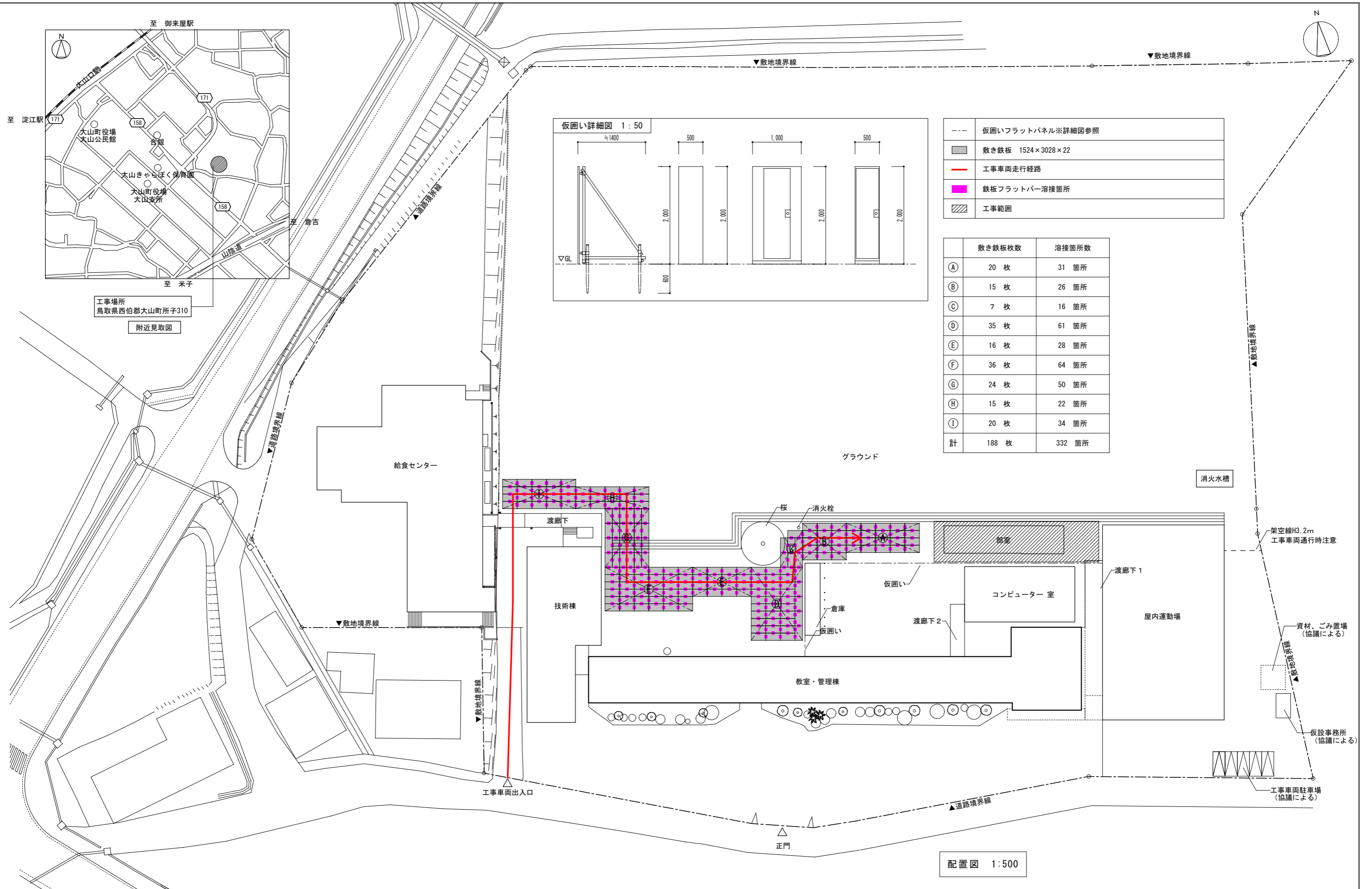
外部仕上表				内部仕上表											
(A) 屋根: ガルバリウム鋼板 野地板t15(想定)	(H) 軒裏: ケイカル板 塗装 ※アスベスト含有想定材 木下地(想定)	階	室名	内装制限	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	天井裏断熱材	カーテンブラインド	室名札	備考	
(B) 外壁: モルタル下地の上リシン吹付 ※アスベスト含有想定材	(I) 放送設備 鉄製ポールH5.0m 溶融亜鉛メッキ仕上 ※基礎深さ不明	1階	部室	-	防水モルタル仕上		コンクリートブロック積	ケイカル板 塗装	木製	2600	GW t100 (想定)	-	○	木製棚 W1700×D350×H1200	
(C) 基礎・土間: コンクリート金剛抑え ※形状不明	(J) コンクリート集水溝: 570×570		床高	±0	土間コンクリート下地				木下地						
(D) 犬走: コンクリート金剛抑え	(K) 木建・木製縦横額縁(見付50×見込75)		器具庫	-	防水モルタル仕上		コンクリートブロック積	ケイカル板 塗装	木製	2600	-	-	○		
(E) 鉄骨: □100×100	(L) 軒裏: 木毛セメント板		床高	±0	土間コンクリート下地				木下地						
(F) 塩ビ製半丸型軒樋W110	(M) 金属波板 木下地(想定)		石灰保管庫・倉庫	-	防水モルタル仕上		コンクリートブロック積	ケイカル板 塗装	木製	2600	-	-	○		
(G) 塩ビ製縦樋 65φ	(N) 木製破風板・鼻隠		床高	±0	土間コンクリート下地				木下地						



記号	AW1	AD1	AD2	WD1
形式	アルミ製引違窓	アルミ製片開ドア	アルミ製引戸	木製片引戸
姿図寸法				
場所	部室、器具庫、倉庫、石灰保管庫	石灰保管庫・倉庫	器具庫	部室、器具庫
数量	12	2	1	11
仕上・材料	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	木塗装
見込	70	70	70	40
ガラス	型板ガラスt4.0	型板ガラスt4.0	型板ガラスt4.0	型板ガラスt4.0
金物	標準金物一式、クレセント、アングルピース	丁番、玉錠、DC、戸当りアルミ額縁、標準金物一式	引手、戸車、SL、戸当りアルミ額縁、標準金物一式	引手、戸車、SUSレール南京錠
備考				



※基礎形状不明のため 詳細図については想定  
 ※天井裏不明のため 詳細図については想定



---	仮囲いフラットパネル※詳細図参照
■	敷き鉄板 1524×3028×22
→	工事車両走行経路
■	鉄板フラットバー溶接箇所
▨	工事範囲

	敷き鉄板枚数	溶接箇所数
Ⓐ	20 枚	31 箇所
Ⓑ	15 枚	26 箇所
Ⓒ	7 枚	16 箇所
Ⓓ	35 枚	61 箇所
Ⓔ	16 枚	28 箇所
Ⓕ	36 枚	64 箇所
Ⓖ	24 枚	50 箇所
Ⓗ	15 枚	22 箇所
Ⓘ	20 枚	34 箇所
計	188 枚	332 箇所

配置図 1:500

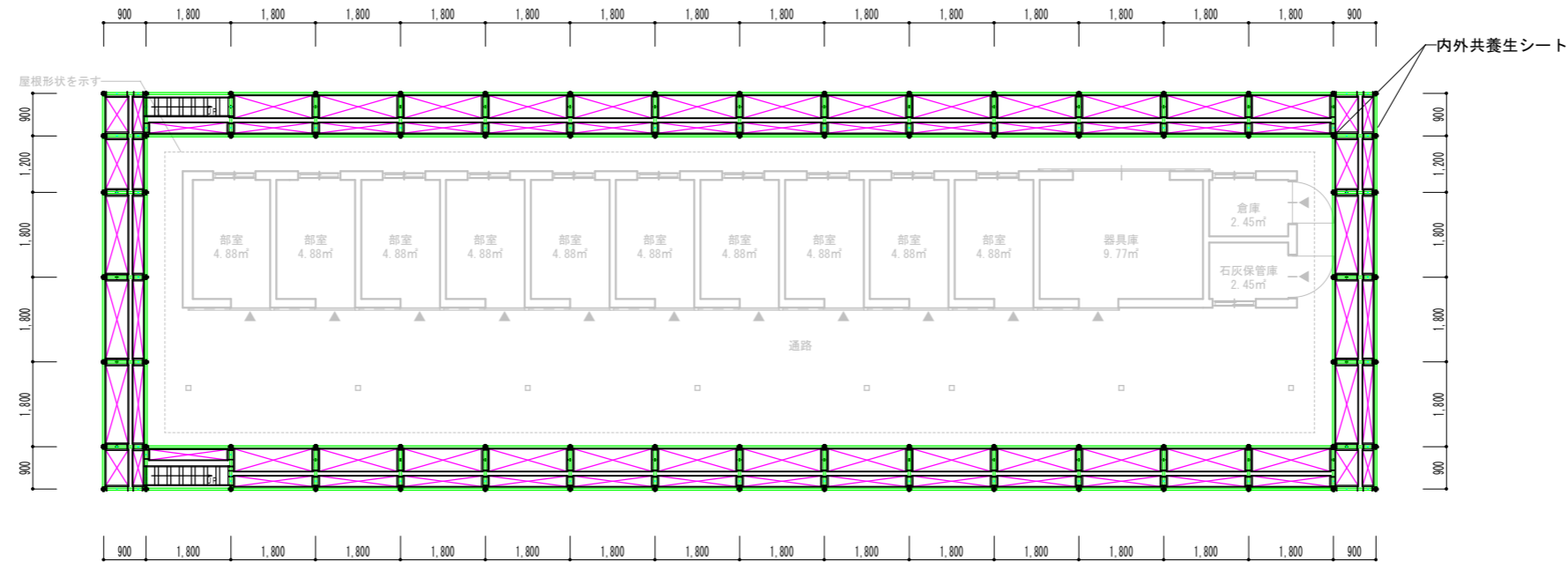
工事場所  
鳥取県西伯郡大山町所子310  
附近見取図

**株式会社あおい総合設計**  
鳥取県知事登録 一般建築士事務所 第03-323号 浦川 英敏  
 一般建築士登録 大臣登録 第216192号 堀江 司  
 一般建築士登録 大臣登録 第323409号

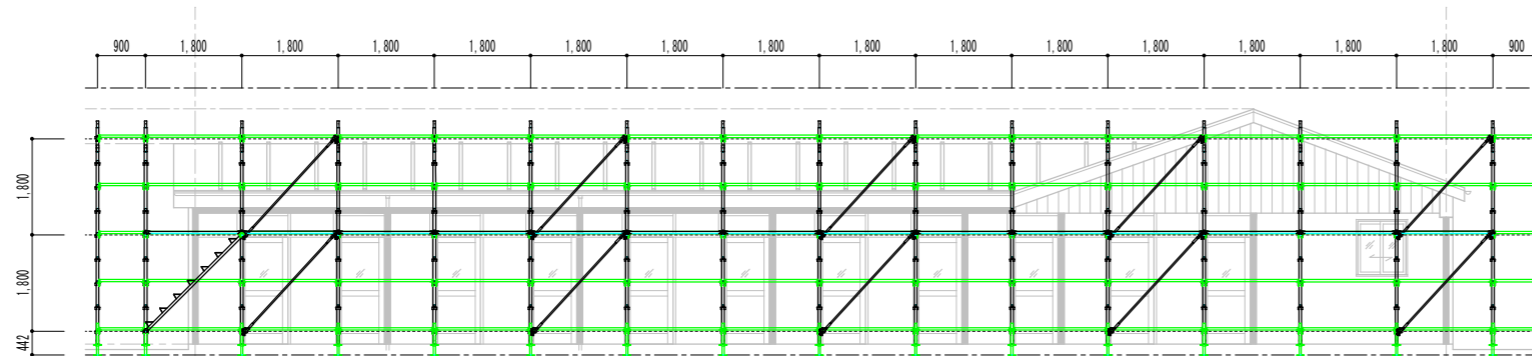
CHECK	DRAW	SCALE	TITLE
		1:500	大山中学校部室棟建替工事
			仮設計画図

TOTAL	No.
	A-34

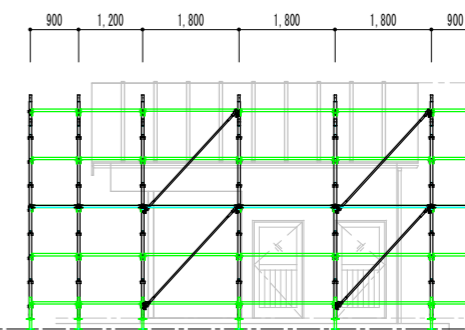
A2: 100% A3: 71%



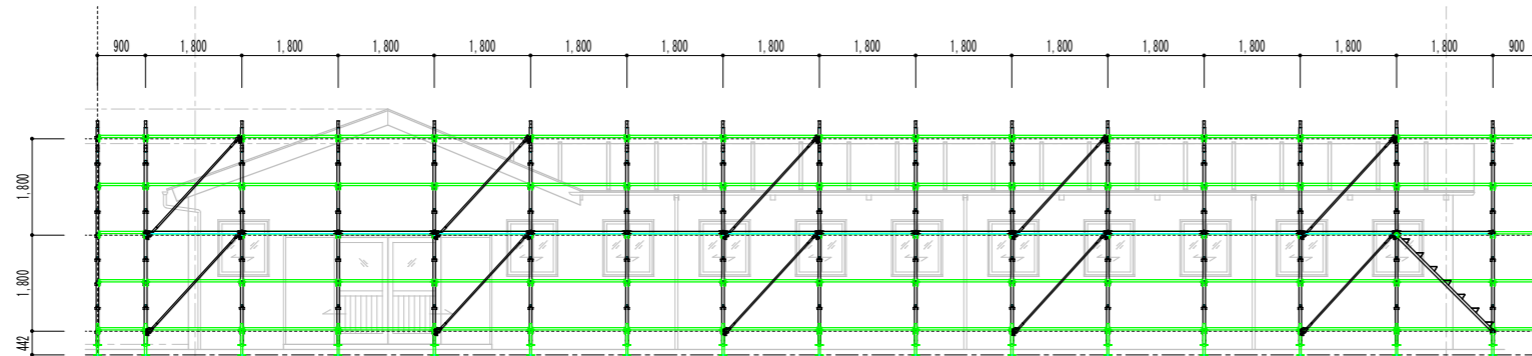
平面図 1 : 100



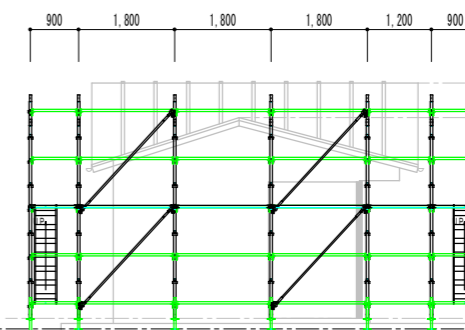
南側立面図 1 : 100



東側立面図 1 : 100



北側立面図 1 : 100



西側立面図 1 : 100



株式会社あおい総合設計

鳥取県知事登録 鳥取県建築士事務所 第03-323号 備前 英敏  
一級建築士登録 大田 登 録 第216192号 大田 登 録 第323409号 備前 英敏  
一級建築士登録 大田 登 録 第323409号 備前 英敏

CHECK

DRAW

SCALE

1:100

TITLE

NAME

大山中学校部室棟建替工事

アスベスト解体用養生足場図面一式

TOTAL

No.

A - 35

機械設備工事仕様書

[I] 工事概要

1. 工事場所 鳥取県西伯郡大山町所子313

2. 建物概要

Table with 7 columns: 建物番号, 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積 (㎡), 消防法施行令別表第一の区分, 備考. Rows 1-5.

3. 工事種目 (○印を適用する。)

Table with 9 columns: 工事種目, 建物番号 (1-5), 屋外, 備考. Rows include air conditioning, heating, plumbing, etc.

4. 設備概要 (○印を適用する。)

Table with 2 columns: 設備種別, 概要. Rows include air conditioning, heating, hot water, plumbing, etc.

[II] 工事仕様

1. 一般事項

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、次による。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・機械及び電気設備工事共通仕様書（令和4年版）及び工事標準図（令和4年版）

2. 特記事項

(1)項目は番号に ○印のついたものを適用する。
(2)特記事項は ○印のついたものを適用する。ただし、記入のない場合は ※ 印を適用する。
(3)一般共通事項のうち次の項目は、建築工事仕様書による。（項目）

Main specification table with 2 columns: 章項目, 特記事項. Includes sections for general items, air conditioning, heating, etc.

Table with 2 columns: 一般事項, 特記事項. Includes air conditioning, heating, hot water, plumbing, etc. specifications.

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 自動制御盤</li> <li>2. 中央監視盤</li> <li>3. 電源装置</li> <li>4. 接地工事</li> <li>5. 性能試験</li> <li>6. 温度調節器等</li> </ul>	共通仕様書を ※ 適用する 図面特記による システム構成は特記による他共通仕様書による ※ 別途電気設備工事 機械設備工事 盤までの接地工事は ※ 別途電気設備工事 機械設備工事 ※ 動作 ※ 絶縁抵抗 取付高さは ※ 1300mm・ mm
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 大便器・小便器</li> <li>2. 小便器洗浄水節水装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カラー</li> <li>※ 節水形 ・ 不凍形 ・ 一般形 ・ 身障者対応器具</li> <li>・ 自動水栓</li> <li>・ 陶器又はプラスチック製注意板を取付ける</li> <li>・ 大便器の下面は全面アスファルト塗布(3mm厚)とする。</li> <li>・ 耐火カバーを取付ける</li> <li>洗浄用ハイタンク ・ 有 ・ 無</li> <li>弁の操作機構 ・ 自動洗浄弁 ・ 補給水電磁弁</li> <li>弁の開閉指令 ・ タイマー ・ 光電管方式 ・ 照明と連動</li> <li>工事範囲は、電気1次側配管配線を除きすべて機械工事とする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. 弁</li> <li>3. 量水器</li> <li>4. 高置水槽</li> <li>5. 受水槽</li> <li>6. 揚水ポンプの基礎</li> <li>7. 管の埋設深さ</li> <li>8. その他</li> </ul>	イ) 一般配管用 ・ SGP-V A ・ SGP-V B ・ SGP-P A ・ SGP-P B ・ V W ・ H I - V P ・ S U S ・ ポリエチレン管 ロ) 地中配管用 ・ SGP-V D ・ SGP-P D ・ V W ・ H I - V P (屋内・屋外共) ・ ポリエチレン管 ハ) ビット内 ・ H I - V P ・ ポリエチレン管 ※ 口径65A以上の仕切弁及び逆上弁は、ライニング弁とする。 ・ JIS 5kgf/cm <sup>2</sup> u2 ・ JIS 10kgf/cm <sup>2</sup> u2 (公営水道に直結する配管に使用) ・ 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 ※ 借用 ・ 買入れ ・ 既設品再使用 ・ FRP製 ( ・ サンドイッチ構造 ・ 単板 ) ( ・ パネル型 ・ 一体型 ) ・ FRP製 ( ・ サンドイッチ構造 ・ 単板 ) ( ・ パネル型 ・ 一体型 ) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ( ・ A 形 ・ B 形 ) ・ 水道事業者指定深さ ・ 一般地 300 mm ・ 車両通路 600 mm 給水管の最小管径は2.0mmとする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. バイシャフト内配管の保温</li> <li>3. 樹の種類</li> <li>4. インバート樹ふた</li> <li>⑤ ため樹ふた</li> </ul>	イ) 屋内汚水管 ・ V P ・ C I P ・ L P ・ 排水用硬質塩ビライニング鋼管 ロ) 屋内雑排水管 ④ V P ・ SGP (白) ・ L P ・ 耐火二層管 ・ 排水用硬質塩ビライニング鋼管 ハ) 通気管 ・ SGP (白) ・ V P ・ 耐火二層管 ニ) 屋外排水管 ・ V P ④ V U ・ H P (B型外圧管1種) ・ コーティング鋼管 ・ ランケイ管 ・ 施工する ・ 施工しない ・ 現場打 ・ 既製品 ( ・ RC製 ・ 塩ビ製 ・ 小口径樹 ) ・ 鋼鉄製 ( ・ MHA ・ MHB ・ MHD ) ・ 樹脂製 ・ 鋼鉄製 ( ・ MHA ・ MHB ・ MHD ) ⑤ 樹脂製 ・ コンクリート製
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. 弁</li> <li>3. 燃料</li> <li>4. 貯湯槽</li> <li>5. コンクリート内埋設管の保温</li> <li>6. 煙道(煙突)</li> <li>7. 給湯機</li> <li>8. 熱交換器</li> <li>9. 温泉水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Cu ・ SUS ・ HT-VP ・ SGP-HVA ・ 架橋ポリエチレン管E種</li> <li>・ JIS 5kgf/cm<sup>2</sup> u2 10kgf/cm<sup>2</sup> u2</li> <li>・ 灯油 ・ 重油 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 電気 ・ 蒸気</li> <li>・ ステンレスクラッド鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ FRP製</li> <li>防触装置 ・ 外部電源方式 ・ 外部電源流電陽極併用方式 ・ 流電陽極方式</li> <li>温度計は、円形(100φ以上)バイメタル式とする。</li> <li>はしご ・ 要 ・ 不要</li> <li>・ 防水麻布二重巻 ・ e (イ) II ・ 耐熱保温チューブ ⑦ 10 mm</li> <li>・ 機械工事 ・ 別途工事 ・ ステンレス製 ⑦ mm ・ 鋼板製 ⑦ mm</li> <li>・ ボイラー ( ・ 低圧 ・ 中圧 ・ 無圧 ・ 真空式 ・ ヒートポンプチラー</li> <li>・ 電気温水器 ・ 給湯機 ( ・ ガス ・ 灯油 )</li> <li>・ プレート型 ( ・ SUS ・ チタン ) ・ コイル形 ( ・ SUS ・ チタン )</li> <li>・ 有 ・ 無</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. 弁</li> <li>3. 保温</li> <li>4. 屋内消火栓箱</li> <li>5. 屋外消火栓</li> <li>6. 消火ポンプユニット</li> <li>7. 連結送水口</li> <li>8. 消火器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SGP (白) ・ STPG ・ SGP-VS ・ STPG-VS</li> <li>・ JIS 10kgf/cm<sup>2</sup> u2 ・ JIS 16kgf/cm<sup>2</sup> u2</li> <li>消火配管の保温は次による。</li> <li>屋内消火栓用 ・ 施工する ・ 施工しない</li> <li>スプリンクラー用 ・ 施工する ・ 施工しない</li> <li>・ 1号消火栓 ・ 操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 補助散水栓</li> <li>・ 火災報知器併設型 単型</li> <li>・ 連結送水管放水口併設型 (3階以上) ( ・ 露出型 ・ 埋込型 )</li> <li>・ 地上式 ・ 地下水 ・ 双口 ・ 単口</li> <li>・ 1型 ・ 2型 ・ 3型 ・ 既設</li> <li>・ 露出型 ・ 埋込型 ・ 双口 ・ 単口</li> <li>・ 要 (図示) ・ 不要 ・ 別途</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. 弁</li> <li>3. 燃料</li> <li>4. 貯湯槽</li> <li>5. コンクリート内埋設管の保温</li> <li>6. 煙道(煙突)</li> <li>7. 給湯機</li> <li>8. 熱交換器</li> <li>9. 温泉水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Cu ・ SUS ・ HT-VP ・ SGP-HVA ・ 耐熱内外面ライニング鋼管</li> <li>・ JIS 5kgf/cm<sup>2</sup> u2 ・ JIS 10kgf/cm<sup>2</sup> u2</li> <li>・ 灯油 ・ 重油 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 電気 ・ 蒸気</li> <li>・ ステンレスクラッド鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ FRP製</li> <li>防触装置 ・ 外部電源方式 ・ 外部電源流電陽極併用方式 ・ 流電陽極方式</li> <li>温度計は、円形(100φ以上)バイメタル式とする。</li> <li>はしご ・ 要 ・ 不要</li> <li>・ 防水麻布二重巻 ・ e (イ) II ・ 耐熱保温チューブ ⑦ mm</li> <li>・ 機械工事 ・ 別途工事 ・ ステンレス製 ⑦ mm ・ 鋼板製 ⑦ mm</li> <li>・ ボイラー ( ・ 低圧 ・ 中圧 ・ 無圧 ・ 真空式 ・ ヒートポンプチラー</li> <li>・ 電気温水器 ・ 給湯機 ( ・ ガス ・ 灯油 )</li> <li>・ プレート型 ( ・ SUS ・ チタン ) ・ コイル形 ( ・ SUS ・ チタン )</li> <li>・ 有 ・ 無</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 構造</li> <li>2. 放流水の水質(BOD)</li> <li>3. 設置方式</li> <li>4. 槽材質</li> <li>5. 排水方式</li> <li>6. 防臭ふた</li> <li>7. 埋戻し土</li> <li>8. 電源</li> <li>9. 汚濁</li> </ul>	合併処理 ・ 分離接触バッキ方式 ・ 処理水量 m <sup>3</sup> /日 mg/L 以下 ※ 地下形 ・ 半地下形 ・ 鉄筋コンクリート製 ・ FRP製 ( ・ 槽上面にコンクリート板打設又は補強入り鉄ふた取付 ) ・ 自然流下 ・ ポンプ排水 ・ 製造者標準仕様 ・ MHA型 ・ MHB型 ・ ポルトロック型 ・ 砂 ・ 根切り土の中の良い質土 ・ 真砂土 相 V 3ヶ月相当分を納入する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 管</li> <li>2. 弁</li> <li>3. 濾材</li> <li>4. 濾過機</li> <li>5. 給水ノズル</li> <li>6. 熱交換器</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SGP (白) ・ SGP (W) ・ VP ・ SGP-VB ・ SGP-HVA</li> <li>・ SGP-PB ・ HT-VP</li> <li>・ JIS 10kgf/cm<sup>2</sup> u1 15kgf/cm<sup>2</sup> u2</li> <li>・ 砂 ・ アンサラサイト ・ カートリッジ ・ セラミック</li> <li>・ 鋼製 ・ FRP製 ・ 自動 ・ 手動</li> <li>・ 流量調節型 ・ 防水皿付</li> <li>・ プレート形 ( ・ SUS ・ チタン ) ・ コイル形 ( ・ SUS ・ チタン )</li> </ul>

3. 配管保温及び仕上げ

イ：ロックウール保温材  
 ロ：グラスウール保温材  
 ハ：ポリスチレンフォーム保温材  
 但し、防火区画貫通部はロックウール材使用

材 料	使用箇所	屋 内	天井内及 露 出	天井内及 びP.S内	床下及び 暗 渠 内	多湿箇所 屋外露出	備 考
保 温 材							
温 水 管	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ			
蒸 気 管	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ			
冷水・温水管・冷却水	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ			
冷 媒 管	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ			被覆鋼管RS⑦・10mm・20mm
冷水・冷温水タンク	イ,ロ,ハ						
温水タンク・熱交換器	イ,ロ						
冷水・冷温水ヘッダー	イ,ロ,ハ						
蒸気・温水ヘッダー	イ,ロ						
一般ダクト・チャンパー	イ,ロ	イ,ロ,ハ					給気用ダクト
排煙ダクト・煙道	イ						
給 水 管	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ		ロ,ハ	イ,ロ,ハ		
排 水 管	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ		ハ			
給 湯 管	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ	イ,ロ			
消 火 管	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ	イ,ロ,ハ			

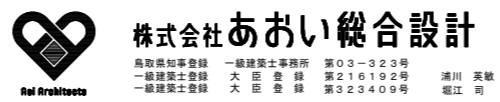
仕 上 げ 材									
綿	布								
ガラスクロス									
アルミガラス (クロス)									
亜 鉛 鉄 板									
着色亜鉛鉄板									
アルミニウム板									
ステンレス鋼板									
き っ 甲 金 網									
ビニルテープ									
保温チューブ									
配管化粧カバー								冷 媒 管	

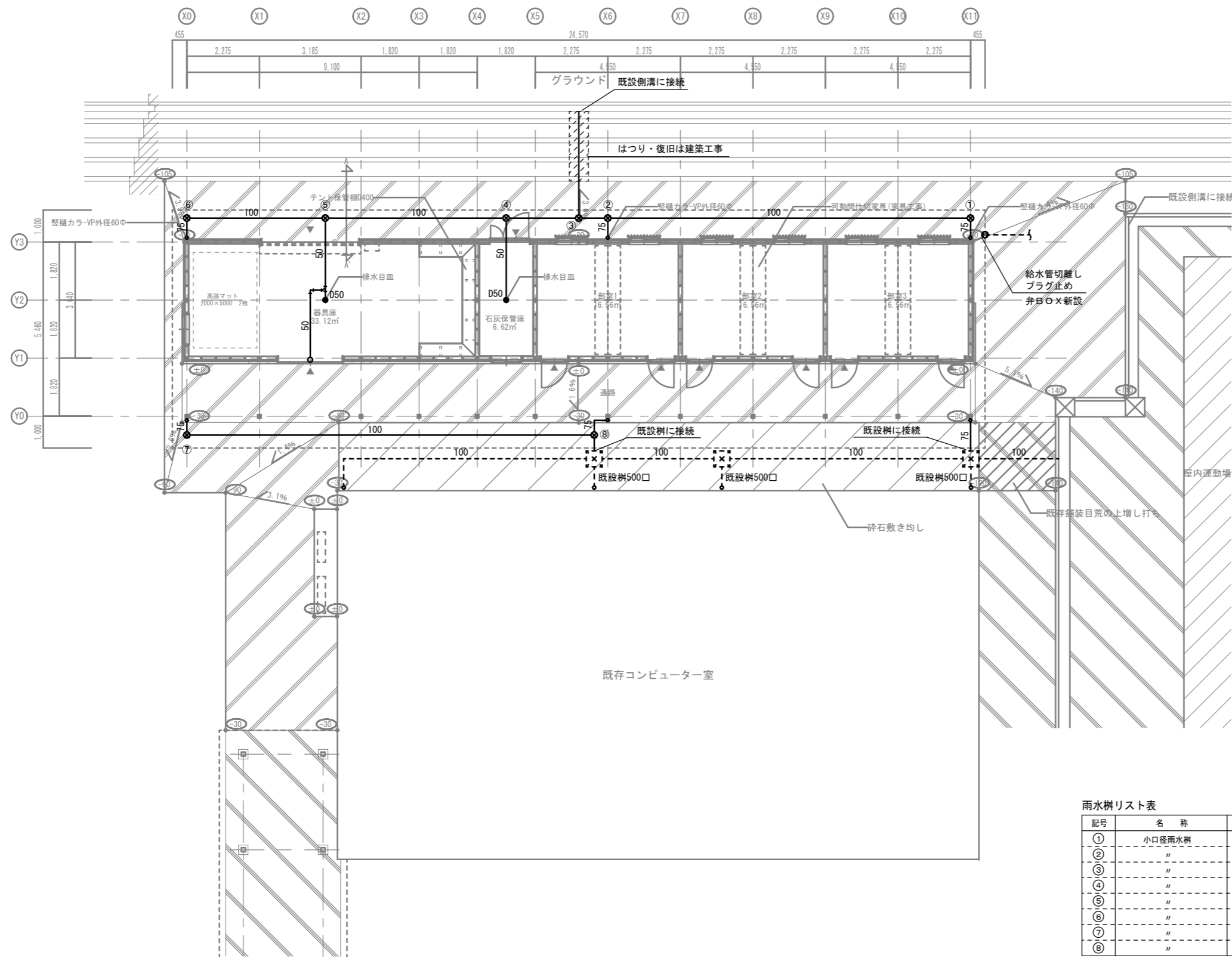
[Ⅲ] 機 材 等

この工事に使用する機材は下記に記載されているもの他、同等品以上とする。  
 設計図書の商品番号は、特定の製品を限定しない。  
 同等品以上とする場合には、同等品承諾書を提出し監督員の承諾を得ること。

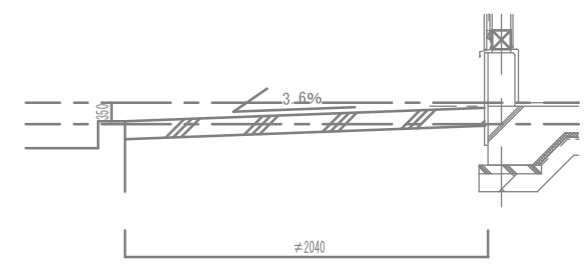
品 名	賛助会員リスト
1. 管 ・ 継 手 材 (1)管材 (2)継手材 (3)伸縮継手 (4)可とう継手・防振継手	JISマーク表示品・水マーク表示品 JISマーク表示品・水マーク表示品 本山 ダイドレ フシマン テクノフレックス 東洋バルブ プリヂストン トーゼン 荏原 テラルキョクトウ 川本 日立 テクノフレックス
2. 弁 類	キッツ 東洋バルブ 前澤 オーケーエム
3. 衛生器具及び付属品	LIXIL TOTO
4. ポンプ類 (1)うず巻きポンプ・多段ポンプ (2)水中ポンプ (3)電動真空給水ポンプ	荏原 テラルキョクトウ 川本 日立 川本 荏原 日立 テラルキョクトウ 荏原 川本 昭和
5. 水槽 (FRP・鋼板・ステンレス)	積水 三菱 プリヂストン 日立 森松 ベルテクノ NYK神戸
6. 消 火 器 具 (1)消 火 栓 (2)炭酸ガス消火装置 (3)スプリンクラー消火・泡消火	横井 立売堀 北浦 能美 ホーチキ ニッタン 日本ドライケミカル 能美 ホーチキ ニッタン 横井 立売堀 北浦 日本ドライケミカル 小島 ダイドレ ホーコス ニ宮
7. 排 水 金 物 (1)マンホール蓋	小島 ダイドレ ニ宮
8. 鋼製ボイラー・温水ヒーター	昭和 川重 タクマ 三浦 三洋 ダイキン 日立 三菱 長府 松下 サムソン 荏原 サンボット 巴 昭和 川重 タクマ 三浦 巴
10. 鋼製ボイラー	日立 三菱 ダイキン 三洋 松下 サンボット コロナ 長府
11. 温風暖房機	松下 三菱電機 三洋 三菱重工 ダイキン 日立 東芝キャリア
12. エ ア コ ン	三洋 ヤンマー 三菱
13. ガスヒーター	
14. 冷 凍 機 等 (1)往復動冷凍機 (2)遠心冷凍機 (3)吸収冷凍水機	ダイキン 三菱 日立 三洋 松下 東芝キャリア 荏原 日立 三菱 ダイキン 東芝キャリア 川重 三菱 荏原 三洋 矢崎 日立 松下
15. 冷却塔	荏原シンワ 空研 東芝キャリア 日立 三菱 矢崎 三洋 松下 新晃
16. 空 気 調 和 機 (1)ファンコイルユニット型 (2)ユニット空気調和機型	三菱 新晃 ダイキン 矢崎 三洋 昭和 松下 木村 東芝キャリア 日立 新晃 ダイキン 昭和 三菱 木村 松下 日立 三洋 東洋製作所 東芝キャリア
17. 放 熱 器	新晃 昭和 木村
18. 放熱器弁・トラフ・減圧弁・温度調節弁	フシマン ベン 本山 ヨシタケ
19. 空調用自動制御機器・制御盤	山武 愛知 横河ジョンソン 松下
20. 吹出口・吸込口・ダンパ	新晃 空研 ホーコス 木村 協立
21. 製 缶 類	ボイラーセンター 家森 ベルテクノ ホーコス 森松 尾古 ダイネット
22. 送 風 機 ・ 換 気 扇	日立 テラルキョクトウ 荏原 松下 三菱 東芝キャリア 三洋 ダイキン
23. ガ ス 器 具 (湯沸し器類)	パロマ リンナイ 三洋 ノーリツ 細山 東陶 INAX他、ガス供給者の指定品
24. 厨 房 機 器	中西 松下 サンウェーブ タカラ 愛豊 サンヨー トーヨー
25. 焼 却 炉	大東 三機 三洋
26. し尿浄化槽 (汚水処理施設)	アムズ ダイキ INAX 太陽東洋酸素 ニッシン クボタ テラルキョクトウ 日立 フジクリーン オオモリ工業 大栄産業
27. 水 処 理 装 置	ノシロ ミウラ 理水 フィルコン 日機装 オキタ テラルキョクトウ
28. メ ー タ ー 類	金門 愛知 東洋計器 矢崎
29. ソーラーシステム	三洋 矢崎 三菱 松下 東芝キャリア 長府 日立
30. 全 熱 交 換 機	三菱 テラルキョクトウ 空研 松下 木村 東洋製作所 ダイキン
31. タンク付属部品・レベルメーター	工技研究所
32. グリーストラップ	ホーコス 前澤 クボタ ダイドレ
33. 熱 交 換 機	日阪 木村 家森 ベルテクノ ダイネット
34. 床 暖 房	三菱 三洋 松下 ミサト
35. 塩 ビ 製 餅	アロン 前澤 クボタ 積水 三菱樹脂 タキロン

※ 送配電線の近くで作業をするときは、前もって中国電力へ連絡すること。  
 ※ 不許複製





外構図 1 : 100



A-A' 断面図 1 : 30

凡例

—	実線：新設を表す
- - -	点線：既設を表す

雨水樹リスト表

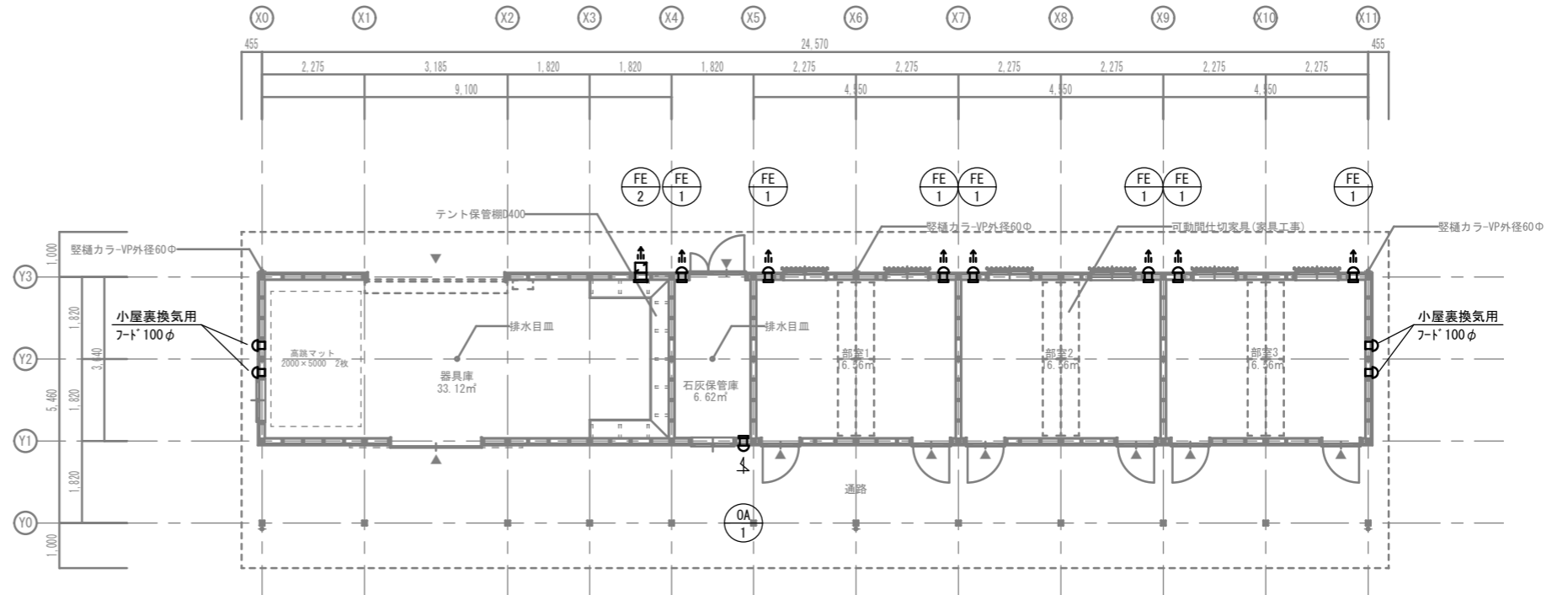
記号	名称	規格・寸法	蓋	管底	備考
①	小口径雨水樹	100-200	樹脂製	300	
②	"	"	"	414	
③	"	"	"	423	
④	"	"	"	400	
⑤	"	"	"	344	
⑥	"	"	"	300	
⑦	"	"	"	200	
⑧	"	"	"	280	

※樹深さは参考値とし、施工の際は仕上がり地盤高さ等考慮の上決定すること。

換気 機器リスト

機器番号	機器名	仕様	電気容量		台数	設置場所	参考品番
FE-1	パイプファン	型式：角形格子タイプ	1φ100V	6.4w	7	部室 石灰保管庫	V-12PPS8
		能力：120 m <sup>3</sup> /h × 10 Pa					
		付属：SUS丸形防風板付ベントキャップ(覆い付)(カバー)					
FE-2	壁換気扇	型式：格子タイプ	1φ100V	13.5w	1	器具庫	EX-20EK9-C
		能力：300 m <sup>3</sup> /h × 10 Pa					
		付属：SUSサザ-カバー(防鳥網) 木枠					
OA-1	給気口	型式：給排気グリル150φ			1	石灰保管庫	P-18GLF6
		ネットフィルター付					
		付属：SUS丸形防風板付ベントキャップ(覆い付)(防虫網)					
	小屋裏換気用フード	形式：SUS丸形防風板付ベントキャップ(覆い付)(防虫網)			4		
		100φ用					

※換気扇類のスイッチ工事は電気工事とする。  
 ※ベントキャップ・ウェザーカバーは指定色焼付塗装とする。



# 電気設備工事仕様書

## I. 工事概要

1 工事場所 鳥取県西伯郡大山町所子313

2 建物概要 建築特記に準ずる

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令第1条第1項の区分	備考
1	教室棟	S	1	89.43	(15)項	
2					( )項	
3					( )項	
4					( )項	
5					( )項	

3 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号					屋外	備考
	1	2	3	4	5		
○電灯設備	○						
●動力設備							
●電熱設備							
●雷保護設備							
●受変電設備							
●電力貯蔵設備							
●免電設備							
●構内情報通信網設備							
●構内交換設備							
●情報表示設備							
●映像・音響設備							
○拡声設備	○						
●誘導支援設備							
●テレビ共同受信設備							
●監視カメラ設備							
●駐車場管制設備							
●防犯・入退室管理設備							
●火災報知設備							
●中央監視制御設備							
●医療関係設備							
●機械設備工事							
●建築工事							
○構内配電線路	○						
●構内通信線路							
●テレビ電波障害防除設備							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

○の付いたものを適用する。

発注設備	自家発電装置	電気方式 三相3線式・6.6kV・210V 機器類 形式・キュービクル形・簡易形・オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機・ディーゼル・ガスタービン 防油堤・コンクリート製・鉄板製(本工事・別途工事) 太陽光発電装置 モジュール・結晶シリコン・薄膜 風力発電装置 風車・プロペラ形
配電設備	構内情報通信網設備	・機器・配管のみ・配管及び配線 ・交換機・局線中継台・電話機・ボタン電話装置・配管のみ・配管及び配線 ・マルチサイン装置・出退表示装置・時刻表示装置 ・増幅器・スピーカー・プロジェクタ・スクリーン・その他( ) 用途 ○一般放送・非常放送・個別放送 ・音声誘導装置・身体障害者用インターホン装置・トイレ等呼出し装置 ・インターホン・テレビインターホン・ナースコール ・アンテナ(・UHF・BS・CS)・CATV ・カメラ・ビデオモニタ・タイムラプスVTR・配管のみ・配管及び配線 車両検知方式・光線式・ルーポイル式
	防犯・入退室管理設備	機器(本工事※別途工事) 配管(※本工事・別途工事) 配線(本工事※別途工事) ・受信機(・P型・R型)・副受信機・中継器・感知器 ・運動制御器(回線・単独・火報受信機と一体) 感知器(共用・専用) 複合装置・一体形(※一般型・防雨型)・単独 受信機(回線・単独・火報受信機と一体・LPガス用・都市ガス用)
通信設備	形式	・警報盤・表示操作盤・監視制御装置
	監視制御対象設備	・動力設備・受変電設備・自家発電設備・防災設備・照明制御・給排水設備・空調設備
電気設備	伝送方式	・アナログ方式・デジタル方式
	電気方式	三相3線式(・6.6kV・200V) ・単相3線式100/200V・単相2線式(○100V・200V)
電気設備	施工方法	・地中埋設式 ○架空線式
	外灯点滅方式	・手動・自動(・タイマー・自動点滅器・中央監視)
電気設備	用途	・電話用・時計拡声用・火災報知用・インターホン用・情報通信網用・デマンド設備
	施工方法	・地中埋設式・架空線式
電気設備	対策方策	・都市形CATVへの加入・共同受信方式(・共同アンテナ・館内用アンテナ用)
	責任分界点	・各戸の保安器一次側

## II. 特記仕様

### 1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書のうち○印の付いたものによる。
  - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「標準仕様書」という。)
  - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「改修標準仕様書」という。)
  - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版) (以下、「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版) (以下「監理指針」という。))を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

### 2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は○の付いたものを適用する。○の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち(1.2.7.8.9.10.11.12.31)項は、○建築・機械設備 工事仕様書による。

項目	特記事項															
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。															
2 電気保安技術者	電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
3 電気工事士	資格の区分 ○1種 ※2種															
4 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。															
5 養生材の処理等	引渡しを要するもの ※無し・有り(・機器類・配管材料・ ) 引渡しを要するもの以外は、構外撤出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※無し・有り(・PCB使用機器・ ) ○PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 再生资源の利用を図る指定されたもの ※無し・有り(・コンクリート塊・鉄筋コンクリート塊・アスファルト・コンクリート塊・建設発生木材・蛍光管・ )															
6 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限り使用権は発注者に移譲するものとする。															
7 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」によるほか監督職員の指示による。下記のもの提出する。															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> <th>電子データ・ネガの提出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 工事写真</td> <td>カラーサービス判</td> <td>各工種工程毎</td> <td>※1部・1部</td> <td>○要・不要</td> </tr> <tr> <td>・ 完成写真</td> <td>カラーサービス判</td> <td>監督職員の指示による</td> <td>※2部・2部</td> <td>○要・不要</td> </tr> </tbody> </table>		区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出	※ 工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部・1部	○要・不要	・ 完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部・2部	○要・不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出												
※ 工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部・1部	○要・不要												
・ 完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部・2部	○要・不要												
8 工事用水・電力	本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。															
9 表示板	設ける。(建築工事、機械設備工事等と一括して表示する) ※ 工事表示板 ・ お願い表示板 記入要領等は監督職員の指示による。															
11 足場	足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基準第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。															
11 工事用仮設物	構内につくことが ※できる・できない															

11 完成図等

12 他工事との取合い

13 土工事

14 電線類

15 電線本数・管路等

16 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ

17 露出配管の塗装

18 波付硬質合成樹脂管(FEP)

19 フラッシュプレート材質

20 カバープレートの用途別表示

21 耐震施工

22 屋上、屋側の支持金物等

23 結露防止

24 補修など

25 はつり

26 はつり工事における非破壊検査

完成後は、速やかに次の完成図書を提出すること。

区分	名称	部数
○完成図原図	完成図 ※原紙 ○CADデータ ※PDFデータ 施工図・原紙・CADデータ・PDFデータ	1部
○完成図 2つ折製本	※ 完成図原図の陽面複写紙 完成図原図の陽面複写紙(縮小版) ・ 施工図原図の陽面複写紙	○2部 ・部
○完成図 ・ A4版黒表紙製本 ○ A4版市販ファイル	○ 完成図原図の陽面複写紙 ○ 主要機器図 ○ 試験成績書	○2部 ・部
○保守用説明書 A4版ファイル	○ 保守に関する指導案内書 ○ 機器取扱説明書 ○ 主要機器一覧表	○2部 ・部
○保証書		○1部
○官公署届出書類		○1部

他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築
コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強			※
	スリーブ・箱入			※
鉄骨造の開口及び補強				※
照明器具・幹線等の吊りボルト用 Inserts (くぎ処理共) ※				
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地 ※				
埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠			※
○OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強				※
埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	ボルトのみ		※
自動閉鎖装置を取付けた防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ				※
電気室、自家発電機室などの基礎及びピット(蓋を含む)				※
機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線				※
機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線				図内凡例 ※
テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト			
天井点検口				※
自立型制御盤の基礎				※
機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置			※

埋め戻し土 ※根切土中の良質土・山砂の類( )・真砂土( )  
建設発生土の処理・構外に撤出適切処理 ※ 構内敷きならし・構内の指示する場所に堆積  
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。  
EM電線類で規格等の定めのないものはハログゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
管内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。  
ハーンズジョイントボックス用OAタップのケーブルはハログゲン及び鉛を含まない材料とする。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさつつかえない。

17 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ  
18 露出配管の塗装  
19 波付硬質合成樹脂管(FEP)  
20 フラッシュプレート材質  
21 カバープレートの用途別表示  
22 耐震施工

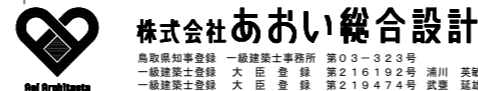
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。

- 設計用水平地震力  
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

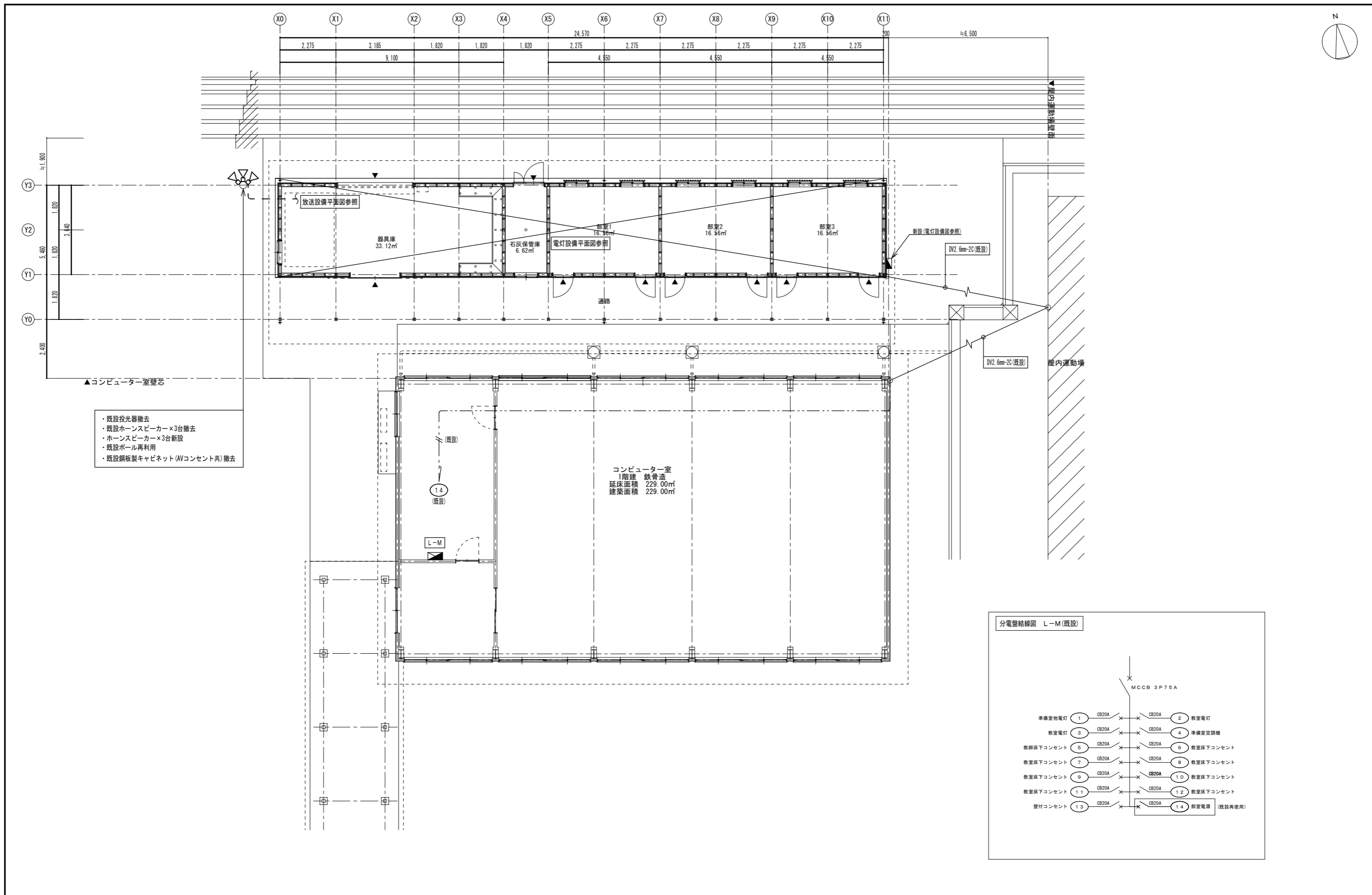
設計用標準水平震度	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階注. 屋上及び塔屋	機器 類	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	1.5
中間階	機 器	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0
地下及び1階	機 器	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機 器	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0

注) 上層階の定義は次(次頁)による。  
2~6階建: 最上階、7~9階建: 上層2階、10~12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階  
重要機器 (・ 配電盤・非常用発電装置・交換機・直流電源装置・UPS装置  
・ 火災報知受信機・中央監視制御装置 )  
2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
・ ステンレス製( ) ・ 溶融亜鉛メッキを施した鋼材  
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。  
工事の施工に伴い既存部分に汚染又は損傷した場合は、既成ならぬ補修する。  
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
探査方法 ※電磁誘導式 ・ 放射線透過検査

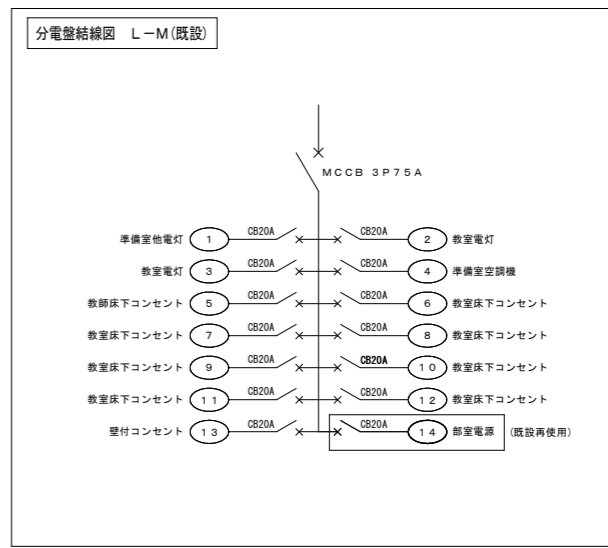
CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
		NON SCALE	大山中学校部室棟建替工事	
			電気設備特記仕様書(1)	No.
				E - 01




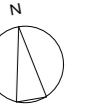




- ・既設投光器撤去
- ・既設ホーンスピーカー×3台撤去
- ・ホーンスピーカー×3台新設
- ・既設ホール再利用
- ・既設鋼板製キャビネット (AVコンセント共) 撤去



 <b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号          一級建築士登録 大臣登録 第216192号 清川 英敏          一級建築士登録 大臣登録 第323409号 堀江 司</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	TOTAL
			1 : 100,300	大山中学校部室棟建替工事 配置図	No. E - 03



照明器具姿図

A	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150	B	軒下用ダウンライト 150形
参考: パナソニック 直付XFX420AENLE9		参考: パナソニック ダウンライトXNW1530WNLE9	

通路	
B	5

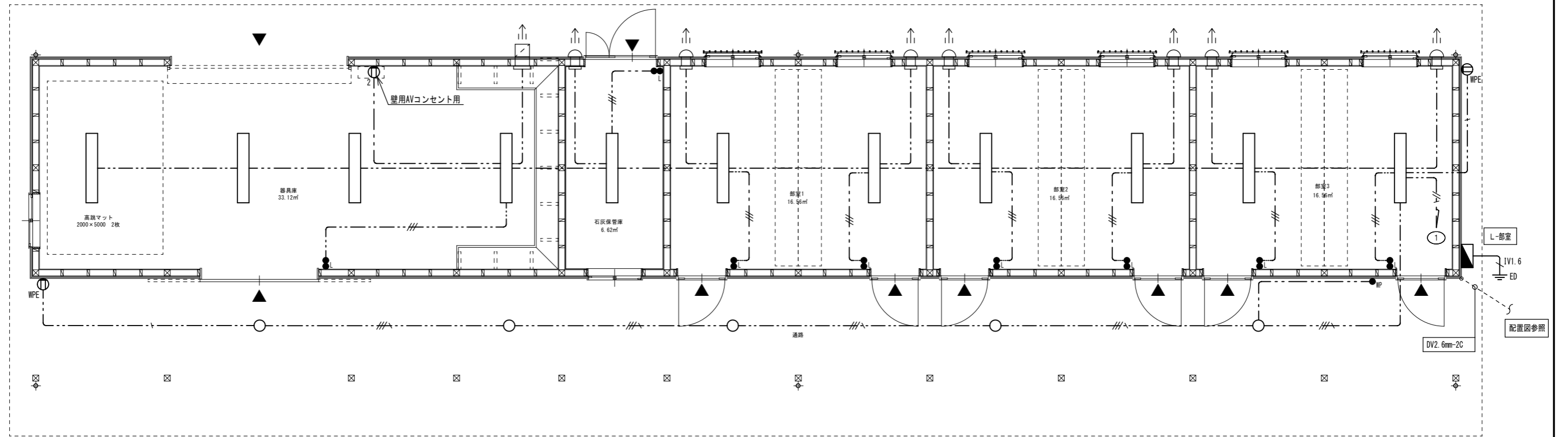
器具庫	
A	4

石灰保管庫	
A	1

部室1	
A	2

部室2	
A	2

部室3	
A	2



<凡 例>

記 号	規 格
	電灯分電盤
	LED直付照明器具 HF32W-1灯相当
	壁換気扇(機械設備工事)
	埋込ネームスイッチ(新金属) 15A
	埋込パイロットスイッチ(新金属) 0.5A
	埋込防水片切スイッチ 15A
	埋込コンセント(新金属) 2P15A x 2
	引掛防水接地コンセント 2P15AE x 2

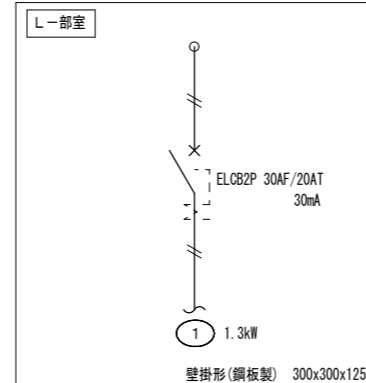
<特 記>

図中特記なき配線配管は下記とする。

---	EEF 1. 6-2C	天井コロガシ
---	EEF 1. 6-3C 1芯はアース	天井コロガシ
---	EEF 2. 0-2C	天井コロガシ
---	EEF 2. 0-3C 1芯はアース	天井コロガシ

※換気設備は機械設備工事とする。

<分電盤結線図>



			<b>株式会社あおい総合設計</b> <small>鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第28-323号          鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第216192号          鳥取県知事登録 一級建築士事務所 第323409号</small>	CHECK	DRAW	SCALE	TITLE	大山中学校部室棟建替工事  電灯設備 平面図	TOTAL
						1:50	NAME		No. E-04

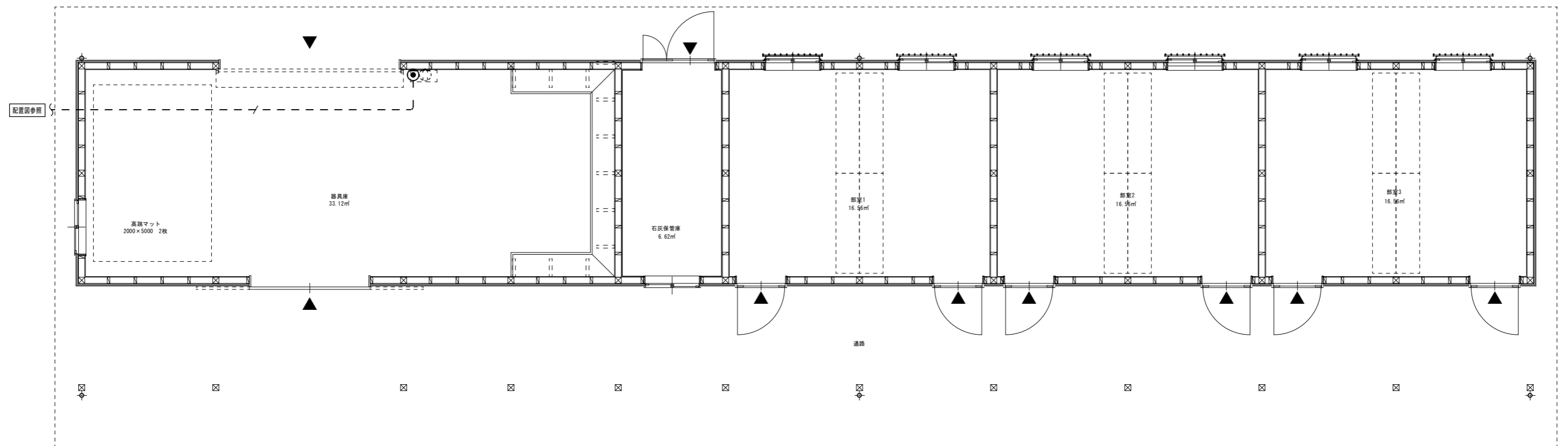


参考図

ワイドホーンスピーカー CS-303

L級

定格入力	30 W (3300) , 20 W (5000) , 10 W (1 kD)
出力音圧レベル	98 dB (1 W, 1 m)
周波数特性	120 Hz ~ 15 kHz
スピーカー	12 cm防滴コーン型
水平指向性	90°
仕上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト
その他	防塵・防水性能: IP65



<凡 例>

記 号	規 格
◁	ワイドホーンスピーカー
●	壁用AVコンセント 参考: KP-4XIS-1

<特 記>

図中特記なき配線配管は下記とする。	
---/---	EM-AE0. 9-3P (PF22)
※壁用AVコンセントへのマイクは別途学校側にて用意とする。	